滿洲日報

六月二十日發行

海軍々縮會議期日は明年の五、六月ごろか
日英米間に諒解成らん

【東京二十日發國通】一九三五年の海軍會議の期日及び會議地等の手續き決定に關する豫備會商は十七日の英米會商によつて開始されたが、帝國政府は右に關し最近英國政府に對する回答において會議開催の時期は帝國議會の關係もあり四月乃至五月頃が適當と信ずる、會議地についてはパリが最も恰好の地と信ずるも強ち固執せず、ロンドンも亦第二候補地として可なり、會議參加國の都市が全部面白からざる場合は第三國たるヘーグ等も可いとの留保條件を附したが、其後齋藤駐米、松平英兩大使より外務省への情報を綜合するに英國はロンドンで六月頃、米國も六月頃(會議地については言及せず)ならば贊成する意向を漏らしてゐるので、本問題に關する限り豫備會商は意外に早く諒解成ることは殆ど決定的である

米代表、松平大使會見
愈よ個別的豫備交渉開始

【ロンドン十九日發國通】米國軍縮代表ノーマン・デヴィス氏は十九日正午官邸に松平大使を訪問し來るべき海軍會議に關する米國の立場、昨日より開始された英米會商の模樣などを説明し諒解を求めた、これに對し松平大使も十八日マクドナルド首相に述べた所と略同樣の日本の立場を説明し會見一時間にして別れた、尚駐英米國大使ビンガム氏も同道の筈であつたが氏は外に用務があつた爲同道出來なかつた、右會見は米國側より突如申込み來つたもので表面上儀禮的のものであり、且つ松平大使はこの會見について何等訓令に接してゐないので勿論具體的問題には入らず單に日本の根本主張を説明するに止めたが、兎に角之に依つて日英米三國間に二國間の海軍豫備交渉が事實上開始された譯で豫備交渉は俄然重大性を帶びるに至つた、なほ次の會見日は未定だが英米會商の模樣により隨時行はれるものと觀られる

米國代表部の見解

【ロンドン十九日發國通】十九日の松平大使、デヴィス氏との會見においては兩氏共自國の立場を説明するに止まつたが、米國代表部ではこれに依つて比率問題が豫備交渉の主張から除外された譯では決してないとの立場から左の如き見解を表明してゐる

今後引續いて行はれる海軍交渉の主題から豫かじめ除外さるべき問題は何もない筈で、只いはゞ前哨戰ともいふべき交渉開始早々餘りに多くの問題を持出す事は考へものだ

反對表明
プラット提督

【紐育十九日發國通】日英米三國間豫備交渉がロンドンにおいて開催され、海軍問題が全世界の言論界の脚光を浴びてゐる際、嘗て米國海軍作戰部長の要職にありて帝國海軍を目標とする太平洋作戰を樹立したプラット提督は米國の有力外交雜誌フオリン・アフエアーズ七月號雜誌に長文の論文を掲げ滔々數千言、海軍力比率公開に關する帝國政府の見解に對し絕對反對を表明した、但し同提督が海軍力以外の點においては日本並に日本人が當然均等の待遇を受ける權利がある事を認め、暗に排日移民法修正の必要を示唆してゐるのは注目に値する

米露海軍の大デモ

米國大艦隊は太平洋へ回航
ロシアは浦鹽中心に大演習

我國の東西にある二大強國が殆ど時を同じうして海軍の大デモンストレーションを行つた、卽ち米國は五月中旬ニユーヨーク港外に於いて其の海軍始まつて以來の大觀艦式を行つた後其の大艦隊は再び太平洋へ廻航しやうとしてゐる、又ソウエートの極東艦隊は六月七日以來浦鹽を中心に大演習を行ひ優勢なる空軍と相呼應して我國の某港を目標に猛烈な攻防演習を試みた(寫眞(上)は浦鹽港頭より後方要塞地帶を望む(下)は米國戰艦群の大行進)

米聯合艦隊
再び太平洋岸に

【ニユーヨーク十八日發國通】大觀艦式擧行後前後十八日ハドソン河上に碇泊してゐた米國聯合艦隊は再びサンペトロサンヂゴを中心とする太平洋岸の根據地に復歸することに決し十八日愈々ニユーヨークを出發した、新に合衆國海軍を動かす羅針盤の大役を承つた聯合艦隊司令長官リーブス大將は臨時旗艦ニユーメキシコ號に乘込み檣頭高く司令長官旗を揭げ百餘隻の艦艇を隨へて晴れの航海に上り數萬のニユーヨークつ子は拂曉からハドソン海岸に堵列し河上を壓する合衆國海軍の威容に歡呼の聲をあげて見送つた、聯合艦隊はニユーヨーク出發後前後四日間洋上にて戰鬪並びに操艦演習を行ひ七月四日の獨立祭までには艦艇百三十四隻相率ゐてパナマ運河へ回航を決行十一月一日までには太平洋根據地に復歸する

明年の會議は新協定締結が目的
我方の軍縮會議方針

【東京特電廿日發】軍縮會議に對する我國の根本方針は既報の如く軍縮の根本原則に基く公正且つ合理的の協定を望まんとするにあり、特に英米兩國の企圖しある如き明年の會議をワシントン、ロンドン會議の延長となさんとする方針には反對の意圖である、兩條約は何れも一九三六年末無效となるべき明文規定あり、一九三二年以來世界情勢は舊比率の繼續を許さず、明年の會議は三六年以後數年に亘り有效なる新協定を議すべき新會議たるべしとなし、帝國政府が今回豫備會議において明年の會議開催地をパリ又はヘーグとせんとの提案をなすは右の見解によるものである、要するに全然過去の一切に拘束される事なく我主張の貫徹を期し且つ若し英米が我國の好まざる問題に言及し且つ橫車を押すが如きことがあらば斷然脫退すべく此の精神は豫備會商に對しても又同樣であると

支那海軍大學
二ケ所に設置

【新京特電二十日發】天津來電によれば最近中國政府は國防の重要性と自國海軍の幼稚なる現狀を憂慮し有事の際に備へるため福州及び馬江に海軍大學を設立し優秀な海軍將校を養成し中國海軍の充實を期する事となつた、海軍大學校の校長には海軍部少將陳紹寬氏が任命され、教官には外國海軍將校を招聘し來る七月一日より授業開始の豫定であると

羅津の都市計畫七月から實施
水道は滿鐵で施設

【京城特電二十日發】宇垣總督の歸任により待望の朝鮮市街地計畫令は二十日制令として發布された施行細則は近く總督府令として發布されるものである、それにより七月一日より實施されるものである、これにより羅津の都市計畫は七月一日より實行に入ることゝなつた、その要綱左の如し

一、この市街計畫は總督府に於て行ふ

一、今年より三年計畫五十萬圓の國費をもつて實行、人口五萬を包擁し得るだけの道路下水を施設す

一、その後は人口十萬目標、十年計畫五百萬圓の用意をなす

一、水道は滿鐵において百五十萬圓を投じ給水量の內四割を滿鐵地區內及び船舶給水用に充て六割を市內に給す

一、羅津港は十萬圓を起債し、水道管市內引込みその他の施設をなす

一、滿鐵地區內の道路下水は滿鐵において計畫令により施設す

一、總督府は七月一日より直ちに右により都市計畫を實行する

米國の邦品輸入制限
絹織物、綿製品に及ばんとし
我商務官對策に努力

【東京特電二十日發】某所着報によれば、米國の日本品に對する高率關稅又は輸入割當問題が續發し、いよいよわが國の絹織物に飛火し重大視されてゐるが、更に日本綿製品に對しても何等かの形で輸入制限をはからんとする運動擡頭し井上商務官は目下對策に忙殺されてゐる、メリヤス製品、手袋、シヤツ等の日本品の米國輸入は最近著るしく增加したが米國側はこラの脅威として日本品輸入制限を行はんとするものである

邦品排擊を條件に英蘭秘密軍事協定
蘭印の制海權を確保

【東京二十日發國通】日本の對蘭印輸出の大發展に猖獗せるオランダ側が突如提議した日蘭會商に關し新嘉坡において旣に英國のランカシヤ紡績業者とオランダのトウエンテイ紡績業者の申合せに依つて英領印度における日本商品排擊に關し英蘭秘密協定が成立したとの噂が傳へられて居たが、十九日某所着電によれば、最近新嘉坡の英國防備司令官レウイン少將のジヤバ視察旅行を機とし、……

日本人の勤勉を最も強く感じた
けさ來連の白國特派大使談

ベルギー新皇帝レオナルド三世陛下の御卽位をわが長き邊りに御披露のため特派されたウイリアム・タイス大使は夫人、令孃およびド・ムーケルク伯夫妻、ド・ウート・ド・ツリツクス男、陸軍中尉チリ・ヂユアール男らの隨員と共に、大任を終へて歸國の途にあるが、さらに奉天まで出迎へて同車したハルピン駐在總領事アルフオンス・ヴオン・クツセン氏をも加へて一行八名となり、二十日午前七時四十分着列車で來連した、驛頭にて出迎への名譽領事古澤丈作氏、御厨外事課長らと共に寫眞班のカメラに入り、大連ヤマトホテルに入つたが、午前中は滿鐵の案內で市中を見物、正午は日下投資協談で來連中の同國人パンヤン男主催の歡迎午餐會に臨んで星ケ浦の海を愛で、午後は旅大道路をドライヴして旅順見學に赴いた、これより先き、タイス特派大使は車中金州まで出迎へた記者に對し左のごとく語つた

此度わが新皇帝陛下御登極を日本の天皇陛下に御傳へする重任を帶びて來朝しましたが恙なく役目を終つて歸途にあることは私の光榮として深く感激して居る次第であります、殊に日本に來ましたのは最初でありますが日本の官民各位から受けた熱誠極まる歡待は、終世忘れることが出來ぬところで「日本の印象は」と尋ねられたら「一〇〇パーセント良好」と答へるばかりであります、日本の景色のよいことはかれぐ聞いてゐたところで、日光や奈良の美しさには感歎しましたが、最も強く感じたことは日本人が如何にも勤勉で力強い國民であることで、これあればこそ日本が短い歲月の間にかくまで進步を遂げたのだと思ひます、滿洲にも今少しゆつくりして方々見たかつたのですが、何分時間がないので大連だけ見て歸らねばならぬのは殘念に思つてゐます、從つて滿洲の印象をお話し出來ぬのは遺憾です

なほ最初の旅程では新京に赴くことになつてゐたのを急に中止したことにつき……

滿鐵定時總會
けふ東京鐵道協會にて開催
報告、議事無事終了

【東京特電二十日發】滿鐵の第三十三回定時株主總會は二十日午後二時より東京丸の內帝國鐵道協會に於いて開會、林、八田正副總裁以下山西、竹中、大淵の各理事、片山顧問、大碗、小倉、原各監事をはじめ株主四百餘名出席、拓務省から稻垣監理官、大藏省から江口國有財產課長臨席、林總裁會長席に着き

本日第三十三回定時株主總會を開催しますに當り斯く多數株主各位の御出席を得ましたことは私の最も光榮とするところであります、例により議事に入るに先だち昭和八年度における重役の異動及び當社營業の概況を御報告申上げます、前監事馬越恭平氏は御病氣のため昨年四月二十日逝去され、原邦造氏は同年六月二十日監事に就任せられました、同年十二月四日監事の任期が滿了致しましたので十二月二十日臨時株主總會において改選を行ひましたところ原富太郎氏は退任され、大橋新太郎、小倉正恒氏、原邦造氏は孰れも重任され、森廣藏氏が新に就任せられました

と前提して別項の如き演說をなし引續き八田副總裁は事業報告(四面掲載)あり、了つて議事に入り

林總裁の演說

北鐵護路軍は解消

志村大尉赴任

武部氏來滿

藏本氏內地へ

通車は七月實施
來る廿八日細則公布

北寧鐵衞生科長
天津日界で暗殺さる

奉天省豫算
一千八百萬圓

人事

関東州防空演習 第二日

果然今早朝から敵機不意の空襲

わが防空飛行隊との間に壮烈な攻防戦展開

関東州防空演習は第二日の二十日に入り彌が上にも灼熱してゆく、敵乙國は戰ひ利あらず頽勢を一擧に挽回せんと決死の空襲また空襲を敢行し関東州に腥風吹きすさぶ、然しわが防衛各部隊は軍規嚴正、士氣益々あがり敵機をして慴伏せしむる確信に燃えてゐる、所在の防護團も亦官民一致、祖國のため涙ぐましき奮闘を續けてゐる、かくて関東州防空演習は我國の防空史上に大なる記録を殘しつゝクライマックスに達した

防衛各部隊、防護團とも前日同様午前七時迄に部署につき嚴重警戒するうち防衛司令部に監視網より

櫛の歯 を引くが如く刻々情報あり

◇午前七時三十分敵の爆撃機二機瓦房店附近東航、高度千米、同三十八分敵爆撃機二機（同十機）貔子窩附近南下高度千米

◇同三十分三山島附近敵爆撃機一機東航、高度不明

◇同三十八分旅順附近敵爆撃機一機東航、高度千米

即ち防衛司令部においては七時二十九分非常

警報を 發し同四十五分防空飛行隊に對し左の如く下令した

防空飛行隊は主力を以て大連市北側上空において、一部を以て大連市西南側上空附近において待機し敵機を求めて攻撃すべし

かくて七時五十分前後、右三山島附近並に旅順附近に現れたる重爆撃機各一機が大連

上空を 爆撃せんとするや第三、第一、第二高射砲隊（四十五發）並に第一、第三機關銃隊これに猛撃を與へ友軍の戰闘機六機も急追したので多く目的を達し得ず寸時にして遁逃した、然るに八時三十五分ごろ瓦房店方面より來襲し來つた輕爆撃機二機、次いで重爆一機も東南より大連上空に突如現れたが後者は老虎灘方面を爆撃中わが高射砲隊に撃墜（想定）され、前者は高度五百米を保ちつゝ勇敢に爆撃を開始し寺兒溝石油タンクを爆撃したるも友軍の三戰闘機は地上の攻撃部隊と

呼應し 決死的戰闘を展開し寺兒溝沖に追込んだので敵機は叶はじと機首を東に向け三山島に爆彈を落して鬱憤をはらしたるのち同四十七分海岸線に沿うて退却した

猛烈な空襲に防護團大活動

市内随所に本部から出動

快曉に明けた二十日防空演習の第二日は不意打ち空襲とあつて大連市防護團は六時半頃には既に地區分團の集合配置にかゝり午前七時には

全く 警備成り好天氣を利用して大連市を襲撃せんと飛來する敵機撃破の準備に餘念がない、防護團本部も既に七時には各部班員集合各部署に就く、斯くて午前七時二十九分非常警報は發せられ敵機襲來の報が來る八時過ぎからは各分團地區より被害報告が頻々と本部に達する

昨十九日艦隊敗北の頽勢を空襲によつて一氣に挽回せんとする

火焔に包まれた埠頭ビル　下は観戦中の幹部（左から鏡山統監、菱刈軍司令官、小川團長、各部顧問）

埠頭再度襲はる

うらる丸見送り人多數負傷

敵軍の攻撃はあくまでも眞劍猛烈だ、朝鮮銀行建築物並びに忠靈塔附近にも敵彈投下されたとの報告さへ來る、八時二十分大連醫院裏支國前廣場は毒瓦斯彈投下され防毒救護作業が防護救護班大連醫院看護婦達の手により行はれた

八時卅分敵の重爆撃機三機は悠々防護團本部上空に飛來本部附近に爆彈を投下したので我高射機關銃にて敵機一機を射落したが

他の 敵機は若音町方面に逃げ我輕爆撃機は之を追撃目下交戰中の情報が入り殺氣立つた中に演習は續けられて行く

なほ八時廿二分光風臺緑橋橋梁が燒夷彈瓦斯彈に見舞はれ長さ五間の橋脚三本を破壊されたが本部工作班の出動により約十分にて應急處理を終り八時五十七分には小崗子分團より榮町「トンネル」附近の電線切斷の報に電氣班が出動したがこれも直ちに修復されかくて九時解警された、その後敷島廣場其他の被害續々と起つたが何れも微少に終り午後の演習に移ることゝなつた、なほ九時卅分大連警備隊岩崎大尉よりの通報によれば現在迄治安上特筆すべき損害なしと

二日目、いよ／＼防空演習は本格的な動きを見せ水上分團もさみに活氣を呈してゐる、猛烈な敵機の來襲は午前八時まづ活潑な爆彈投下となり要所到るところに燒夷彈毒ガス彈を投下空爆の効果をねらひつゝあるが大連埠頭撃滅を目的とした敵機は埠頭ビル屋上上空に

悠々と 現はれ、防禦軍また高射機關銃の猛射を浴びせて彼我の間に素晴らしい攻防戰が展開され、やがて岸壁十區に催涙彈が投下され、うらる丸に一時性ガス彈が落下されて中毒者數十名を出す、この突風的な空襲に午前七時より各部署についた水上分團各班は防毒、防火、救命、救護に

手際の 好い活躍ぶりを示す、一方防護團の猛射に堪へかねた敵機は午前九時東方に去る、午前九時四十分再度大連港は敵の空襲に遭ひ甲埠頭十號倉庫西側に燒夷彈落下、火災が起き消防隊が駈けつけ漸く消し止めたが各方面よりの情報によると敵は六號及十號倉庫方面を目標に置いて居るらしく警報班では港町第九警歩哨より二名、三埠頭より二名の應援を得て手配をなす十時十分埠頭ビル入口階段に持久性ガス彈が投下され折柄うらる丸

出帆を 見送り中の市民の中に負傷者多數を出し救護班の大活躍となつた、尚ほ各班の活動ぶりを示せば

●配給班●——埠頭事務所勤務婦人社員並びに愛國婦人會の一行により約七百名の炊事一切が行はれ白のエプロンに赤だすき姿甲斐々々しく非常時らしい活躍ぶりを見せる

●救護班●——埠頭ビル前における毒ガス、催涙ガスによる負傷二十名、待合所支關口における催涙彈の負傷六名、持久性ガス三名埠頭ビル前避難者數十名

●交通整理班●——折柄うらる丸出帆で見送人多數が殺到したがこの機を覘つて空襲され一時は混亂に陷つたが同班の活躍で大過なかつた

●防火班●——十號倉庫西側の火災を僅か五分で消止める

埠頭ビル猛火に包まる　菱刈長官も觀戰

大連港爆撃を目的とする敵機は執拗にも午後一時再度大連港上空に姿を現した、見る間に防護團劃の猛射も効果なく巨分な燒夷彈は見事に埠頭樞機の中樞をなす埠頭ビルディングに落下見る／＼うちに埠頭ビルは猛火のうちに包まれ各階窓からは黒煙を吹き物々しい大事を惹起した一方防護團補では埠頭ビル襲撃されると

同時に 防火班の活躍となり消火につとめたが何分入口をふさがれたため埠頭ビル内は大混亂を呈し負傷者並びに死者の數は夥しく、しかも逃げ場を失つたビル勤務者は正に焦熱地獄の苦しみを受けたが救命袋、救命梯の活躍でどうやらその大多數は救助し得た、一方火災の擴大を恐れて

直ちに 本部に向け急報ここに文字通り防空防火の大演習が行はれた

この時鏡山統監は菱刈軍司令官と共に來り支關口において防火救命作業を終始熱心に觀戰するところあつたが、約十分にして鎭火、負傷者は救護團員の手で救護所に運ばれ實戰以上の効果を收め同時に更に敵機の來襲を防ぐ意味で海上並びに陸上に數十本の煙筒を放ち煙幕作業を行つた、さしも廣大を誇る大連港が

瞬く間 に煙のうちに包まれたが、この間菱刈司令官はすこぶる滿足氣に埠頭ビルより觀戰した

演習の負傷者

防空演習にからまる[illegible]負傷者、中央分團防火班第九分隊[illegible]町五七藤沼鐵一郎（五二）氏は十九日午前九時半自轉車にて警區巡視中、人力車と衝突[illegible]左指骨關節を脱臼裂創を負ひ三浦醫院にて治療を受けたが全治約三週間の見込である

少女の防空獻金

朝日小學校五年生眞田雅子、恩田丹子、島鎭江、新宅靜枝、武富稚子さんの五少女は十九日夕本紙夕刊五十部をヤマトホテル、遼東ホテル前で販賣賣上げ金二圓七十錢を二十日本社を通じて防空獻金した

鏡山統監視察

ける防空演習巡視のため赴連した

防空演習鏡山統監は二十日午前九時防空演習統監本部に姿を現し、約十五分間演練の防空施設について説明を聽き更に通信部での情報、警報の傳達狀況を視察、それより鐵道工場分團總合演習の視察に赴いた

小川團長の視察

小川防護團長は不意打ち空襲の二十日午前七時には鎭前小學校なる第三地區分團本部を視察、同八時よりは千代田町交番附近、大連驛、郵便所附近の各班作業を視察、小崗子分團本部、沙河口下崗、第一地區本部、中央分團本部等を巡視十時半本部に歸つた

菱刈軍司令官戰線を視察

菱刈関東軍司令官は廿日午前九時旅順防空演習視察のため日下、大場兩局長、藤原秘書官、今岡副官を帶同先づ要港部を訪問、司令官應接室に於て枝原司令官から種々説明を聽取、同四十分港務部に到り同部を視察、次いで海軍病院に於て患者の慰問をなした後、自動車で市内各所における防護團の活動の實況を視察、十時二十分旅順ヤマトホテル前に於いて港務部の防毒演習實況を視察、十一時一應官邸に歸還し同五十分發大連に於

あすの行事

明二十一日は未明の大空襲を六時半ごろ終りて左の如く行事あり、演習を閉ぢる筈

▲七時より八時迄　野外演習參加團體の觀兵式、大連運動場西方の廣場にて、實施者は演習統監

▲八時半より九時半迄　大連運動場東方の廣場にて、團長の大連市防護團閲兵、大連市學校生徒の防空獻金式

▲十時より十時半迄　同上にて演習統監の防空演習講評、團長の防護團に對する訓示

▲十一時より演習統監の野宴　二中校内にて

遼河支流氾濫し通遼驛浸水

交通杜絶、情勢憂慮さる

通遼驛西方の遼河支流は去る五日以後漸次増水しその後一時小康を保つてゐたが十九日午後六時ごろから俄然増水甚だしく遂に通遼驛構内に浸水驛は水びたりとなり浸水六尺へ、しかも驛と市街との間は奔流溢れて交通全く杜絶し列車の運轉また不能に陷つた、驛係員必死の防水も効少なく驛には避難民が押かけ事態憂慮すべきものがあると、なほ廿日午前十時滿鐵々道部入電によれば水はます／＼増水しつゝある

苦力頭斬らる

二十日午前零時三十分市内西町一四〇番地苦力頭明佐田（五二）方の裏戸を破壊、侵入した怪漢あり、明が目醒めて誰何するや矢庭に所持の短刀で胸部外數ケ所を突き刺し逃走した

大連署司法係で取調の結果、一物も盗まれてをらぬところから見て怨恨による犯行と見られ目下犯人嚴探中、尚被害者は生命に別條ないが可成り重態である

佐賀縣下炭礦爆發

【長崎十九日發國通】十九日朝九時佐賀縣東松浦郡相知村相知炭礦第二坑で瓦斯爆發し死傷數十名を出したが、詳細不明にて目下取調べ中である

砲聲と爆音旅順全市を壓す

演習第二日の壮觀

防空演習第二日旅順市は前日數回に亘る敵機の襲撃に依り高層家屋主要建築物の爆撃、毒瓦斯の撒布にて死傷者多數を出し（假想）婦女子老人等はいづれも安全地帶へ避難させ全市は全く防護團員に依つて固められた、防護團本部並に要塞司令部では

徹宵 警戒中午前六時五十分突如警報は防衛本部より達し五十五分早くも松城子防空監視所より「敵機見ゆ」の警報がある、間もなく友軍戰闘機は既に旅順上空を警戒飛行中敵機影を望見するや直に戰闘姿勢を以てこれを邀撃せんとし

彼我 の飛行機は刻々増加し七時十二分には旅順防衛の任に當る砲兵陣地、機銃陣地より一齊に猛射を浴せ砲聲殷々、銃火閃々たり、この間執拗にして勇敢なる敵重爆撃機は旅順高等女學校に爆彈を投下、引つゞき毒瓦斯彈の投下で大慘狀を現出した、これによつて

本演習の第二日的たる綜合訓練中の「一ヶ所の火災場に對し隣接分團共同防火防毒の演練」が行はれ第十一分團（明治町派出所）の防火防毒作業に對し應援隊派遣の

連絡 を行ひ隣接分團第十分團（千歳町派出所）は一齊に現場に駈け付け防毒防火に努めた時に九時十分、此の時敵機は既に北方に移動し友軍飛行機亦敵機を追跡しつゝ彼我の爆音を遙かに北面の青空に響かせつゝある際、一敵機は再び鯖江町上空に現れ本社旅順支局に對し爆彈、毒瓦斯彈を投下、第五分團（迎恩派出所）第七分團（東洋窪派出所）は防毒、防火班の應援隊と共に消火防毒に努め五分餘にして全く防遏する事を得た

英船海賊に襲はれ日英人乗客船員ら拉致

塘沽から芝罘に向つた順天號

【天津十九日發國通】英國總領事館への來電に依れば十七日午後塘沽發芝罘に向つた英國汽船順天號は途中同日午後八時海賊の襲撃を受けて占領され黄河支流河口に待受けた戎克五隻に掠奪品を積込まれると共に同船乗客山本富一並にフォルド、ルース兩英國海軍大尉、英國人保險會社員ニコルス、乗組英國船員二名の計六名及び支那人二十名は人質として戎克に乗せられ拉致された、順天號の無電急報に依り日英兩當局は山東省當局に急速捜査方を要請した

天氣予報

二十一日

西の風晴後曇

滿潮（午前四時三〇分　午後四時二〇分）

干潮（午前一〇時四五分　午後一一時一五分）

各地温度（二十日午前十一時）

大連	二五	奉天	二七
旅順	二七	新京	一九
營口	二六	新義州	二八

今日の小洋相場（十一時半）　金百圓につき百二十四圓六十錢

七寶の柱（33）

小島政二郎
岩田專太郎畫

二度目の初戀（二）

うつすらお化粧をしたかいかなるが棧橋に立つて、大勢の出迎人の中に混つて、ハンケチを振つてゐた。

速力を落しながら、悠々と近附いて來る紅丸の甲板は人で一杯だつた。その中から、かいかなるは、瀟洒な洋服姿の三枝の姿を逸早く發見してゐた。彼は、碧の蒼空を背景に、かいかなるに向つてパナマを振つてゐた。

「よく來て下すつたわね」

「遠いねえ」

二人は人に押されながら手を握り合つた。

彼等を乘せた自動車は、間もなく瀬川通りを走つてゐた。

「私には、帽子つてお目付が附いてゐるのよ。旨く鼻藥をかつてれ」

「大丈夫かい？」

「大丈夫よ」

宿に着くまで、二人は目を見合はせては嬉しさうに笑つた。手は握り合つたままだつた。

かいかなるは、三枝の荷物を二階の自分の部屋へ持ち込ませた。

東京の話、途中の汽車の中での話、汽船の中での話、後から後から三枝の話は盡きなかつた。

「惜いわ、そんなに一時に聞いてしまふの。一ッ風呂浴びてらつしやいよ」

うしろへ廻つて、宿の浴衣を着せ掛けながら、かいかなるが云つた。三枝を縮めてゐる間に、かいかなるはカバンを明けてシャボンと、手拭と、タオルとを出してゐた。

「いゝわ」

案内に女中の立たうとするのを斷つて、かいかなるはタオルを腕に掛け、手拭でシャボン箱をくるんで

「こつちよ」

と、先に立つた。

「いゝでせう」

男が湯に這入つてゐる間、かいかなるは板の間に蹲んで、――二人はそれからそれへと話を盡さなかつた。

「あ、あなたライカ買つて來て下すつた？」

「買つて來たとも」

「まあ嬉しい。――待つてらつしやい、今持つて來て、あなたの裸體を寫して上げるから」

バタ／＼かいかなるは驅出して行つたと思ふと、間もなく寫眞器を持つて歸つて來た。

「フィルム這入つてんでせう？」

「ああ」

「あら、四と出てゐるけど――」

「途中で三枚ばかり寫して來たんだ」

立て膝の上へライカを据ゑて

「厭だわ、背中なんか寫したつて始まらないわ。何とかポーズお取んなさいよ」

三枝はわざと正面を向いて、背中を丸くして、お爺さんのやうに目をショボ／＼して見せた。

「駄目よ、ふざけちや」

身を翻したと思ふと、パチャンと湯船の中に飛び込むが早いか、オールバックをパラリと額に垂らして

「はい、河童」

同時に、かいかなるがシャッターを切つた。

「厭だぜ」

「ホホホ」

三枝は寫眞器を奪ひに、湯船から飛び出して來た。

「ホホホ」

子供のやうな高い笑ひ聲を立てて、かいかなるは浴室から逃げ出して行つた。

お斷り　「七寶の柱」挿畫三十二回と三十三回の分と入れ違ひましたから訂正します

「丹下左膳」本日休載

キネマ・トピック

日活を續つて奉天映畫街騷ぐ

奉天館の直營不可能

奉天における日活映畫の上映は過去十五年間の長きに亘つて右田氏が賃貸契約を結んでをり、右田氏は最近では一月千五百圓の賃貸料を日活に支拂つて奉天館の油井氏と提携松竹映畫上映館平安座、新興映畫上映館新富座に

對抗 奉天映畫街の一勢力となつてゐたが、過般中谷日活社長が濱田滿洲出張所長と共に奉天を視察した結果、現在奉天館があげつつある成績、並びに今後の奉天の發展より見て奉天に直營館を置く必要を感じ、濱田出張所長は中谷社長の命を受けて先月末來しば／＼奉天館側有田、油井兩氏と會見、賃貸契約解消、奉天館の日活直營を要求したのであつた、このため日活側よりは奉天館側に對し月額三百五十圓の利益配當をする旨

條件 を持ち出したのであるが、奉天館側はこれを承諾せず遂に十七日兩者の協定成らずして喧嘩別れとなり、日活館は斷然この際新陣容を整へるため本月二十一日限り日活映畫の配給を引き上げると宣告した、かくして日活映畫は二十一日限り一時奉天より姿を消すことになつたが、十五年間の長きに亘る契約を踏みにじられた右田氏は飽く迄日活に對して屈服せず、二十一日より

他の 會社の映畫を奉天館に入れるべく十八日來連、在連映畫關係者某々二三氏と會見したが某社映畫の獲得に成功した模樣で二十日奉天に引返した、一方日活側では奉天演藝館に對し館賃貸を申込んだが演藝館は奉天館の苦境に同情して一ケ月一萬圓といふ法外な條件を持ち出したため日活側では手の出しやうなく、當分日活映畫の奉天上映は不可能と見られるに至つた

松竹下加茂作品

"街の颱風"

中央館上映々畫紹介

松竹蒲田の秋山耕作監督が「淺太郎赤城の山」に次いでメガホンをとつた映畫で、阪東好太郎と飯塚敏子の主演で、これにミス大阪として下加茂に迎へられた娘役の堀江清子が第一回出演してゐる、本來ならば當然呼び物として堂々と宣傳される筈のものであるが、京阪神はもとより大連までお濱映畫「地上の星座」の後篇星座篇と組んで發表されたため前寫しにされてゐる

藝者から妾へ、そして寄食暮らしの足を洗つて浪人横手の妻になり子までなしたお雪は金に窮して再び藝者となり、置屋の用心棒梶雄二郎に戀をおぼえる、その上子供が死んでしまつたので邪慳な横手と別れて梶と一緒にならうとするが梶には正雪一味の殘黨風間の妹おしのといふ愛人がある、おしのが横手の惡計から腰味屋に賣られその上横手の密告でおしのの兄風間が幕吏に捕はれやうとした時お雪は梶、おしの、風間の三人を救つて淋しく戀をあきらめる

陰慘な浪人生活――主人公梶は浪人で藝者屋の用心棒、横手は女房を藝者にして食つてゐる浪人、風間はお尋ね者の浪人、そして顯かな人生觀を持つ梶の友人社堂金太郎も浪人だ、原作脚色の柳川眞一は全ての物語りを浪人生活の種々相によつて描き出さうと努めてゐる、一つの浪人と云ふ世界にもこれだけ違つた人生があるんだ――と云ひたいのだらう、然し何となく白々しいものがある、デカ／＼と物語を飾り立てゝゐる割に効果がないと敢て云ひたい、一體この映畫は原作者が力んでゐる割に力が入つてゐない感がある

秋山耕作の演出も、いろ／＼と充分に用意してゐることは買へるが、原作にとらはれすぎて機械的な動きが多く生硬さが目立つ、もう少し感情に浸み込むものがほしい、阪東好太郎、飯塚敏子も大して述べ立てる程の演技は見せぬ、殊に好太郎の梶はお雪（飯塚敏子）を愛してゐるのか、おしの（堀江清子）を愛してゐるのか、性格に判然としないものがある、ミス大阪堀江清子はズブの素人といつてよい、性格的に難しいおしのゝ役は荷が重過ぎる、寧ろ小林重四郎の横手、山路義人の社堂を賞めた

◇◇愛刀小松五郎◇◇　國定忠次が未だ若かりし頃、代官殺しの晃園から人を斬るのは劍でなく度胸だとおしへられ、愛刀小松五郎をひつさげて島村の伊三郎方に乘り込み、鐵火の度胸で伊三郎の首をはねる、日活時代劇瀧口新太郎、大倉千代子主演映畫（日活館上映）

滿鐵會社八年度業績
情勢の變化に惠まれ
前年對實質增益二千四百萬圓
株主總會席上　八田副總裁報告

滿鐵會社は二十日東京において第三十三次株主總會を開催したが、左記は同席上同社八年度營業成績について八田副總裁の報告にかゝる全文である

本年度における總收入は二億四千八百萬圓、總支出は二億五百八萬圓、差引利益金は四千二百九十二萬圓となり、之れを前年度に比較すれば千八百三十六萬圓の收益減少であるが、併し前年度利益金六千百二十八萬圓中には滿洲國鐵道借款利息四千二百七十七萬圓を貸付金元本に振替へた收入が含まれて居るのでこれを除外すれば本年度の方が二千四百四十一萬圓の增加を見たことになつて居る、八年度營業收支の事業別内譯は損益計算書記載の額であるが、今其の主要なるものを示せば鐵道業の益金は八千百六十萬圓で、前年度に比較して千百十六萬圓の增加である、其の增收の主なる原因は乘客の增加に依り

客車收入 に於て三百九十四萬圓、貨物數量の增加に依り貨車收入に於て九百二十四萬圓、其の他の收入に於て二百六十四萬圓の增收を見、合計千五百八十三萬圓の收入增加となり、一方支出は業務量の增加に伴ひて四百六十六萬圓の增加となり、結局前述の益金增加となつた次第である、次に旅館業は十二萬圓で前年度に比し八萬六千圓の益金增加、港灣業の益金は四百三十四萬圓で前年度に比較して四萬二千圓の增加を示した、次に鑛業の益金は五百七萬圓で、之を前年度に比すれば四百九十三萬圓の增加である、增加の主なる原因は炭況の好轉に伴ふ地賣及輸出炭の需要增加等に依り千五百八十八萬圓の增收を見、又一方支出に於いて販賣數量增加に伴ふ經費增加……

……因は附屬地の發展に伴ひ醫院收入、水道收入其の他の收入增加があつた爲である、總務費收支差額は七百八十四萬圓の損失で前年度に比較し百四十二萬圓の損失減少、其の主なる原因は一方に於て株式募集額面超過金其の他の收入で九百六萬圓の增を見、他方に於て

收入增加 所得稅、英債肩替りに因る爲替差額、防空、恤兵等の臨時支出其の他で七百六十四萬圓の支出增加あつたに因る次に利息收支は千二百十四萬圓の損失で前年度に比し三千百八十六萬圓の損失增加となるが七年度は滿洲國鐵道借款利息を收入に計上した關係あり之を除外すれば却て千九十一萬圓の損失減少となる主なる原因は預金利息、新線工事中の金利收入等の增加があり、社債利息、預り金利息其の他の利息支出に於て何れも減少を見たが爲である、次に資產償却及除却に於ては千九百十八萬圓を計上致し、之を前年度に比較して八百九十一萬圓の增加となつて居る主なるものは社債差額塡補金其の他特別償却等に依る、なほ昭和八年度中に低利借替せる社債の總額は一億一千七百十萬圓で、折柄の金融緩漫を利用し機會ある每に銳意借替を實行した、此の低利借替に因る利息負擔輕減額は年額約百八十萬圓に及ぶ、次に八年度事業費の大要は、八年度事業費認可豫算額は千五百三十三萬圓、繰越豫算額は五百五十二萬圓、追加豫算額は二千二百五十萬圓、合計

豫算總額 四千三百三十五萬圓でこの内二千九百十七萬圓を支出した、これを前年度に比較すれば豫算總額において二千百四十五萬圓、支出額において千三百四十萬圓を何れも增加して居る……

……架線工事、電氣機關車及び電氣ショベルの新造等その主なるもので七百二十二萬圓、地方施設は奉天第六小學校新築、新京醫院傳染病棟の新築、新京及び鞍山兩市街の給水施設、大連大豆油酒精抽出工場の新設等その主なるもので五百四萬圓、その他各地社宅の增、改築、本社事務室の增築等で二百六十六萬圓を支出した、尚昭和九年度事業計畫の概要は當社は過去數年只管緊縮の方針を以て臨み、事業費の如きも極力節減して來たが、今や滿洲國は益々發展し、各種の施設は着々と進行し、諸般の事業も亦勃興の機運に向つて來た、此の時勢の進運に鑑み必要不可缺のものを愼重審議し、繼續事業費一千八百餘萬圓、建設改良補充費其の他に五千百餘萬圓、合計六千九百餘萬圓の事業……

特に見逃せぬ 資產償却費計上
内容の充實を如實に語る

滿鐵の昭和八年度決算は二十日の定時株主總會において可決されたが、同年度は滿洲の建設景氣と内地の好況との影響を受けて社業振ひ就中鐵道、鑛業等の純益激增したゝめ本年度の總收入は二億四千八百萬圓で前年度に比し二百六萬圓の增收となつた、これに對する總支出は二億五百八萬圓で前年度に比し二千四十二萬圓の增加を見たため、結局前年度に比し收支差引において千八百三十六萬圓の純益減となつた、しかし前年度における滿洲國借款利息四千二百七十七萬圓および本年度における株式……

北滿の河川工事と農耕地の開發（三）
滿鐵經調囑託　ウキニアコウスキー

重要物產組合が取引條件改正要望
全國製油業聯合會に

新京煉瓦軟弱
生產過剩の爲

綿糸奔騰
三品仕手戰で

特產各品共 爰許一服狀態
市場は無味閑散に推移

中國銀公司
西北分公司設置

バヤ實業協會
民間交渉に反對

東拓利下内定

地金相場反騰

一月來不渡手形

海外銀塊高で鈔票引締る

市況（二十日）

大阪株式　東京株式　大阪期米　神戶期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　横濱生糸　印度棉花　錢鈔　奧地相場　上海爲替情報　爲替相場　手形交換高　前場

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部賣 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

今年新秋の頃 高松宮殿下御渡滿

重なる光榮に輝く新興滿洲帝國

高松宮殿下

【東京特電二十日發】高松宮殿下には海軍大尉として目下聯合艦隊所屬軍艦扶桑に御乘組みあり、分隊長として艦務に就かせられ、日夜海上の御生活中であるが承るところによれば殿下にはかねて新興滿洲國御訪問の思召あり、御内意を拜した宮内省では海軍省及び關東軍側と過般來打合せ中であつたが、殿下御勤務の御都合を拜察して今秋九月下旬頃大連御經由御渡滿といふことに御豫定を内申したとのことである、殿下の御渡滿は總て非公式であつて、御滯在も短期間の趣と承るが、秩父宮殿下親しく御訪滿あらせられたに引續かせられて、我海の宮樣の御訪問を拜し日滿兩國の修交はいよいよ緊密の度を加へるわけである

海軍豫備會商は結局三强の議決

伊佛參加は單なる形式

【ロンドン十九日發國通】海軍豫備交渉は米國側專門家も出揃つて居る關係もあり差當り英米を中心に行はれるがその結果は常に日本並にイタリー大使館へ通告される事になつて居る、然しイタリーは受諾の回答を寄せたとはいへフランスと共に稍事情を異にして居るため交渉は差し當つて日、英、米三國の多邊的交渉の形をとるものと見られる、なほ英國の豫備交渉提案に對するフランスの回答は茲一週間以内に來るものと期待されて居る

論據なしとは誣言

米プラット提督の所見に對し わが海軍當局の反駁

【東京二十日發國通】プラット提督が發表した日本海軍の現行比率變更に關する私見に對し海軍當局では左の如き意向を述べてゐる

一、プラット提督は日本政府が英米兩國に對する現行海軍比率の更改を主張してその引上げを要求する論理的根據がないと述べてゐるがワシントン條約は十五年前のものでその間國際情勢の變化、兵器の進步、我國勢の躍進等により更改は緊要でありロンドン條約又短期なる故に贊成し次の軍縮會議に自由な立場で全然新な主張をなすことは既に聲明した通りである

二、日本は米國の如く太平大西兩洋には接してゐないが米國の艦隊が全力を太平洋に集中してゐる事實に鑑み之に對應するだけの海軍力は絶對に必要である

三、一日戰爭が起つた場合日本は中立國として英米と何等異なるところはない、寧ろ建國未だ日尚淺い滿洲國との日滿議定書あり中立國としての責任は極めて重大である

四、日本の財政は建艦競爭に堪へ得ないとみるは誤りで刻一刻變化するに時機を選び軍備を充實するがため軍縮條約廢棄後の財政は現在より樂になる筈である從つて軍備に對する國民的觀點から見てもプラット提督の觀測は誤りである

論文要領 "日本權利は滿洲のみ"

【ニューヨーク十九日發國通】プラット提督の論文要領は次の如くである

世界の 海軍問題を仔細に檢討すれば日本政府が英米兩國に對する現行海軍力比率の更改を主張しその引き上げを考慮する論理的根據が全然存在しない事が分る日本政府が海軍力を實質的に增力する事を要求するのは決して國際間の平和を促進せず、且均等權要求並に安全保障の原則だけでは到底比率更改の充分な論據とならない、然し乍ら日本は他の

諸點に 付いて各國と均等の待遇を受けるのは當然の權利を有して居り此の權利が正當に認められざる限り太平洋上の緊迫した空氣は解消しないであらう、日米兩國が互に相手國の權利を尊重し條約上の義務を遵守し且通商戰を始めぬ限り日米兩國間の親善關係が維持できぬといふ理由は更に無い 技術的政治的考慮は別としても現在の經濟的情勢が一九三五年の海軍々縮の會議に重大影響を及ぼす事は確かだ

現實の 情勢如何乃至その論理的團結如何よりも懸案處理に當る者並に當業者相互間の態度如何がより以上交渉の結果を支配する事となろう、何れにせよ陸軍並に空軍國が海軍國と同等の基礎に立つて

論議に 參加せぬ以上軍備の縮小に依つて國際平和の安定を計る事は到底成功しないだらう

尚プラット提督は最後に滿洲問題に言及して

日本は滿洲に確固たる足場を得る迄は日本の國防上の缺陷は除かれず從つて日本は滿洲に於ては或程度まで權利を主張し得る

と結んで居る

善隣協會設立

【東京二十日發國通】蒙古事情を研究調査し蒙古と日滿兩國との文化的提携を圖る中心機關として財團法人善隣協會の設立が計畫されてゐたが、今回一條實孝公を會長として成立し事業も着々進捗を見るに至つた、依つて披露と事業報告を兼ね來る二十六日九段の軍人會館で發會式を擧げる事となつた當日は廣田外相始め關係者多數出席の豫定

延命工作の翰長と法相の意見對立

閣内の不統一を增大

【東京特電二十日發】大藏省疑獄事件に關し閣僚中にはいはゆる中間報告の遲延が政局不安の原因なりとし、また政府の進退に關しても最早遷延時を移すべきにあらずとの意見を藏してゐるに拘らず、一度閣議の席となるや一樣に口を緘して同問題にふれるのを避けてゐることは異樣の感を與へてゐる、殊に政府の延命工作を代表してゐる堀切書記官長の見解と、小山法相の見解とは全く對立し最近は感情的にも益々背馳の傾向にあり、堀切氏が法相引退の後釜を狙ふ意圖ありとも傳へ閣内不統一を益々增大するので政局を更に危機に導くものとされてゐる

政局不安を急速に一掃せよ

閣僚間に意見擡頭

【東京二十日發國通】大藏省事件に對する檢察當局の取調べは今後何時になつたら眞相が明白になるか見透しつかず一方齋藤首相は事件の眞相判明まで靜觀すると申合せてゐるので現狀を繼續せねばならぬ事情の下にあるが、何時までも政變氣構への不安狀態に政局を曝しておくことは國家としても不利益この上もないので政府として事件の取調べとは別個に時局の不安を一掃する必要があるとの意見が多數閣僚間に有力化しつゝあるので事件の眞相判明まで靜觀を申合せた齋藤首相の當惑は甚だしいものがある

技術事項打合

【天津十九日發國通】本朝の大公報は奉天、北平間通車手續は既に決定、中國側の技術事項につき國際觀光局と打合せのため、目下上海にある中國旅行社總經理陳光甫（相濤）氏に至急來津するやう召電を發したと報じてゐる

けふ最終日 關東州防空演習 攻防野外戰鬪で終幕

敵國は昨二十日晝夜五回に亙り關東州に對し捨身の空襲を繰返したが我が勇烈なる防衞各部隊はよくこれを制壓して大損害を與へ各地防護團も亦地上の損害を極少限度に喰止め、軍民相共に聖域の安泰を確保するに至つた、然し統監部發表の別項第四情況が示す如く敵國は必ずや最後の一戰を試むべく今曉敵機の大空襲を邀へて一大合戰が展開されるであらう、なほ時局重大なる折柄、在大連中等學校以上の生徒約五千は今曉四時半より白雲山山麓において鏡山司令官統監のもとに一大攻防野外演習を實施するであらう

敵機、大空襲斷行 防護團俄然緊張

廿一日午前三時情報入る

關東州防空演習統監部は二十一日演習再興に方り豫め普及せしむべく廿日深更第四情況として左の通り發表した

一、六月二十日敵機は益々執拗且猛烈に空襲を反覆したるも我被害は前日に比し著しく減少せり之れ主として我防空諸隊特に防護團の彌々熟練の度を高め自信の念を強めたるによる 一般市民は「來らざるを恃まず待つ有るを恃む」概を以て努力したる「平時の準備」の效果に對し今更乍ら感激し狂喜しつゝあり

二、廿一日午前三時半頃關東州防衞司令官は左記無線通報に接す

1、敵航空母艦らしきもの二隻午前三時頃濟州島沖（朝鮮西南部）を游弋しつゝあり（某商船發電）

2、十機を下らざる敵機は午前三時龍岩浦沖を西南進しつゝあり（〇〇防衞司令官發電）

三、防衞司令官は關東州特に大連の空襲を豫期し即時之を普達し防衞諸隊特に防護團は絶大の自信を以て敵の大空襲に備へつゝあり

燈火管制視察

菱刈大將若草山へ

午前中市内各所の防空防護作業を視察した菱刈軍司令官は午後八時五十分全市が非常燈火管制にて暗黒の街と化してゐる中を日下局長、篠原秘書官、今岡副官帶同、若草山觀測所に向ひ同所にて鏡山統監小川防護團長、草間觀測所長始め防護團員の出迎へを受けて直に屋上ベランダに立ち鏡山統監の說明を受けつゝ全市の非常管制ぶりを視察したが、午後九時五十分下山旅順への歸途に就いた、管制中暗黒の市街を見下しつゝ次の如く語つた

本日全市防護團の活躍狀況をつぶさに視察して非常な感激を覺えた、國家非常の時に當つて國民の第一線とも云ふべき廣大の市民がかくの如く協力一致して防空に不斷の備へを布きつゝあるといふことは最も強い銃後の力の一として非常な力づよさを感じさせずにはおかない、作業の出來不出來は統監が論ずべき問題であつて自分は唯この協力一致の力が今後各方面に事毎にあらはれることを強く信ずる殊に市政の上に大きな力となつて諸般の問題をよきに導いて行くことであらう（寫眞は向つて左から菱刈軍司令官、鏡山統監、小川防護團長、岩井顧問、日下内務局長、若草山觀測所）

菱刈大將督戰

二十日午後菱刈關東軍司令官は午後一時埠頭を訪問、煙幕作業を視察したる後電氣遊園下高射砲陣地沙河口眞金町の防火作業、早苗町の照空分隊を視察し午後二時五十分滿電屋上より天滿屋の模擬攻防戰、防火防毒演習を熱心に觀戰したが、引き續いて本社屋上の防空隊を訪れ折しも飛來した敵機との戰鬪ぶりを觀戰、我が防衞隊防空隊の活躍を視察 更に午後三時四十五分大連醫院を訪問し同院二階に陳列された防護器具を參觀して本館屋上に立つて午後四時過ぎより開始された大廣場の煙幕遮蔽作業を視察午後四時五十分ヤマトホテルに入つたが、尚引きつづいて行はれてゐる大廣場の防護作業をルーフより熱心に視察した

防護團長命令

大連市防護團本部では二十日午後八時四十分左の如き命令を發した

一、本二十日の演習は別命なくば正子を以て演習を中止す爾後團員は適宜休養に就くべし

二、明二十一日は別紙情況に基き午前四時三十分迄に警備につき演習を開始すべし

大連市防護團長 小川順之助

"今度は大成功だ"

鏡山統監燈火管制評

防空演習第二夜の燈火管制を若草山より統監した鏡山少將は次の如く感想を述べた

本夜の燈火管制は全く完全であり何等非を打つ點を發見することが出來なかつた、これでこそ大連の空は完全に守られ、又大連全市を敵機猛襲から救ふことが出來るのである、時々電車のスパークが見えたが、これは電車を運行させてゐる限りは仕方があるまい、前夜特に目立つた自動車のヘッドライトも今夜は完全におほはれてゐた、本夜の攻防演習全體を通じていふと全市は敵機が大連市上空に姿を現はす十數分前に消燈したが、本來なればもつと早く消燈してゐないと晴れた夜等敵機に市街の正確なる位置を感知される危險がある、しかしこれは防衞司令部の命によつて消燈が行はれるのであるから市民の責任ではない、何れにせよ本夜の燈火管制は大成功であつたといへる

爆彈雨下の港町

防護各班の活躍目覺し

廿日午前中一回空襲したる敵は午後に入り更に猛然と空襲に次ぐ空襲を敢行した、卽ち正午前後旅順貔子窩、黃阯子等より敵機來襲を頻繁に報ずれば防衞司令部は防空飛行隊に下命し、午後零時五十六分非常警報を發令、滿を持して待つうち一時十六分爆擊機二機次で民間武裝機一機の來襲あり、わが友軍戰鬪機三機はこれを邀へ擊ち高射砲、高射機關銃等も一齊に猛射したが敵機は勇敢にも楓町、西廣場、眞弓町、朝日町交叉點、浪速町、關東館、小崗子昌光硝子會社等に爆彈を投下し防護各分團の作業目覺ましく つぎに埠頭に飛來して埠頭事務所に燒夷彈を投下したるも防火班の大活動により損害些少に止まり 殊に埠頭内外は菱刈軍司令官の督戰裡に大煙幕を展開したため敵機は完全に欺瞞されて同二十六分機影を沒し非常警戒も同五十四分解除された、更に午後四時三十三分重爆二機大連上空を襲うたが我戰鬪機六機これを挾擊して一機を大破し他機も充分目的を達し得ずして西方に去り、同四十分にも東方より輕爆二機來襲したがこれまたわが六戰鬪機のため一機は海中に擊墜され一機はわが高射砲のため大損害を蒙つた、而して我方は埠頭港内の一汽船が投彈されて出火したるほか大した損害はなかつた、續いて五時十分三山島方面より重爆一機來襲したが高射砲に行動を驅附され辛ふじて沙河口工場に投彈して北方に遁逃したが我が防護團は空襲毎に敵機の投彈箇所に驅付け損害を最少限度に喰ひ止めた

陸軍今後の資材整備方針

東北に航空部隊設置

【東京二十日發國通】陸軍では八年度より繼續せる作戰資材の整備は十年度迄で一應終るので國際情勢を考慮の上航空部隊の整備を企圖し首腦部は專門的見地、國力の兩方面より左の方針を決定してゐる

一、新陳代謝が激しい故障備機製造には一定限度を置き製造能力を擴充する

一、早急の間に合はすやう人員を充實する

一、東北、北海道、北陸に飛行隊を設置しその費用は財政狀態を考慮し膨脹を避くべく、十年度豫算に計上されてゐる資材整備費中幾分かをこれに充當し不足分だけ大藏當局に支出させる

陸軍豫算は右の次第にて來年度も減少せぬを豫想してゐる

ソ聯、民國と共に肩を併ぶる"滿洲國"

日本エストニア間公文に明記

【東京特電二十日發】二十日の樞密院で可決された日本とエストニア國間通商暫定取極めに關する交換公文の内に我國がエストニア國に對し供與すべき最惠國待遇の除外例として滿洲國、中華民國又はソウエート社會主義共和國に對し右諸國との地方的特殊的經濟關係を促進する唯一の目的を以て關稅に關し日本より供與せらるゝことあるべき利益を除外する旨の規定あり、明らかに滿洲國の文字を明記せるはエストニア國が滿洲國を承認する意思あることを明示したものとして注目に値する

新選擧法可決

きのふの樞府本會議

【東京二十日發國通】去る六十五議會で根本的修正を蒙つた改正選擧法は午前十時三十分から開かれた樞府本會議において議會通過の原案通り可決、政府は直に上奏御裁可の手續を執つたから遲くも兩三日中には公布され愈々次回總選擧より施行さるゝに決定した

國際運輸會社 三十日株主總會 配當は八朱据置

國際運輸會社では來る三十日同社において定時總會を開催、昭和八年度（八年四月より九年三月に至る）の決算を附議、株主配當年八分の承認を求むる筈だが、收支決算案は目下滿鐵を經て拓務省に認可申請中である、しかして當期の業績は既報の如く滿洲國經濟建設の發展に伴つて好轉し、當期の利益金四十萬三千十二圓二十九錢を計上、これに前期繰越金二萬四千七百六十九圓五十錢を合して四十二萬七千七百八十一圓七十九錢となり、前期の三十二萬九千六十九圓五十錢に比較すれば九萬八千七百十二圓二十九錢の增收を示してゐる、但し前期は防空兵器獻納のため六萬圓を控除してゐるから事實上に於ては三萬八千七百十二圓二十九錢の增收となるわけである 利益金の處分は

法定積立金 二萬一千圓
配當（年八分） 十三萬六千圓
別途積立金 十五萬圓
社員退職手當基金 五萬圓

として殘餘が役員賞與並びに後期繰越金となる筈だが、上記の如き增收を示しながらなほ增配を行はなかつたのは社業の内容を堅實にして不況時に處するため別途積立金を多くしたものである

白國特使招宴

菱刈駐滿大使主催 ゆうべヤマトホテルにて

來連中の訪日白國特使ウイリアム・タイス大使を迎へて菱刈駐滿大使は二十日午後七時よりヤマトホテルに於いて招宴を催したが來賓はタイス大使始め一行七名、主人側は菱刈長官、日下内務局長、御厨外事課長等主客約三十名で歡談を交へて同八時五十分終つた、なほタイス大使一行は同夜九時發列車にて離連したが奉山線經由天津に向ふ（寫眞はホテルにて）

何健主席南下 反蔣聯盟醞釀

【南京十九日發國通】湖南省主席何健は十八日蔣介石が廣東省境に急造中の飛行場及び砲壘工事見廻り旁廣東に赴き陳濟棠、李宗仁、白崇禧等と會見する旨打電、十九日長沙發衡州經由南下した、何健は從來反蔣系として蔣より警戒されて居り且つ目下西南には暗々裡に反蔣聯盟が醞釀し南京西南間の政治的對立關係が進行中の折柄とて何健の西南行は當然各方面から重大視されてゐる

ル大統領銀法案に署名

【ワシントン十九日發國通】ル大統領は十九日夜銀法案に署名し同案は茲に正式成立した

松方乙彦氏歸朝

【橫濱二十日發國通】私設日米親善使節松方乙彦氏は二十日午後一時入港の淺間丸で歸朝した

人事

非公式軍事參議官會議

【東京二十日發國通】定例非公式軍事參議官會議は午後二時開會柳川次官から最近の政局を說明、北支情勢、日支間關係を報告、植田參謀次長からは秩父宮殿下に隨行視察したる滿洲國發展情況、治安狀態、關東軍一般情況を詳細報告林陸相からも最近視察した各航空部隊現狀を述べ航空充實につき忌憚なき意見を交換した

大觀小觀

▲ウイリアム・タイス大使二十日夜九時發列車にて北行

蘭印側は對日熱を昂めて、海峽植民地と軍事協定までやらうとする▲英國の東洋艦隊が蘭印の安全保障になるとは、さても愚な事を考へたもの▲曩に大西洋岸に行つた米國聯合艦隊、十八日ニューヨーク出港、再び太平洋に舞ひ戻る▲出發の時、もつと強くなつて復歸するのだと聲明した、豫定の行動たるに過ぎず▲米國プラット提督、海軍比率更改不贊成論を發表す▲但し海軍力以外では日本は均等待遇を受くべきだと移民法修正をほのめかす▲海軍力均等を認めず、其他で均等とは不徹底極まる▲ロンドン條約の時も誰かゞそんなことを放送した、こんなごまかしに又もや日本が乘らうと思ふなら甘く見すぎてゐる▲海軍會議開催地、パリかヘーグならよいといふ日本の主張はワシントン會議ロンドン會議の絆をスッパリ斷たんが爲めなり▲今度は東京が順、それを主張しないのは非常な控へ目である、英米も冷靜なるべし▲支那に海軍大學校新設、敎授は外國より招聘するといふ▲海軍建設と共に良き將校の養成も必要には相違ない。

朝刊本紙十二頁 第五面は日森上海特派員の「縮減されたる支那共產黨勢力」が今明兩日にわたつて掲載されます

社説

國民道德と敬老の美風

滿洲在住の邦人間には夙に敬老會といふのがある。大連でも既に本年度の行事を濟ませたがこれと同樣の催しが斷續して沿線各地にも行はれつゝある。一見些々たる地方的出來事のやうだが、その人心に及ぼす社會風教上の價値は尠少でない。近來何處にも流行して居る幼兒愛護並にその保健に關する運動は、社會衛生及び民族の體格向上などから有益な問題であり、各人各戸の自然愛に本づく好現象だが、敬老會の如きもそれに劣らぬ德教の一である。就中植民地は比較的壯青年が大部を占めて居る爲め、動もすれば老人が輕視される傾向を生じ易い。それは經濟生活に汲々たる世相から見て已むない點はあるが、社會道義の皷吹上頗る面白くない結果を生ぜざるを得ぬ。

◇

老者は之を安んじ、少者は之を懷かしむとは儒學の最も力說し來つた平易な、而も人生の情味が徹底した根本倫理の一だ。我が日本の如き古來家族制度を重んじ、所謂クランの結束に由つて國體基礎が鞏固にされ、それから生れた國民精神の光輝を誇つて居るが、この本能性を益々鞏固ならしめたものは前述儒教の倫理觀念である。之を理論的に觀察しても、老人は最も知識經驗に富む分子であつて、後進者たる壯者少者は、その知識を擴充し、その經驗を實際に擴充すべき立場にある。そこに一人一家の家族的安定が深められ國家としての進運が順序附けられる。然るに一たび個人主義が輸入されてより、動もすれば老人の尊重さるべき情味を閑却し唯だ青壯年の進取的力量のみが偏重されんとする。勿論生理的元氣の衰退した老人は、總てが保守的であり消極的であり易い。併しそれは老人を何時迄も青壯年者の當るべき責務の地に立たしめやうとするからの成行きで、直ちに老人の存在價値を沒却すべき理由とはならない。殊に健全なる青壯年者は健全なる老人から分血し、その手に哺育教導された人々だ。老人なき家庭は屢々健康なき家庭である。

◇

絕對的自由感からいへば、何人もの間に階級はない。少くとも甲乙彼此を通じてそれを主張すべき道理はない。併し唯だ後天的に人爲の如何ともすべからざる者は、男女の性を別ち、長幼の序を追ふ自然現象だ。貧富貴賤の差別は常に輪々として一定しないが、老少は遂に最後まで之を顚沚し得ない。其處に道義の根本律を据ゑたのが、家族制度の眞諦であり、儒教の五倫觀である。敬老會はこの道德を最も普遍的に行事化したものだ。植民地にこの風潮の盛になつたことは、それだけその地の基礎が固まつた證據だ。歐洲戰後の各國に於ける社會狀態を視察した人々は、この曠古の爭鬪が如何に國家組織の上に弱點を發生させたかを看取する。就中特異な一現象は社會の中堅たる壯年者の減少だ。それが總ゆる方面に老者少者間のギャップを生ぜしめた事だ。當時の壯年者は今の老年者だが、戰時鬪場に送られた青年者の多數は、或は戰死し、或は傷病の餘禍に苦んで居る。ギャップはそれから生じ、そのギャップが事毎に老年者と青年者との意見を背馳させて居るといふ。

◇

この一例から見ても、敬老の風が盛んなのは社會の健全な意味する。老者長者の知識經驗が壯者なる中堅に依つて繼承強化され、潑剌たる元氣に滿ち、而も經驗の之を總攬するものなき青少年者を指導して、國家社會の堅實味を增進せしめる。それが國運勃興時の一大要件であり中堅たる壯年者の責任なのだ。切言すれば敬老の念なき國民は社會の結束を鞏固ならしむべき中堅なき國民だといひ得る。勿論個々の現象に就いて許すれば老者必しも賢者でない、而も人生の大勢から達觀して、經驗は知識を生み知識は更に次の經驗に進むのが順路だ。そこに老壯少の年代的不可離性があり、それに根ざす社會風教の盛衰の重視さるべき理由がある。

滿鐵定時株主總會

異議なく全議案可決

【東京特電二十日發】二十日の滿鐵株主總會は夜來の風雨にも拘らず、會場たる丸の内鐵道協會に參集する株主たちで仲通りは自動車に埋まり一時はバスまで立往生する騷ぎであつた、出席委任狀合せて七千九百七十二名、昨年の總會以來多數の株主が如何に此の總會に關心を持つてゐたかゞ推知される

定刻振鈴とともに會場壇上の議長席に林總裁、その右隣には八田副總裁、孰れもモーニング姿で着席、その傍らに法律顧問の片山博士、續いて山西、竹中、大淵の三理事その背後に平山、角田の支社幹部その反對側に稻垣監理官、各監事が居並ぶ、林總裁は貴族院で鍛へた鮮かな議長振りを示し、よく通る朗かな調子で演說し、八田副總裁も悠揚迫らぬ調子で詳細な報告をやつてのける、決算報告の採決に入らうとするとき突如一人の株主が發言を求め「滿鐵の配當八分は多過ぎるから六分とするのが至當である」との動議を提出したが賛成者なくそのまゝ葬られた、其の他の議案も別に何の異議なく總て原案通り可決となつたが、最後になつて前記の一株主が又立ち上り「理事の中三人が滿期となるが村上氏は評判がいゝから重任して貰ひたい」といひ出し重役連を苦笑せしめたが林總裁「ソレは議題外です」とアッサリ片付けて閉會した、此の餘興を勤めた株主はタッタ一株の株主である事が判明した

社債募集能力說明

【東京特電二十日發】林滿鐵總裁は二十日の株主總會において第三號議案社債募集の件が附議されたに際し先づ八年度における社債募集および償還額について說明し現在の社債發行狀態および募集能力について左の如く說明した

八年度末現在滿鐵社債總額は三億七千七百八十五萬圓であるが社債發行限度は現在八億圓でこれに對する發行餘力は四億二千二百十五萬圓を有し、うち既に株主總會の決議を經て何時でも發行し得る金額は四千六百二十四萬圓で茲に社債二億圓發行の承認を得んとするものである

紀賢號に關する

ソ聯の聲明一蹴

大田駐ソ大使に電命

【東京二十日發國通】紀賢號事件で十八日大田大使に手交されたソウエートの聲明書を一蹴すべき旨を談話の形式で十九日大田大使に命令を送達した

臺灣生果輸入

最盛期に入る

相場も漸次低落步調

臺灣よりの生果輸入は五月來增加の一途を辿つてゐるが、六月に入つては益々多く十二日入港の大天山丸にてはバナナ一萬二千七百二十四籠、青果九十八個の大輸入を見、遂に一船にて一萬籠を突破するに至つたが、十六日入港の商船第二東洋丸では開始以來の記錄を作るに至つた（單位籠）

▲大連揚　バナナ一一、五七八、其他果實四、八三四、計一六、四一二
▲仁川揚　バナナ三、五二〇
▲青島揚　バナナ七八二
▲天津揚　バナナ四、二四二、其他一一〇、計四、三五〇、合計二〇、七一四

以上の如く二萬七百十四籠の生果が臺灣より輸入されたが次船の大華丸でもバナナ一萬一千六百十二籠、青果一千百十三籠、合計一萬二千百七十五籠の輸入を見る筈である

而して當業者の言によればこの大量輸入は臺灣バナナの最盛期を如實に物語るもので現在が輸入の最盛期と見られてゐるが、七月末までは相當に輸入される見込みである、從つて當市のバナナ卸賣値段も四月初めの一籠六圓臺から五月の四圓五、六十錢と低落し、最近は三圓四、五十錢の安値を見せてゐる、なほ現在奥地向バナナも增加し第二東洋丸の大連揚バナナの中二千四百籠は奉天に、三千八百籠はハルビンに輸送されるものである

朝鮮の滿洲移民

十年計畫、年に十萬人

【京城廿日發國通】宇垣總督の最大事業たる朝鮮からの滿洲移民は拓務、外務、大藏省主查と上京中に打合せを終へたので今井田政務總監が具體案作成を開始した、十ケ年繼續事業として一年に二萬戸十萬名づゝ移住せしめんとするものである

滿洲貿易公司

設立懇談會開く

【奉天特電二十日發】滿洲國も王道樂土建設と共に日滿親善で益々緊密を加へ兩國民は渾然融和して共存共榮の大眼目のもとに經濟提携を固めることが兩國百年の大計上急務となし滿洲國の商工業者は滿洲奥地の生產者及び消費者を直接結びつけ中間搾取を廢し双方の利益增進を圖るため吉林電燈廠長林鶴皐氏は滿洲國民衆を代表し其他二十餘名を發起人として資本金三百萬圓の滿洲貿易公司の設立を計畫し在滿日系貿易業者商取引者中に非常なセンセーションを捲き起してゐるが二十日午後一時同公司側林氏外數名城內貿易協會側上田西尾兩氏外數名その他庵谷奉天商議會頭等奉天商工會議所に參集し懇談會を開催し相互に忌憚なき意見の交換をなし林氏より同公司設立の趣意動機を詳細に亘り說明したに對し西尾氏の質問次で上田氏の意見開陳あり最後に庵谷商議會頭より日滿經濟統制の見地より大いに研究され實現に努力されたいとの希望を述べ午後三時半散會した

總務司長會議

各部の豫算分配協議

【新京特電二十日發】過般國務院に提出の滿洲國康德元年度各部豫算は先月末を以て編成を終つたので、二十日午前十時より總務廳において各部總務司長會議を開催、各部豫算の分配に關し協議を行つた、康德元年度豫算は大體既報の如く歲出の歲入を超過する事九千五百萬元の巨額に上り總務司長會議において之を如何に調節するか一般の注目して居る處であるが、公債募集、增稅は施政方針に反するを以て結局各部交渉の上妥協によつて歲出額を削減する事になるものと觀られて居る、然し各部においても重要なる關係を有するので豫算の獲得に躍起となつて居るので總務司長會議にて最後的決定をなす事は困難で最後的決定をなすには尙數回の折衝を行ふ必要あるべく、國務院豫算審査會議は或は半月位延長されるものと觀られて居る

輸組聯合總會

滿洲輸入組合定時聯合會總會は二十日午前九時半より大連輸入組合會議室に於て開催、山中理事長、田邊常務理事以下各組合理事出席滿鐵より尾野商工課長、境商工主任等臨席、山中理事長司會の下に左記諸案を附議決定した

一、昭和八年度事業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書及剩餘金處分案承認の件（可決）
二、滿洲輸入組合聯合會定款變更の件（可決）
三、低利資金貸付規程、同貸付取扱細則變更並に之に伴ふ組合定款改正の件（可決）
四、自己資金の運用制限撤廢の件（否決）
五、滿鐵融通資金の取扱銀行間に付替制度を設くるの件（否決）
六、聯合會理事任期滿了に付改選の件（重任）
七、聯合會理事長、常務理事任期滿了に付改選の件（重任）
八、昭和九年度聯合會監查員選任の件

滯京のペン氏

【新京特電二十日發】英國前印度主務大臣ウエデイ・ウツト・ペン氏は曩に東洋視察の爲數ケ月日本に滯在中であつたが、今回滿洲視察のため北支より奉天經由にて十七日午後七時三十分着にて來京ヤマトホテルに滯在目下各方面歷訪中であるが、歸途はシベリア經由にて歸國する筈である

六月中旬貿易

入超千四百萬圓

【東京二十日發國通】六月中旬外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	五九、七八九
輸入	七三、六八九
合計	一三三、四七八
入超	一三、九〇〇

更に一月以降累計入超一五五、五八八重要品輸出入額左の如し

▲輸出▲

品目	額
小麥粉	四五九
罐、瓶詰食料品	一、一九八
綿織糸	五六四
生糸	八、〇八三
綿織物	一二、五八四
絹織物	二、〇六一
人絹織物	三、一二九
メリヤス製品	一、四三七

▲輸入▲

品目	額
小麥	一、〇九一
豆類	一、七二九
原油及び重油	二、三八四
棉花	三〇、九五九
羊毛	一、二六三
鐵類	四、九三四
機械	四、三〇六
木材	七七九

對滿政策檢討（一）

對滿政策行方不明

原則未定で方向に迷ふ

在東京　日笠芳太郎

有名なる支那通の某將軍が某滿洲國前大官に對して「滿洲國に指導者が在るか？」指導精神があるか？」と尋ねたら、某前大官は言下に「そんなものはありませんよ」と答へた。誠に簡單明瞭であるが正にその通りで、一言にして盡してゐる。この答辯が事態の眞相を說明してゐる。だから林陸相は對滿政策の確立に精進し非常なる熱意を以て事に當つてゐるのだが、相手はスロー・モーションの齋藤內閣だから、悠々閑々たることゝ今頃の政局に對する諦觀どころか長期に亘りてのんびりしたものだ。これでは指導者も指導精神も有りさうな筈はないので、一體何時になつたら對滿政策の根本方針が定まるのだらうか？と滿洲關係の當局者等は一方ならず焦慮してゐる。

◇―◇

本文の筆者は九・一八事件以來滿洲に在ること多く、その間東京との間に十二回の往復を重ねて、中央帝都と滿洲現地との聯關を基調とし、わが對滿政策の行方を搜査したのであるが、未だに何等捕捉する所がない。それは林陸相が政策の確立を急いでゐるやうに、政府に未だ定見と見るべきものがないのだから摑み所のないのが當然で、特にけふ此頃政局の暗流急にして昏迷狀態に陷つてゐる時、滿洲問題どころぢやないといふ風だからやり切れない。筆者が最近歸還して暫く在京を欲する希望は、

一、中央において滿洲對策の決定を期待すること
二、中央の政治的及び經濟的視點から離れた滿洲を見直すこと
三、日本の事情を重心として滿洲現地に當らすべき正當なる認識を加へ且つその聯關を適切ならしむる眞相の把握

等々、相當欲張つた註文を抱いたのだが、右の如くしてその第一の重點が頓と埒が明かない近狀に對して、先づ失望を感ぜずにはゐられない。

◇―◇

事變の初め現地では或程度の獨斷專行が强行されて、善かれ惡かれ事態の進展を見たのであるが、以後支店勘定を本店勘定に直せといふやうな議論が如實に促進されて、支店の獨立勘定が薄らぎ漸次本店に移されることになつた。然るにその本店には勘定がなかつたのだ。支店の勘定を移した本店は在つても勘定がなかつたから、何のことやら譯の分らぬ間に合せの計算が現はれて、取止めのつかないものになつて了つた、勿論事變當時の如き獨立的支店勘定を永續すべきものではないが、無勘定よりは支店勘定だけでも在つた方が可いので結局この無勘定が事態の支離滅裂を誘致し、恰も迷路に彷徨しつゝその日過ぎの場面を展開する事を餘儀なくさるゝに至つた、それは某前大官のいふ如く、指導者無し、指導精神無しといふことになるので、現實の事態は自然出鱈目にならざるを得ない。

◇―◇

議會で問題になつた三位一體の變態性は、過渡期の便法といふことだつたが、わが出先機關の近況を窺ふと、矢張三位三體の使ひ分けになつてゐるので、これでは軍部が一元的制度の實現を熱望するのも已むを得ないであらう。さうして一切を（關東州を除く）軍部の指導統制下に入れやうとするのも、實力ある權威者として當然の結論となつて來るのだが、惜い哉政治や經濟は畑違ひで、唯廣義の國防理念に基く政治（經濟も含む）に關心を持つ程度であること、議會における說明通りである。赤故に政治經濟を含む一元化を實現するには、その道の達人を入れて軍部の關心以外の指導統制を行はねばならぬので、これがために機構の新設を見ることも當然であるが、どういふ譯か其所まで行進しない。だから求むる人も亦行かぬことになるので、その原因は中央政府の腹が定つてゐないから、何事も定まらぬといふ基幹的の缺陷を有するために、幾分出先でヤキモキして顧と効果的でない。

◇―◇

根本對策の定まらぬ適切なる事例は、附屬地問題を指摘することに依り最も明白で、中央においても出先においても同樣の意見の相異が對立してゐる。一つは滿鐵附屬地を解消して滿洲國に合流しようといふ全面的の日滿共通論で、一つは附屬地を依然わが權益として、その正當なる擴大强化をも意識する既定方針の堅持であるが、これを端的に附屬地だけの問題として解決しやうとしても、それは全く無理である。肝腎の日本の滿洲に臨む根本の態度、即ち基幹的方針の原則が定まらずして、意見が二つに分れてゐるのだから、之を右か左か一つの原則的意見に纏めた上でなくては、どうにもなりやうがないので、唯意見を異にして睨み合ふだけのことになる。無論それは出先の罪ではないので、添くも政府が方針を確定せぬから起る問題であるが、齋藤首相は對滿政策の拙速を好まずして愼重なる態度を執るといふこと久しく、未だに右とも左とも決定せぬために、現內閣は滿洲問題を解決する能力なしと等々の批難が起る所以である。

申譯の遮光

三木生

◇愛國生よ、燈火管制について尤もらしい理窟を並べて居るが、燈火に覆ひをなすのは外部に光線が漏れない樣にすることが目的なのである、眞似ごとへすればよいのでは無い。

理窟をやめよ

聖德街　笛生

◇燈火管制時に於ける心得は絕對に消燈せよとのことに非ずして、外部から何故消燈せぬかと嗽鳴られたといふことがお前さんの した事は眞似事に過ぎない事實を證明して餘りがある。不平を吐く前に自から屋外に出て他家の振り合と比較して見れば直ぐ分かる事である。

◇要するにお前さんなぞ熱意が缺如して居るのである、愛國生などと呼稱するのは僭越であり自今大に愼むことだ。

◇屋外に灯を漏らさぬ樣にとの訓練演習にあると思ひます。

◇貴下が注意を受けたのは貴下の遮光處置が完全でなかつた爲めに受けられたことゝ思考せられます、その注意に對しては反省すべきであつて、抗議がましい理窟をいふ可きではないと思ひます。

◇非常時、非常の場合、全員一致の行動を必要とする際、其處に多少の行違ひや無理が生じたとしても成べく理窟を拔きにして行動を共にすることが最も無難であると信じます。

◇今次の防空演習は防護團のみの演習に非ずして大連全市民の訓練演習に外ならぬ、この演習を最も効果的ならしめるには防護團員と協力一致する必要と義務があることを忘れてはならない

◇眞に絕對的の場合を除き五分や十分消燈したとて何の障りがあらうぞ、一つに心掛けの問題だと思ひます、自ら愛國生と自稱する人に三考を促す。

記者より

十九日朝刊本欄「防空と消燈」と題する投書に對し尙外に數通あります、また防護團員に對する批難の投書も數通あることを附記いたします

大豆軟調

（特產）

後場の大豆は買氣引立たず軟調を辿り、豆粕、豆油は人氣なく不申高粱は閑散保合を呈し不振裡に大引した

◇定期（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	三五〇〇	三五一〇	三五〇〇	三五一〇
八月末	三五五〇	三五五〇	三五一〇	三五四〇
九月末	三五七〇	三五七〇	三五五〇	三五六〇
十月末	三四九〇	三四九〇	三四七〇	三四七〇

出來高　七十一車

▲普通大豆　出來不申
▲豆粕　出來不申
▲豆油　出來不申
▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇

出來高　三車

▲包米　出來不申

◇現物（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三五一〇	三五〇〇
出來高	三十車	
普通大豆（袋込・裸物）	三四一〇	三四一〇
出來高	五車	
豆粕	一一二〇	一一一五
出來高	八千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

保合閑散

（錢鈔）

後場材料無く前場より十錢安に引け閑散

◇定期（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一二三五	一二三五	一二三五	一二三〇

出來高　期近三十二萬圓

◇現物（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一二三五	一四〇一〇	一二三七
二時	一二三五	一四〇一〇	一二三〇
三時	一二三五	一四〇一〇	一二三〇

出來高（銀對金十一萬三千圓、銀對洋一萬二千圓）

綿糸期近高

（商品）

綿糸　大阪三品期近二三圓高午後から先物弱保合を入れ當市は商内活

奥地市況

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	六月限	二七六四	三〇
同	同	二七五四	一〇
同	七月限	二三二五	七〇
同	八月限	二二五五	三〇
同	九月限	二一九〇	五〇
同	十月限	二一七二	三〇
同	十一月限	二一五四	一〇

出來高　二百三十梱

麻袋　出來不申

▲奉天奉票對金票
現物　五六二〇

▲奉天國幣對金票
現物　一〇六八三　一〇六八〇
先限　九三六〇　九三六〇

▲奉天國幣對鈔票
現物　一〇五二〇　一〇五二〇

▲新京國幣對金票
現物　一〇六八五　一〇六八五

▲哈爾濱國幣對金票
現物　一〇六九五　一〇六九五

▲哈爾濱小麥
七月　一二一〇　一二一〇
八月　—　—
九月　—　—

市場電報

大阪株式（長期）

銘柄	寄値	引値
大株	一一七〇〇	一一六五〇
大新	一一八一〇	一一七二〇
鐘紡	二三九四〇	二三八九〇
鐘新	一三〇八〇	一三〇六〇
日糖	七七八〇	七七八〇
郵船	不申	不申
滿鐵	不申	六七八〇
滿鐵新	不申	不申
東株	不申	不申
東新	一六四七〇	一六四〇〇

大阪株式（短期）

銘柄	寄値	引値	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	寄値	引値
東株	一五一四〇	一五一四〇
東新	一六三九〇	一六三六〇
中新	二四八〇	不申
先	不申	不申

東京株式（短期）

銘柄	寄値	引値	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

	當限	中限	先限
寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]

神戶期米

	當限	中限	先限
寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米

	當限	中限	先限
寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限	寄値	引値
六月	二七五九〇	二七〇一〇
七月	二三三二〇	二三三七〇
八月	二二五〇〇	二二五六〇
九月	二三〇〇〇	二三〇一〇
十月	二二六七〇	二二六三〇
十一月	二二四九〇	二二四二〇
十二月	二二四五〇	二二四二〇

橫濱生糸

限	一節	二節
六月	四六五〇〇	四六〇〇〇
七月	五〇三〇〇	五〇一〇〇
八月	五〇二〇〇	五〇〇〇〇
九月	五〇一〇〇	四九九〇〇
十月	五〇〇〇〇	四九九〇〇
十一月	五〇二〇〇	五〇〇〇〇

本日聽報を添ふ

不氣味な夜の空襲に 州内の全神經網躍動
關東州防空演習第一日

【金州】午後七時二十五分防空隊本部より金州防空監視隊に對し各監視哨位置に就けとの命下る、各哨に傳達、待機の姿勢となるや七時五十分非常管制の警報來る、所定のサイレンは一般に市民に之を報ずべく一齊に鳴らさるゝ、忽ちにして全市は闇黑となり防護團各班はそれ〴〵任務に活動し、先づ第一回の燈火管制は一糸亂れず整然と行はれた、此時遙かに大連上空には爆擊機飛來し赤、綠、白等の爆彈投下標示吊星光の點々するを眺め全市民は特に緊張したが同八時十五分警戒解除となつた八時四十五分第二回非常管制の警報ブー〳〵となるや遙か東北方より敵機我金州上空に飛來し白色標示吊星光の假想爆彈を投下して南方に飛びさる、九時十五分警報解除、同二十五分演習終了の命に接し各班は其部署を解いた

防空演習 旅順餘錄
强制的假裝患者 つひに泣き出す 本氣になつた防火

【旅順】演習第一日の十九日は折惡く天候不良で濃霧は四邊に立ち込め物凄い爆音が頭上に唸つてゐるが機體が見えず薄氣味の惡い演習日和、コレは味方に……卽ち空襲を受ける旅順のために幸ひなのか、敵機のために惡いのか？いづれにしてもパツト晴れ上つて貰ひたかつた

◇—各派出所の防護分團へは赤旗、トビ口、繩、ホース等々武裝した防護團員がいづれも緊張して活動する頼母しさ、土屋町派出所へは船渠の交友倶樂部から、又善通寺町派出所へは料亭一力から「皆樣御苦勞樣……」と握り飯の焚出しを寄贈して來た事は誠に奇特の至り

◇—流石は規律の正しき事と感じさせた事は此の寄贈を受けた分團長情報報告と共に之れが受入れ方に就き本部の幹部へ上申して來る、本部では目の廻る大多忙の中にも此報告を受け「ウム感心〳〵そうなくちやならん、宜敷いツ頂いて宜敷いツ」

◇—燒夷彈の投下は十一分團一齊に目ぼしい家屋に投下される、だから一時に旅順市內十一ケ所は大火災が起きた譯だ、善通寺分團の如きは餘り緊張し遂に本氣分となつて本水を使用し盛んに屋上にぶつかけ出したので附近の者も吃驚

◇—一寸困つた事は役所の給仕連と市中商店の中堅店員だ、大概靑訓の生徒だけに全部が防護團員に隨つて皆演習三日間は出動中である爲め「給仕御茶アー」が卽刻實現しない、デ今更店員諸君と給仕君の貴重さを思ふデス

◇—燒夷彈の投下、火災で死傷者が續出し救護班大活動をするが扨て負傷者になる者が無い、各分團ではこれが一寸困つたらしい、中でも某救護班見物の滿洲國人を突然手取り足取り無理矢理擔架に乘せ上からバンドで締めつけつゝ救護所へ運搬される

◇—判つてゐるボーイなんか面白がつてゐるが中には何が何んでどうなる事か「啊呀〳〵……」遂に泣出す假裝患者も見受けられた

◇—防護團本部も刻々報じて來る諸情報の接受、命令の發送で時計と首ツ引き、最も正確に行はれるので誰云ふとなく平素の事もコンナ工合に時間通りやれると好いがナア……一同その通り〳〵

〃護れ北滿の空〃 旗高らかに揚る
防空協會チチハル支部發會

【チチハル】〃護れ北滿の空〃の旗幟高く揚げて誕生した滿洲防空協會チチハル支部の發會式は十五日午後二時から龍沙公園において盛大に擧行されたが、此の日午後一時頃より銀翼數機會場上空低く旋回して五色のビラを撒布し支部役員、日滿軍民多數參列、江省軍々樂隊の日滿國歌奏樂裡に開會、支部長楊チチハル市長の挨拶の後、臧會長代理藤實業廳長、蒲○團長代理大島參謀長、內田領事、孫省長代理路秘書長、張警備司令官、高原民會長、王商務總會長ら夫々マイクロフオンを通じて祝辭を述べると共に防空施設の必要を力說し、引つゞいて各方面より寄せられた祝電を披露、最後に白石飛行隊長は四圍の情勢と防空について力强き講演をなし參列者に多大なる感動を與へ、同三時半盛況裡に閉會したが本支部は滿洲防空協會各支部中最前線に屬し、今後の活躍は注目期待されてゐると共に、空の滿チチハルを一層意義ある存在とするであらう

營口防空協會 發會式擧行

【營口】防空協會營口支部發會式擧行の事は既報の通りなるが愈々二十三日午前十時より營口小學校講堂に於て擧行せらるる事に決定した、式次第は一同着席、開會の辭支部長挨拶、役員任命來賓祝辭祝電披露閉會の辭以上にて發會式を終り續いて同講堂に於て祝宴を催す豫定であるが發會式に參列の案內狀は支部長楊管源氏の名を以て日滿通じて約三百名に發すべしと

防空演習から

(上)旅順第十一分團で益滿分團長より狀況報告を受ける枝原統監と幕僚 (下)金州內外棉特設防護隊の煙幕演習

京都の松風が進出 撫順にて陶器工業
炭礦との交涉成立す

【撫順】撫順炭礦の廢物として棄てられてゐたオイルセールの燃燒物が陶器用原料として優秀なものであることがこのほど發見され、また高熱度を要する陶器工業においては撫順はその燃料に惠まれてゐるので、撫順炭礦當局は撫順に陶器工業を興すべく計畫し、過般來京都の陶器製造元松風に交涉中であつたが兩者の交涉はその後急速に進捗し、いよ〳〵松風は積極的に乘り出すことになり、同社の藤岡事務は去る十八日來撫し、親しくその實際を調査すると共に炭礦當局と具體的交涉を行つたがその結果大體に於て撫順の塔灣に陶器工場を設けることに決したものの如くである、なほ最後的決定は藤岡事務の歸任をまつてとり決められる模樣であるが、新設される工場では主として電柱用の碍子を生產するほか一般の陶器をも製造するものである

御警衛美談
署長の心中に 署員一同緊張
任務のみの土屋署長

【鐵嶺】秩父御名代宮殿下御來滿に際して奉迎の日滿官民中各地に美談を傳へてゐるが鐵嶺警察署長土屋警視も今回の御警衛は重大且つ光榮の任務なりとし御警衞の方針に就ては日滿官民とも充分なる聯絡を執り萬全を期しつゝあつた折柄着任以來病臥中の夫人は容體香しからず絕對安靜を要し憂慮すべき容體であつたが署長は家事を顧みる暇なく御警衛に專念し署員を督勵して今回の重大任務を遂行し得た、署員は何れも每朝署長を見る每に其の心中を察し一入緊張の氣に滿ちたといふ、因に夫人の容體は今も尙ほ絕對安靜の域を脫しないが署長は今回の任務を無事に遂行し得たのは全署員協力の賜なりとし去る十六日全署員の爲めに盛大な慰勞の宴を張り十九日には御警衛關係の日滿官民有力者を官邸に招き慰勞の宴を張つたと

營口農村の 完成式

【營口】營口農村は東亞勸業公司が二千五百町步の荒地を租借し一大水田を興すべく計畫し昨八年六月起工式を擧行し爾來滿一ケ年孜々として建設に努めたる結果今日にては隔世の感ある發成振りを示し今秋の收穫の良否は今後の天候を待つの外なきも兎に角農村として建設事業は完成の域に達したるを以て同社長向坊盛一郎氏は來る二十四日完成式を擧行することゝし奉天、大連、營口、日滿官民三百名を招待する筈である

上村政次郎氏

【鐵嶺】新臺子電報電話局長上村政次郎氏は同地在任既に久しく新臺子が現在の如く異狀の發展を遂げた裏面には氏の盡力と功績多大なものあり殊に居留民會長として公私の別なく盡瘁し住民からは非常に敬慕され永く其在任を希望されてゐたが今回本溪湖電報電話局長に榮轉と決定し近く赴任の由にて居住民は何れも其の離別を惜しんでゐる

熊岳城新舊所長

【熊岳城】今回瓦房店地方事務所長に榮轉した越智通明氏は後任として滿鐵本社社會係主任より榮轉し來つた中根信愛氏と共に十九日轉任及び着任挨拶の爲め地方係長島瀨久一郎氏を伴ひ小島主任の案內にて熊岳城に於ける各代表機關を歷訪したが同日午後六時より溫泉ホテル廣間に地方官民の主なる人々日滿人二十餘名を招待し新舊所長の披露宴を張つたが非常な盛會であつた

日滿語講習所生 雄辯大會を開催
驚くべき出來榮え

【奉天特電十九日發】滿洲國協和會では日滿語講習所學生の滿人は日本語、內鮮人は滿洲語をもつて十八、九の兩日に亘り同所講堂に於いて雄辯大會を開催したが一ケ年に滿たぬ語學を持つていづれも十二分の意氣と、熱、氣魄をこめて雄辯に演說をしたが識に堂々たるもので推賞された、大會の順序は永尾教師の開會の辭に伊東會長代理の挨拶、小澤本部委員の挨拶あり審査の結果所生を詮衡し州村三田村、片山諸氏の忌憚なき講評あり一等から五等、及び等外の所生に賞品を授與した

▲滿語演說 一等矢內典夫「建國意義」二等土居義一「建國意義」三等文秦和「滿洲靑年的使命」四等矢口御二郎「民族協和」五等山崎正三「東亞大國」

▲日語演說 一等王幹臣「滿洲國靑年の使命と責任」二等李吉才「日滿協和」三等邵德運「日滿協和」四等曹劍申「滿洲國靑年の使命と責任」五等崔世民「滿洲國靑年の使命と責任」

鳳城煙草耕作組合 愈々創立總會開催
耕作資金も借入終了

【安東】滿洲で唯一の葉煙草產地である鳳凰城には從來滿鐵が助成してゐた南滿黃煙組合、英米トラスト系の煙草耕作同業組合及び自由耕作の三者に分れてゐたが今春二月以來安東地方事務所勸業係と鳳城縣の宮崎參事官等の間にこれを統轄して一大組合を組織する議が起り關係方面と折衝を重ねてゐたが四月末に同地の全煙草耕作者を包含する鳳城煙草耕作組合の成立を見たので本月二十四日創立總會を開催することになつた、組合長には董鳳城縣長、副組合長には宮崎同縣參事官、理事には佐藤榮三郎氏がそれ〴〵就任し耕作資金三十萬元もすでに中央銀行より借入れを了してゐる

なほ本年の作付反別は約千八百天地で二、三日中に全部の植付を終り三十萬貫以上の收穫を豫想されてゐる、鳳凰城以外には得利寺、鞍山兩地でも耕作してゐるがその收穫は未だ極めて僅少である

安東に大雨 鴨江汜濫の憂ひ

【安東】今月に入つて雨に降り罩められ通しの安東、新義州は十八日午前物凄い雷鳴を伴ふ豪雨が襲來し正午までの雨量二十六ミリ六（坪當り四斗八升强）を示した、十九日から天候は好轉し始めたが既報の如く今年は鴨綠江汜濫の憂ひがあるので安東水防協議會は近日中に全役員が會合し水禍に對する防護策を決定する筈である

八年間の忍苦 男故に空し
一寡婦の墮胎事件

【奉天】毒牙にかゝつて宿した子供を生活苦から恐るべき墮胎をなした四十女……福岡縣生れ市內靑葉町居住柳瀨さよ(四○)假名は八年前夫を失ひ四人の子供を抱へながら他に嫁しもせず自分の手で立派に育てゝやりたいと市內某病院の附添婦として日夜懸命に働き僅かに得た收入で糊口をつないでゐるが附添婦といふ職業柄殆ど自宅に歸るやうな事はないので四人とも他に預け市內の小學校に通はせてゐる

處が市內土木請負業者上田喜久治(四五)假名はさよの一身上の事をきいて同情し「それでは自分が育てゝやらう、夫婦にならう」と勝手にきめたがさよも境遇が境遇で喜久治のいふことを信じ總てを許したが彼は一時の享樂のため貞操を弄んだ事が判り氣丈なさよも今更の如く後悔した、そのうち女のあるべきものが閉止したので妊娠と知つたさよは「家庭に對してもすまぬし子供にすまぬ、それに今はわづかに糊口をしのいでゐる境遇である」と思ひつめたさよは遂に恐るべき墮胎を決意し市內某鍼灸師を訪れこれを依賴したが一旦ことわられたのでそのまゝ歸宅したものゝ何とか措置をつけなければならぬと考へたさよは再びその鍼灸師を訪れ淚ながらに依賴したところそこでも全くその境遇に同情し遂に墮胎を行つたのである

この事件が發覺しさよ及び鍼灸師とも奉天署に召喚嚴重取調べを受けるといふ思ひもよらぬ立場になつたが毒牙にかゝつてこの始末となつたさよの身の上に同情せぬものはない

熱河、降雨の被害大
橋梁流失、電信、國道の損壞
農作物は七割減か

【錦州】遼西一帶から熱河省にかけ客月末から降りだした雨はいまなほ歇まず兎もすれば暴風雨となり雹さへ交へて降り出すので土地の古老等は十年來の雨量だと何れも眉をひそめ只管天候の恢復を祈つてゐる、これが爲め阪凌線の朝陽、凌源間は前後三回にわたり橋梁の流失、線路の埋沒等を來し電信、電話線は寸斷され、國道は損傷を受ける等各方面多大の被害を蒙つてゐるが殊に農家方面は耕作物の浸水、流失等で泣くにも泣かれぬ狀態にあり、棉作のごときは降雹のため萎縮し九割の減收と云ふ全滅に等しい慘狀である、いまの觀測では熱河全省を通じて農作物は七割二分の減收を豫想されてゐるが而も天候はまだ恢復の模樣がない

凌源線再不通

【錦州】十五日漸く復舊した坂凌線は十六日夜來の豪雨で大凌河の出水甚だしくその濁流のため假橋は再び流失しほか沿線十數ケ所に線路の故障を來し朝陽、凌源間は又しても十七日から不通になつた損害莫大の見込み當分復舊の見込みなしなほ奉山バスも運轉不能に陷り熱河への交通は全く杜絕した

拘禁者の家族に 警官の善行
奉天署でも表彰か

【奉天】保險魔として奉天署の手により檢擧された元日本生命出張所員大町に關聯して箕輪留藏も去る五月十三日奉天署の取調を受け領事館警察に送られ鐵窓につながれてゐるが子供三人を抱へたその妻のしづゑ(三七)は家に殘され、しかも病身で夫に代つて働くことも出來ず、これを知らずに喜々として遊んでゐる子供を前に置いては收入も貯へもなく殆ど喰ふか喰はずの悲境にあえぎ小さい胸をいためてゐたが附近の人々の同情により漸く糊口をしのいで來た

これが管下にゐることを知つた奉天署の巡查川端秀藏(二五)氏は同情し僅かではあるが自分の貯へた金廿圓を惠與した處しづゑも蘇生する思ひで喜び淚を以て感謝してゐたが、このお金で內地へでも引揚げやうと決心し「私達は一先づ內地へ引揚げやうと思ひます、川端氏の同情で旅費もあるやうですからあなたが出られたら充分お禮申上げて下さい」との意味の手紙を認め鐵窓にある夫に屆けた處端なくも川端氏の善行が判り各方面から賞讃されてゐるが奉天署でも何等かの方法でこれを表彰することになるやうである

似兒子

滿洲國實業部及興安總署の佈告——林場權者は八月二十日までに伐採許可證及林場圖を實業部大臣又は興安總署長官に提出してその林場權の審定を求められたし怠ると林場權は消滅してしまひますぞ——なほ詳細は省公署又は興安各分省について御訊れ下さい

◇

營口に入港した汽船和順號から不審の一支那人乘客を引致して嚴重に調べると支那藍衣社の社員で來滿暗殺の重大密謀者であることが判明した

◇

吹きすさぶ不景氣風に喘ぐ北鐵はます〳〵緊縮を餘儀なくされまた〳〵馘首の噂

◇

本溪湖一帶に近頃モヒ患者の死亡連日續出

◇

四平街の友を賴つて來て何か仕事にありつくべく旅館に逗留中每日阿片ばかり吸み旅費もすつかり使ひ果たしたので伴れて來た妻を妾とたゝき賣り、それでもまだ阿片にひたつてゐる男がある、周揭淸といふ烟鬼

◇

新京西門外大佛寺老道觀廟附近は國都建設局計畫の水道敷設線にあたり一月前より工事にかゝりその御廟を取り壞し始めたところ神佛のお怒りに觸れ苦力二人まで變死した爲め苦力たちすつかりおそれ怕れ工事を肯んじないので國都建設局もこれには閉口頓首、とう〳〵其の豫定計畫を變更するの已むなきに至つた

◇

支那四川省の北部は赤匪の爲めにひどいめに遭つてゐるが南部の石溪縣一帶では近來虎豹の暴威甚だしく被害ひんぴん

◇

上海で大歡迎を浴びてゐる蒙藏の活佛班禪大師は數日前明星公司のスタヂオを參觀して李萍倩監督の胡蝶主演の「三姉妹」を見てから胡蝶孃の伺候を受けたところとても悅んで「ニイ〳〵」を連發したこれは讚歎おく能はざる意味の西藏語で活佛の口からはめッたに聽かれない言葉ださうな

柏家溝附近の 砂金を採取
福井氏正式願書提出

【鐵嶺】採金調查隊引揚後の鐵嶺下柏家溝附近に埋藏されてゐる砂金採取を目的に各方面から採掘計畫をしてゐるらしいが今回個人經營の福竹採金公司が滿洲國との諒解成立して採掘權を得るもの如く既に願書を提出し認可を俟つのみとなつてゐて採掘工事の準備を進め經營者福竹稀章氏は數日前來鐵松花ホテルに事務所を置き認可を待つてゐるが福竹氏は久しく三井鑛山會社に勤務して斯界の精通者であり三善代議士等の協同出資の下に本事業を遂行せんとするもの、如くである、因に同公司の採掘は鐵嶺、開原兩縣下に亘つて廣汎な地區であり公司の本部は鐵嶺に置く筈であると

ピッチコークス滿洲に供給

【撫順】撫順製油工場の副產物として每年約五千トンから生產されてゐるピッチコークスは無灰、無煙、無臭炭として家庭用に重寶がられその生產品は從來ほとんど內地に仕向けられてゐたが、かゝる優良炭を內地にのみ輸送せず地場在住人にもその恩惠に浴せしむべきであるとの見地から今度撫順炭礦では本年度よりこれを滿洲內にも供給することに決し、撫順伊東號の手によつてこれを一般に配給すると

公傷警官救濟に 地方警察後援會
奉天省各縣に組織

【奉天】奉天省警務廳管下にある各縣警察隊は事變以來國軍と協力省內の治安維持に努め各地において多大の功績を殘してゐるが、警察隊は討伐に出動又はその他職務による公傷の場合未だこれを救濟する機關なく各縣によつてそれぞれ適當なる方法を講じてゐたがなほ警務廳では今回これ等公傷による警察官の救濟方法として各縣によつて地方警察後援會を組織せしめ公傷警察官の救濟を行ふことになつた

夏の傳染病

【鞍山】追々夏期傳染病流行時に入り十九日の如き北二條高岡組平康久(三)同一丁目露口吉秋(三)北三條製鋼所員家族野澤昭俊(五)は赤痢、北五條篠原洋子(七)疫痢等一時に四名の患者を出してゐるが所轄鞍山署では地方事務所と協力嚴重夏季衞生の取締を行ふ由で近日衞生委員會も開會の筈であるが此際一般家庭に於ても充分注意されたいと

奉天に赤痢

【奉天】最近氣候の不順の關係から奉天に於ける赤痢が急に猖獗し每日の如く患者を出してゐるが奉天署衞生係では滿鐵衞生隊と協力しこれが防疫に大童となつてゐるが十八日

▲木曾町十七八島後司(四ツ)▲橋立町十五中山靜子(五ツ)▲松島町十四鶴原和夫(一ツ)▲淀町十五松尾理吾(三四)▲淀町十八西村弘巳(六ツ)▲紅梅町十一佐々木彥吉(二二)▲稻葉町六久保謙一(二七)

の七名が發病、いづれも赤痢と判明各關係方面の大消毒をなすやら傳染病棟に收容するやら大騷ぎをなしたが本年に入り赤痢患者は七十名に達しその中七名は死亡して居り何ほ續發の傾向があり一般にも特に注意して貰ひたいと

留守中の盜難

【鞍山】市內北二條町八六ノ四昭和製鋼所社宅中野幸三郎(三○)氏方に十八日午後八時頃家人の留守中窓扉施錠を破壞して何者か侵入、現金五圓外通帳三通預金約百五十圓外洋服三着、男女和服十數點、實印等を竊取、家人が歸宅した時は室內は取亂され靴跡が殘つてゐる上手掛となる證據もなく何者の仕業か事件發生と同時に鞍山署では犯人嚴探中である

會と催し

◇鞍山對大連庭球試合 二十四日午前十時より富士公園コートにおいて開催

◇鞍山都山流尺八演奏會 二十三日午後七時より富士小學校講堂において地方事務所社會係後援の下に開催入場無料

◇湯崗子溫泉郵便所 鞍山郵便局では溫泉浴客の便宜をはかるため二十一日より九月二十日まで夏期三ケ月間例年通り臨時出張所を開設貯金爲替外一般郵便事務を取扱ふ由

◇蓋平營業股份有限公司開業式及び祝賀宴 二十六日蓋平商務會議場で

◇圖們市民大運動會 十六日より三日間圖們學校橫廣場で

◇滿洲國協和會奉天地方事務局第六回常務委員會 二十日午後四時半から同局會議室で、常務委員に中山一晴（瀋陽縣參事官）菊福山哲四郎（奉天市政公署）池秋四郎（奉天市商會顧問）の三氏推薦さる

沿線往來

▲境長三郎氏（京城高等法院檢事長）十九日午後二時來奉
▲張海鵬氏 十九日午後一時二十八分着奉
▲ウイリアム・タイス氏（ベルギー特派大使）十九日午後十時四十五分奉天發大連へ
▲谷田繁太郎氏（同和自動車理事長）十九日午後一時二十分着奉
▲ウイラルド・プライス氏夫妻 十九日午後三時新京へ
▲芳澤總領事夫人 同上
▲山本盛正氏（滿洲工廠社長）十九日午後二時五十四分着奉
▲小林長輔氏（同社技師長）同上
▲西永彰治大尉（新任圖們憲兵分隊長）十四日新京より着任
▲撫順炭販賣株式會社名古屋支店前田善太郎氏外三十名 十八日午後一時二十分發列車にて營口へ、各方面視察午後八時發列車にて湯崗子へ、同地に一泊鞍山遼陽、奉天、撫順、新京を視察して朝鮮經由歸國の筈
▲加納茂氏（新任チチハル局電報係長）近日鞍山發赴任の筈
▲セミヨノフ將軍 十九日午前九時二十分着列車で湯崗子に下車數日靜養の豫定
▲遼西十縣合同關東州行政視察團團長新民縣李總務科長以下二十八名、約十日間の豫定で十七日錦州出發

土產物展覽會

日時 六月二十三、二十四日
場所 奉天日滿貿易協會
主催 ジャパン・ツーリスト・ビューロー
後援 奉天日日新聞社、滿洲日報社、滿鐵鐵道部、滿鐵地方部、鐵路總局、奉天商工會議所

實業部 興安總署 公告

林場權整理法ニ關スル件

林場權整理法第二條第一項ノ期間ヲ康德元年六月二十日ヨリ康德元年八月二十日迄ト指定ス

右公告ス

康德元年六月十三日
實業部大臣
興安總署長官

實業部 佈告第三號
興安總署 佈告第六號

一、林場權者ハ康德元年六月廿日ヨリ康德元年八月廿日迄ニ伐採許可證ニ林場圖ヲ添附シ實業部大臣又ハ興安總署長官ニ林場權ノ審定ヲ申請スヘシ
一、申請書ト共ニ提出スヘキ伐採許可證及林場圖ハ本證及原圖ニ限ル
一、林場權ノ審定申請書ハ前掲期間內ニ其ノ林場所在地ヲ管轄スル各省長又ハ興安各分省長ニ提出スヘシ
一、前掲期間內ニ林場權ノ審定申請ヲ爲サルトキハ林場權整理法第三條ニ依リ林場權ハ消滅ス
一、詳細ハ所管省公署又ハ興安分省公署ニ付問合スヘシ

康德元年六月十三日
實業部大臣 張燕卿
興安總署長官 齊默特色木丕勒

家庭

家庭人へ殘された教訓
まだく覺悟が足らぬ
"關東州防空演習"を終へて……
統監・鏡山少將は語る

今朝の拂曉戰を最後として廣汎な想定のもとに實施された關東州防空演習は私達家庭人に多大な教訓を殘して終了を告げましたが、統監鏡山少將は三日間の演習を顧みて左の如き感想を語られました（カットは鏡山少將）

一杯の水を 用意した主婦が果してゐるか

私は 家庭人特に一家の主婦に對してお話し致したい。今回の演習で最も痛感致しました事は先づ第一に防火演習とは男に委せて置けばよい、主人のやることだけで充分であるといふ考へを持つて居て積極的にこの演習に參加しようといふ態度の少なかつた事は甚だ遺憾であつたといはればなりません、勿論積極的に種々な作業に從事された各種婦人團體等の勞は多とせねばなりませんが私の言はうとする點は家庭の中に居つて一家の留守を守つてゐる主婦に對してゞあります。

具體 的に言ふならば若し水源地が敵彈によつて破壞されたといふやうな場合、さしあたり各家庭の臺所には一滴の水も無くなつてしまふことは當然でせう、此の場合炊事に要する水を何處から仰ぎますか、私は此の事あるを豫め承知して一杯のバケツの水を用意した主婦が果して大連市に何人あつたかをお尋ね致し度い。更に發電所が破壞され如何なる處にも送電不可能になつた時を豫知して一本のローソクを用意した家庭が果して何軒あつたでありませうか

重病 人があつたりしておお産があつたりまへばよいといふ程度の考へを持つてゐたものは多いでせうが、さて燈火管制とはたゞ電燈を消してしどうしても燈火を必要とせねばならぬやうな場合はどうしたならよいだらうかといふやうな特殊の場合に處する態度や覺悟がまだく不充分であつた事を充分認めざるを得なかつたと思ひます。その他自分が家を外にして出て居た時、その留守に家の中まで毒ガスが入つて來て居たといふ如き場合の處置、家人の生活が空襲を受けた場合等に如何にして平常通り維持して行つたらよいかといふ事などに對して日本の婦人としてはもつとく主人に頼り切らず獨自に研究し認識する態度があつて欲しい。關東大震災の際には米が無くなつて玄米をビール瓶を打ち碎いて、その底に入れ棒で搗いて白米にしたと云ふ話しは、まだ我々の耳には新しいのだが

空襲 を受けた場合などには、あの大震災の時以上の混亂を豫期せねばならぬし從つて食料品の不足なども當然起る事ですが此の演習に於いて演習期間内の臺所計畫をはつきりと樹立して居た主婦は果して何人あつたであらうかと言ふ如き諸點から、一家の主婦はもつとく防空に對する準備と覺悟を新たにし、決して演習を終つた本日を以つて忘れてしまふことなく更に今日より日常に於いてかゝる日に備へるの準備をなすことを忘らざることを切に希望したい。最後に一家の主婦は日常より子供、使用人等に對する防空の知識を教へることゝ一身に引き受け、かゝる場合自分の事を自分でやり得る態度を今より養ふことに努力して欲しいと思ひます。

奥さまの手帳

鞄の手入れ　カバン類にカビが生えたらクレゾール〇・五グラムを水百にとかしてふくのが一番よろしい。また艷をだすには蠟らふとテレビン油の混合物でしめし乾いてから磨く。但し餘り繰返してはよくない。

"あなた"の爪の美容法 かうしてします

マニキユアは最初あたゝかい石鹸液を作りその中に指先を三分乃至五分間浸して皮膚をやはらかにします、次にアマ皮（爪の周圍のザラザラした皮）をうすい肉鋏でつみとり、爪の中の垢もすつかり取去ります、今度は爪鋏で、爪のズングリした人は幾分長目に、長い爪の方は

短か 目に山形に爪を切ります、ひと頃のやうに三角に尖らしたのは旣に流行遅れで又危險ですから幾分圓味を持たせます、切つた後はザラくしないやう紙やすりで切口を輕く擦つて置きます今度はみがき粉を爪ブラシ（鹿のなめし皮を張つたもの）につけて爪を左右に手早く磨きますとつやが出て來ます、中年の方には寧ろこの程度のマニキユアの方が自然でお上品ですが、毎日爪磨きをするひまのない方はエナメルを

塗つ てお置きになるとすつと手數が省けます、エナメルもロシア女の塗つてゐるやうな眞赤なのは寧ろグロで、若い方でもピンク程度、中年の方ならなるべく無色のものをおすゝめいたしますエナメルを塗る時は爪際の肉へつけない樣にムラにならぬやう縱に引きますが、色ものを使ふ場合は根元の三日月形の白い部分を殘して塗ると綺麗です、一層丁寧にするならば爪の先も殘して裏からネイル・ホワイトを塗ると倚引立ちます

手の お化粧は若い方なら淸潔にしてさへゐれば結構ですが中年以後の方は水クリームに粉白粉少量を混ぜ、指のまたから全體に萬遍なく塗つて乾いたタオルで水分を拭きとり、目立たない色のパウダーを叩いてあとはよく擦り込んでお置きになると大變スッキリいたします、最後にお使ひのこしの口紅をごくうすく指の中心に縱に引いて全體にぼかしますと若々しいホッソリした指に見えます（内田秀子氏）

家庭顧問
瞼が引吊る

【問】二十三歳の女でございますが一年ほど前から左の眼が時々二重瞼になつたりヒキッたりします。朝の十時頃までは一重瞼ですが十一時頃になると二重になり、夕方になると引吊るやうになるのです。體重は十四貫餘りのデブですが、何か手輕な療法がありましたら御教へ下さいませ（大連野津ビル女）

【答】**一種の生理的現象** 女は二十二、三歳になつたら大抵目が凹むもので、一重瞼が二重になつたりするのも年齡による生理的現象で心配ありません、つまり疲勞が原因するのですからよく眠り、よく運動し、よく食べて全身の健康を計り、呑氣にすることが肝腎です（三根辰一）

こん夏海濱流行譜
オゾンに美しの肌も露は！ 珍無類の新型續出

今夏海濱を風靡するだらうファッションを聽いてみませう。

一 海水着 男子の方が大した變化を見ないのに反して婦人水着はオゾンと紫外線を出來るだけ吸收すると同時に、地肌の美を極度にまで發揮しようといふ目的から脚部は短く背中の「くり」が大きくなつて來た。34年好みは背中を充分深くしショルダーストラップ（肩ひも）をV字或はY字型にリングでとめた型。乳バンド式のものは最早喜ばれず、色はすべて明色となつてゐる。バニテイフエアーの尖端を行くビーチドレス或はパジヤマ類は年を逐うて新型續出どう變化して行くかわからない昨年あたりからワンピース長ズボン式のものが流行し始めたが、ツーピースのリアン製セーター型で無地の腕に簡單な四色ほどの飾糸を配した淸楚なものが喜ばれる樣だ。ケープは女學生を除いてはだんだん下火に向つてゐる。

海水帽 では矢張り三角帽がポピュラーで、ゴム製、纈防水一圓二十錢位。履物は海濱下駄といふ木製ハイヒールが三圓、ゴム靴カカト付一圓二十錢から三圓、スリッパーサンダル型も一圓位から各種である。

海のお もちや浮輪は昨年のファッショ全盛時代にはグロ味タップリのものが飛出したが今年は矢張り無邪氣なのが歡迎されるのかはり物とお定りの動物がミッキーマウス、のらくろ人形などが第一位、四十錢から二圓半位で買へるが、このほか流行のゴム製ボートがある。一人乘九圓、二人乘で十八圓、坊ちやん孃ちやんにもてはやされる。

ビーチパラソルの新型にホロ式が出たが、これは日よけに效果が多いかはりに持運びに不便とされてゐる。十三圓から二十五圓、最後に手さげバックには角トランク型、ボストンバック型の合の子が發賣され出した。値段は三圓内外で、さびないファストラー留具が簡便で喜ばれる（寫眞はカロル・ロムバード孃のセンタン振り）

學藝
變つた銅貨の話【二】
野本平泉

然らば何故不流通地方へ流れて行くかと申しますと、それは日に月に何千何萬と云ふ所謂苦力の群が支那内地より滿洲國へ移住や出稼に來る時、持つて來て奥地へ旅行の途中に使用するからです、勿論これは普通支那銅貨で改暦錢を指すのではありません。

さて、其の改暦錢の全總數は幾ら位現存して居るか、これは大なる問題であります、何分にも支那では正貨ですら確たる記録が無い位ですから民間で無軌道に造つた錢などに記録のあらう筈なく旣に何等の文獻記録が無いとすれば現在數など全く見當がつきません、兎に角驚く可き多數であることは事實です。

裏には浙江省の龍　同じ銅貨で表が山東省

地方に依り多少の相違はありませうが先づ現行支那銅貨全數の約二千乃至二千五百分の一位に相當する數があるであらうことは當すと雖も遠からずと思ひます、それは私が去る昭和五年春より本九年春迄滿四ケ年間に支那銅貨を直接一枚づゝ手に觸れた數は約二百萬枚以上に上つて居りますが其の千分の一に當る二千枚餘りの改暦錢を撰り出しました。

調べた所は其の約九割は大連市内外で約一割の二十萬枚が州外附近及び奉天、安東方面で州外は全部錢莊で調べました、大連に於ても殆ど錢莊で一般商人や路傍で調べた數は恐らく二、三萬を出まいと思ひます。尚ほ錢莊などが多少高價に賣れる、といふ理由の下に特に撰り出して居る向もありますが私は一切買ひません。自分で撰れば右改暦錢の外に重打、片打、片面打とかその他稀少のものや、研究材料になるもの等が自然に入手する特點があり且つそれより大切なことは混入率の概算が判るからです。

今春漸く二千枚に達しましたので一先づ蒐集を打切り大體を左記の要領に區分し順次に其の變化の細い點に及ぶ可く調査研究を進めて居ります。

大別は、各省別（廣東省とか浙江省といふ如く）兩面の美醜、舊型露出、舊貨年號の鮮明のもの、新舊交錯のもの、改暦文字及龍の優劣、他省龍（表山東省で龍は福建省と云ふが如き文字の誤植及出鱈目文字）横打、異樣書體、同龍拼字亂書、三度打、片面打、兩面同打（兩面共光緒元寶とある如き）舊片面兩面打、舊日本錢、等々。

私の所有數二、〇〇六枚の各省別は左表の如くであります。

一、光緒元寶　一、九七二枚（多數順）浙江省　一、二八八　湖北省　一九八、山東省　一七一、江南省　七五、廣東省　六五、北洋　六四、福建省　四二　戸部　二二、江蘇省　一三、浙江省三度打　七「片面二度打」七、日本錢浙江省　五、江西省　三、奉天省（黄銅型甲辰）二、同乙巳五分錢龍陰陽二重打　二、浙江省（黄銅當十）二、吉林省　二、浙江省片面　二、日本錢北洋　一、淸江　一、日本錢山東　一、

一、大淸銅幣　三四枚　戸部丙午〇に東　一一、同丙午寧　一〇、同丙午　五、丁未〇に奉　二、丁未（四點）二、戸部丙午〇に晥　一、戸部浙　一、丙午〇に奉一、丙午〇に直一　合計　二、〇〇六枚

之れを要するに其の大部分は光緒元寶にして光緒元寶中の約七〇%は浙江省之れを占め大淸銅幣は二千餘枚中僅かに三十四枚しか有りませんでした、併し事實は其の率に於いて、もつと澤山存在してゐると思ひます（カットは異樣龍）

新刊紹介

●我觀（六月號）發行所東京京橋區銀座西五ノ三其社、價三十錢

●海防（六月號）本月は航空を中心とした特輯號（發行所東京麴町區市政會館内海防義會、價廿錢）

●東邦時論（六月號）發行所東京芝區琴平町四〇其社、價三十錢）

●戰友（六月號）發行所東京麴町區九段一ノ五軍人會館事業部、價十錢

●大地展望（五月二十日號）發行所東京四谷區簞笥町一二東亞之日本社、價五十錢

●ピタカ（六月號）發行所東京本鄕區本鄕三丁目大藏出版會社、價十錢

●明德論壇（六月號）發行所東京芝區愛宕町一ノ六明德會出版部、價十錢

●國際知識（六月號）發行所東京丸の内二ノ十日本國際協會、價四十錢

●明倫（六月號）發行所東京麴町區丸の内一ノ六其會出版部、價十錢

●中央佛教（六月號）發行所東京牛込區矢來町一五四其社、價三十五錢

●心靈と人生（六月號）發行所橫濱市鶴見町二三六六心靈科學研究會、價二十錢

●少年倶樂部（七月號）いつに變らぬ豐富な内容で元氣一杯の少年たちの心を捉へてゐる、なほ今月號には漫畫遊戲ブック「ハヤブサ小探偵」の附錄サービスがある（發行所東京本鄕駒込大日本雄辯會講談社、價五十錢）

●滿洲育兒雜誌（創刊號）畏くも皇太子殿下が初のお節句を迎へさせられるに當り、また全國乳幼兒愛護週間實施に際し、滿洲育兒誌上聯盟なるものを組織し誌上を通じて乳幼兒保育に盡力する月刊機關誌として生れたが本誌である、なほ本誌には滿洲刀圭界の各權威を網羅し實際に卽した懇切な指導を試ることになつてゐる、少くとも乳幼兒に關心をもつ各家庭に必備のものとして敢てこゝに推賞するものである（發行所大連初音町一滿洲育兒誌上聯盟事務局、價二十錢）

●俳句誌「土上」（六月號）發行所、東京牛込區若松町八二、國民吟社土上發行所、價三十一錢

●短歌雜誌「青虹」（六月號）發行所東京世田谷區下馬町三丁目六七六其社、價三十五錢

●俳句雜誌「北斗」（六月號）發行所東京品川區東大崎三丁目二三三其社、價十七錢

名画物語（24）
三つの秀美 ルーベンス作（1577―1640）

フランドルはスペインの領土として北歐に於けるジエスイット教派の要塞であつた、その藝術もスペインと同じく陰鬱な狂熱さ、法悦的熱情と、ヒステリカルななよくしさと、おしやれ風の、又常に宮廷的な流行とを

◇偶像破壞は新教徒勢力のクライマックス時代であり、宗教戰爭の激しく行はれてゐた想像するかも知れないが實はその正反對の現象であつた。

◇豪奢壯麗な寺院を持つ如く藝術も亦スペインのそれの如く禁慾主義や現世離脱の神秘主義や肉慾抑制を示さず、寧ろ官能的高調や、横溢せる活力や、現世的快樂主義を誇示してゐた、ルーベンスの潤達な賴もしい風格は作品上にも廣々とした野を走る大河の趣きがある、春日の如く朗かに、生命の爛熟と、滿花の三人美女の容姿は多面的で百千のカソリック的情熱を盛り、豐滿に、強烈に人體に烈しき力を加味してゐる。

◇彼は又社交、辯舌の才により再三大使として外交舞臺にデビウし、不偏不黨に役目を果し、同時に畫筆を以て國際の交情を濃め、丁度日の出と共に生れ落日を見ぬ間に明るく、豪華に逝つて終つたと云へる、この宮廷的上流階級の畫家も騎士風にとりすました王朝藝術に飽き足らず彼の繪の筋肉描寫に見る如くむしろ平民的、プロレタリア的綜合の中から姿態藝術を派生してゐる。（河野想）

縮減された支那共產軍勢力

【上】

蔣氏の第五次圍剿 劃期的成功か

討伐の現狀と將來

上海特派員 日森虎雄

一、穩紮穩打主義

國民黨の共產軍討伐は回を重ねる毎にその規模も擴大され、上海停戰協定成立後非常な意氣込みで開始された第四次「圍剿」さは八十一ケ師、二十九ケ旅、三十九ケ旅、總計六十三萬以上の大軍が動員されたがこの第四次圍剿も一部の地方を除いて遂に失敗に歸するや、蔣介石は從來の苦い經驗に鑑み極めて愼重なる態度を以て更に大規模なる第五次圍剿の準備に取り掛つた、この第五次圍剿こそは、國民政府の運命をも決する最後の決戰であつて蔣介石さしても今度こそは言葉の上だけではなく實際に、切實に背水の陣を布かねばならなくなつたのである、そのため熱河問題落着後直に南昌に再出動はしたが急速に軍事行動は起さず、軍の配置、武器の充實、軍用品の調達

兵士の訓練等に數ケ月を費し

一方赤區の經濟封鎖を益々嚴にして、周到なる準備の下に愼重に作戰計畫を樹てたのである、故に所謂第五次圍剿は一九三三年の夏頃から開始されたのであるが同年の後半には激戰或は大部隊の衝突は全然見られなかつた、かくて國民政府の威令の及ぶところ殆ど凡ての軍隊が動員され蔣介石直系のみでも約七十萬に近い大軍が動員されたが、一方共產軍も熱河問題解決後中央軍が大擧攻擊し來ることを豫想し、福建方面へ進出して同方面の備へを固めるさ同時に全ソウエート區から壯丁、物資を徵發して長期抵抗の準備を整へてゐた偶々同年末に至り李濟琛、第三黨十九路軍等の福建獨立運動が勃發したがため剿共計畫は多少頓挫したが、重大なる時期に直面してゐることを自覺せる蔣介石は遂に福建の武力討伐を決意し、一九三四年初頭容易にこれを解決するや、三月蔣鼎文を廣東に送つて陳濟棠さ協力剿匪に就て協議せしめた、その結果廣東側も從來より積極的に戰線の討伐も漸次活況を帶びてきたのである、更に四月一日には南昌で剿匪軍事會議が開かれ、討伐は動くことゝなつたがこれ以來各戰線に愈々第二期に入つて本格的さなつた、かくて四月以來各戰線に於て共產軍の

重要なる根據地が續々中央軍の

手に恢復され、討伐は相當の效果を收めつゝあるが、今回の討伐に於て中央軍が採つた策略は極めて用意周到なもので、共產軍に隙を與へ、或は共產軍に乘ぜられるやうなことを極力回避した、即ち討伐と道路構築を並行せしめて前線と後方の聯絡を確保し、又穩紮穩打主義（ぢり／＼攻擊する方針）を採つて一歩々々前進し、以て匪區を無形中に縮小し、更に共產軍に飛行機、重砲等がないのを利用して至る處に碉樓（高いとりで）堡壘を構築し防禦を鞏固にして共產軍の進擊を不可能ならしめたのである、中央側ではこれを穩紮穩打戰略、碉堡防匪交通淸匪政策さ呼んでゐるが、これは共產軍の策略たる「化整爲零」に對するものである、化整爲零は大部隊を瞬時にして分散し中央の虛を衝く策略の謂であるが今日まで討伐軍はこの共產軍の神出鬼沒の作戰によつて幾多の苦い經驗を嘗めてゐるので今回は石橋を叩いて渡るやうにして前進したのであるが、この穩紮穩打が今回の討伐に於いて大なる效果を齎したことは事實である天津大公報記者は蔣介石、北路軍總指揮顧祝同及その他の要人さ會見後、剿匪が勞多くして效少きは一、官兵が剿匪に正確なる認識をもたず、從つて犧牲さなるのを願はないこと、例へば熱河戰爭が起れば前線將士が紛々さして北上抗日を請願した 二、官兵が動もすれば匪軍の遊擊戰爭に乘ぜられること 三、匪軍の組織嚴密なるに引換へ官軍の相互聯絡不充分なること右の三つの原因に基くと述べてゐる、これは別に耳新しいことではないが、これらの

中央軍の弱點が今回の討伐に

於て莫大なる軍費、雲霞の如き大軍及び前述の策略によつて或る程度まで掩護されたのであらう、その結果さしも强大を誇つた江西福建の赤色區域も漸次縮小され、今後に於ける剿匪の進行は各方面注視の的さなつてゐるが、今日までに於ける第五次討伐の經過を各方面に就いて略述すれば次の如くである。

二、北路軍の重壓

江西、福建の共產軍は一般の推測によれば約二十萬に達し、江西東北部の主力は方志敏部にして江西、浙江、福建三省境に據る、江西西部の主力は孔荷寵部にして江西、湖南、湖北省境（大部分は江西省境にあり）により、福建方面の主力は羅炳輝、彭德懷部にして江西、福建、廣東省境より福建省內にあり、江西北部の主力は朱德、毛澤東部にして江西、福建、廣東三省境の瑞金、即ち中央ソウエート政府の所在地を中心とし、又江西西南部には李明瑞の率ゐる共產軍が蟠居してゐる、今回の討伐に於て蔣介石はこれらの共產軍を東、西、南、北の四路より包圍攻擊する計畫を樹て北路軍總司令に顧祝同、東路軍總司令に蔣鼎文、南路軍總司令に陳濟棠、西路軍總司令に何健を夫々任命し、自らは南昌行營に於て全軍に號令したが、特に北方の重要性に鑑み動員し得る限りの

直系軍の精鋭を悉く北部戰線に

集中した、從つて陳誠を前敵總指揮とする北方よりの重壓は最も强烈にして四月五日先づ紅軍の古い根據地たりし樂安南方の招攜が克服された、次いで討伐軍は南豐縣內の肅淸に移り甘坊、三溪圩、遂陂、白舍等を占領した上廣昌縣に入り、甘竹、大羅山等を占領後連日連夜共產軍さ激戰を交へた、陳誠も自ら前線に出動して督戰したが共產軍側でも彭德懷が自ら第一第三軍團を率ゐてこれを邀擊し廣昌附近に於て未曾有の激戰が展開された、中央軍はその優勢なる兵力を以て長生橋、赤壩山、苦竹坑及び香爐峰一帶の險要さ相前後して占領した後、四月二十九日早朝遂に廣昌縣城を奪取した、この廣昌占領は北路軍の剿匪開始以來の大勝利であるが、赤軍の俘虜の談によれば廣昌の役に於ける紅軍第三軍の死亡者は三千名以上に達しそのうち第四師の損害最も多く第三師、第六師がこれに次ぐさ傳へられる、加ふるに側面より來つて第六路軍も古龍崗を占領したので共產軍は廣昌以南に陣を布くの止むなきに至つたが、廣昌を占領した中央軍は第十八軍の手によつて直に南豐、廣昌間二十華里の自動車道路を完成するさ同時に廣昌の防備を益々鞏固ならしめた、また興安のソウエート政府は南方の關門筠門嶺が四月二十一日廣東軍のために占領されたので非常な脅威を感じ糧食、財物を瑞金、石城に集中し、全縣の男女十歳以下、五十歳以上のものを除きその餘は悉く瑞金に集中すべく命令したが、

中央軍はその强大なる兵力

を以て寧都、石城、興國方面へ迫るべく全般の準備を整へつゝあり、これに對して朱德、毛澤東の率ゆる共產軍主力が如何に抵抗するかは各方面の注目を集めてゐるところである、中央側の消息によれば紅軍は傷病兵收容の困難さ食糧品缺乏に惱みつゝあり、又戰區には至る處に避難民が充滿してゐるので江西省政府は樂平に避難民收容所を設立したさ傳へられるが、蔣介石は各縣をして緻密なる淸鄉善後策を施行せしめ、人民自衛、交通發展、農村救濟その他一切の善後策を視察、督促、指導せしめるため行營の高級職員を江西のみならず、湖南、湖北、四川、河南、福建の各地へ派遣した、また剿匪一進展と見た蔣介石は五月二十三日大要次の如き長文の「匪軍官兵に告ぐるの書」を發表しその投降を勸說した

匪軍の官兵諸君……諸君は最近中央軍に圍剿された結果諸君の主力は日に崩潰し、諸君の勢力範圍は日に縮小し、今廣昌も既に陷落し、建寧、泰寧も相次いで中央軍に克服され諸君の全部的消滅は眼前に迫つてゐる、諸君の一切の最後の擾亂は自己の墳墓を掘るに等しい、所謂查田運動は農民を分化せしめ、紅軍擴大運動は欺瞞、脅迫によつて十歳の子供をも砲火の中へ送り紅軍家族優待も徒らに孤兒さ寡婦の怨恨を深めるのみである……諸君は今最後のドタン場に立つてゐる、諸君は

鐵の桶の如き國軍の包圍を

如何して脫出出來るか、如何して空軍の爆擊に抵抗し、嚴密なる封鎖を打破し、彈藥を補充し得るか、これは諸君の致命傷であるが、本委員長は玉石倶に焚くを欲せず、國家の元氣を保存せんがため諸君に最後の更生の機會を與ふるを以て直ちに覺醒して投降するものには三十元、銃一挺を携へて來るものには二十元、機關銃一門携へて歸來するものには二百元の賞金を給すべし

三、東部方面の戰況

東部戰線も東路軍總司令蔣鼎文さ南路軍の陳濟棠さの打合せ終了後漸次活氣を帶び來り江西、浙江、福建方面さ福建中南部に於て活潑なる行動が開始された、方志敏の指揮する江西、浙江省境方面の共產軍は數萬に達するさいはれ常に東路軍に對抗して玉山西方の臨江湖、秘姆山、鄭家坊一帶を荒してゐたが、同方面は浙江、江西交通の要路なるため浙江省保安處長俞濟時も玉山に出動して督戰し、漸くこれらの地方を回復したさころ紅軍第十軍周建兵部隊約六千餘は樟村方面から臨江湖を擾亂し玉山縣城をも攻擊せんさ企てた、こゝに於て中央軍さの間に鄭家坊

台湖附近で激戰が展開された

が共產軍は遂に橫峰縣境へ向つて潰走した、その後方志敏部は倉塢夫附近に出て再び臨江湖を奪取せんさしたが果さず、浙江省境へ向はんさして紅軍第十軍は警戒中の討伐軍さ龍山で交戰後虎尾一帶へ退かんさしたが討伐軍の伏兵のため大打擊を蒙り、橫峰縣の朝當及び黃藤橋に據つた、間もなく梁立桂師は橫峰屈服の命を受け數ケ團の兵力を以て上饒より進擊し、又大王渡の趙旅は河口から進擊して大王渡の北方に於て紅軍第十軍さ激戰し趙旅は遂に橫峰を距る僅か四華里の文筆峰に到着した、次いで方志敏の古い根據地たりし萬年、貴溪、弋陽、餘江を境さする周方、三了橋、河橋も五月中旬討伐軍の手に恢復され、五月二十二日午前には贛（江西）東北赤區の中心橫峰も遂に陷落して紅軍第十軍は葛源に向つて退却した、かくて方志敏の共產軍も根據地を失ひ各地を轉々さしてゐるが、福建北部に於いても順昌、將樂、沙縣、崇安、邵武光澤一帶の赤軍は四月始め完全に肅淸され、泰寧、明溪も相次いで克服された、四月十八日永安は共產軍の手に奪回されたが、五月十日討伐軍に恢復され盧邦の部隊が先頭に入城した、かくて福建北部の赤軍根據地は殆ど失はれ、紅軍第三、第七、第九各軍團は寧化、安遠及び長汀、連城以西に最後の防禦線を構築した、蔣介石は七月までに長汀を恢復すべく嚴命したが龍巖、長汀間の公路未完成のため總攻擊までには相當の時日を要するものさ見られる、四月二十五日東路軍の前敵總指揮衛立煌は延平に至り杉口、將樂一帶の紅軍攻擊を指揮したが

沙縣の共產軍も中央軍に擊退

されて五月一日歸化の西方へ退却した、また五月上旬討伐軍の福建西部新橋占領後、紅軍第一、三、五、九各軍團約五萬人は猛烈な勢ひで反擊を試みたが討伐軍は飛行機を繰り出して防戰し僅に包圍して上杭、白沙一帶へ進出、五月二十八日第八十三師は上杭縣の舊縣を占領し、共產軍は龍巖、長汀縣境の古田、石門一帶へ遁竄するに至つた、討伐軍側の計畫は東路軍は連城、長汀、南路軍は筠門嶺、會昌、寧都、北路軍は興國、瑞金を目指して進んでゐるが、北方の興國附近さともに東方の連城附近でも連日激戰が展開され、東路軍總司令蔣鼎文は樟州に於て前線を指揮しつゝあつたところ六月二日厦門電によれば六年前共產軍に占領され、今日まで共產軍の福建赤化工作の重要地點さして長汀さともに重視されてゐた連城は五月二十五日來の戰ひの結果、六月一日午後第九師李延年部のために占領されたさ傳へられる、この連城の陷落は事實さすれば共產軍にさつて非常な打擊さ見られてゐるが、これによつて討伐軍は上杭、連城、歸化、建寧の線に進出し福建に於ける共產軍の重要根據地は長汀、建寧を殘すに過ぎなくなつたわけである

四、南路軍の北上

從來廣東のみの安全に滿足して共產軍の積極的討伐を怠つてゐた南路軍も蔣鼎文さ陳濟棠の會見により中央から更に軍費の支給を受けた上協同討伐を進めることに決定し、南路軍總司令陳濟棠は四月一日遂に總攻擊の命令を下した、廣西の李宗仁も陳濟棠の要求により江西剿匪のため一個師增派を快諾し、これを第四縱隊に編成して黃贊𧗱を指揮に任じたが、廣東側の作戰計畫によつて第三軍長兼第二縱隊指揮李揚敬は東路を擔任して筠門嶺に進擊し、第一軍長兼第一縱隊長余漢謀は西路を擔任し古陂に於て督師することに決定した筠門嶺は會昌の門戶をなす重要地點であるが、この要隘克服の命を受けた李揚敬は四月十日平遠行營に於いて黃任寰及び行營高級職員さともに筠門嶺攻擊の會議を開き作戰計畫及び萬端の準備に就いて協議した結果

戰略的必要から東路軍をして

長汀方面を攻擊せしめるため參謀長歐陽新を樟州の蔣鼎文のもさへ派遣し、筠門嶺は福建省境武平方面から左、右、中の三路に分れて攻擊することに決定し、四月十五日までに萬端の戰備を整へた上總攻擊に移り、李揚敬の部隊は福建方面から黃任寰等の應援を得て大激戰の後四月二十一日遂に筠門嶺を占領した、筠門嶺は赤區の南方の關門をなし、同地の陷落は共產軍にさつて非常な打擊であるため共產軍は死力を盡して筠門嶺奪回を企て猛烈な反擊を試みるさ同時に白埠、石門一帶に堅固なる防禦工事を構築し、討伐軍の前進を喰ひ止めんさしてゐる模樣である、一方李揚敬の第二縱隊は東留、桂坑、羅塘八、盤古隘等をも占領し近く會昌の紅軍を攻擊すべく準備中であるさ傳へられるが、余漢謀の第一縱隊も安遠、版石、信豐、永、東龍布を衝いて會昌、雩都間の紅軍の聯絡を遮斷せんさ企て贛州の各地及び三南一帶に集結し又第一軍直屬の教導團謝錫珍部及び贛南警備團左績部の兩部は贛州、南康一帶の治安維持を擔當し、該縣の剿共團を督率して敵匪を討伐中である（つゞく）

共產軍勢力過去現在比較　黑線圈內舊勢力　斜線圈內現勢力

（地圖：湖北省　安徽省　九江　鄱陽湖　南昌　撫州　萬載　永新　瑞金　延平　福建省　廣東省）

祝參拾週年 壹萬號記念

大阪支社

空襲又空襲

防空演習今や酣

敵機、星座を縫ひ月明の旅大襲撃

熱火を吹く高射砲の猛威　空中に燦然と舞下る燒夷彈

敵國は昨二十日晝間の空襲において多く目的を達し得なかつたので猛然と夜襲を敢行するものと豫想されたが、果して八時頃より敵機來襲の報頻に傳へられたので八時三十七分大連市に非常管制が布かれた、かくて全市凄壯の氣漲るなかに九時五分小平島方面より攻擊機一機現はれたが、わが照空燈隊の射照と高射砲の射擊に行動を制せられ東埠頭附近を爆擊しつゝ北方に消えた、また同時刻北方よりも攻擊機一機來襲し沙河口工場附近を爆擊したるのち東方に逸脫したが大した被害なく同十五分非常管制を解除された、かくて執拗なる敵襲は止んだかと思はれたが又も十時前より來襲の報傳はつたため十時十分非常燈火管制令發せられ、敵の重爆二機は旅順初め州內各所を威嚇しつゝ十時五十五分前後して大連上空に飛來、死の如き靜寂を破つて我が高射砲や照空燈の猛擊猛照にもひるまず十五分に亘つて大連市民を脅かしたが被害も少く十一時十五分非常管制を解除された大連市は全き眠りに入つた

空襲下の埠頭　各班大童の活動

埠頭ビルの鎭火にホツとする間もなく矢繼早な敵機の猛襲は午後四時より五時二十分の間に入船埠頭積場、戎克波止場、吾妻驛、九十八號倉庫、十二、十三號倉庫、小崗子驛貯炭場等に或ひは燒夷彈、催涙彈、毒ガス彈等を雨の如く投下頻々たる火災、續出する負傷者等、空襲による悲慘な狀態を目のあたりみせつけられたが、各班の目覺しい活躍ぶりで夫々善處し、配給班の手になる握り飯の配附を受け一まづ警戒を解いて夜の空襲に備へるところあつた

水上分團では二十日午後八時四十五分、非常管制發せられるや、燈火管制の徹底を期する意味で關根分團長以下副分團長等は埠頭ビル屋上より管內の管制ぶりを視察するところあつたが、碇泊諸船舶は勿論、驛構內シグナル燈までピタツと消燈され、全く灯のない港街と化し、非常管制の目的を果し得たが

月明を縫つて八時五十五分入船驛上空に現はれ同じく九時五分埠頭ビル屋上上空に敵機が現れ港橋及び中間附近に燒夷彈を落下つゞいて高射機關銃の猛射、照明燈の明りをくゞり乍ら埠頭ビル及び用度事務所の中間に燒夷彈を投下附近材料を燒いたのみで家屋の延燒を免れ得たが、第一次敵機の夜襲は巧みなるものであつた、かくて九時十五分非常警戒を解いた

壯烈な空中戰　旅順の演習は大成功

旅順における第二日午後の演習は十二時半先づ執務中の關東廳に燒夷彈及毒瓦斯彈が投下され土木課の一角から發火し窒息者、負傷者續出との想定の下にバス停留所附近に設けられた假設家屋は轟然たる爆音と共に炎々たる焰を吐き出し折から晝休みの關東廳職員は殆ど全部がこれを取卷き見學中で開始された

新市街防護團三ケ分團、消防隊[illegible]

防護團の活動

防空演習最後の夜間空襲に備へるべく防護團本部は薄暮より更に緊張の度を加へたが、周水子、旅順方面より飛行機來の報に八時四十分各分團地區は燈火管制に入る、九時を過ぎれば敵機空襲の音……各地區より報告の電話のベルがけたゝましい、九時十分本部より統監部へ各地區分團の情況報告傳命が飛んで斯くて夜間第一回空襲は九時十五分警報解除と共に終つたが次いで十時二十分再び第二回夜[illegible]

演習第二日　（上）大連埠頭の摸擬火災（下左）本社ルーフに於ける大連防空隊作戰本部の緊張―向つて右より加藤少佐、松尾少佐（大連防空隊長）、原大尉、北島中佐（審判官）

大廣場を閉ざす

層雲の煙幕陣　敵機遂に標的を失ふ

午後四時三十分敵機來襲の警報、電光の如く傳はるや〃市の心臟部大廣場を守れ〃と果然防護團の活動となり、瞬時にして隣所より立ち上る濛々たる煙幕、二臺のサイドカーは鷲の如く煙幕を引いて疾走快走……二分、三分のうちにさしも廣い大廣場は完全に白煙をもつて包まれ、市役所、鮮銀、ヤマトホテル、大連署、正金の大建築物は濛々たる煙に遮蔽されて了つたこれが爲め來襲の敵機は標的を誤り、大廣場の眞ん中に爆彈を投下忽ち機影を沒し市街の煙幕遮蔽演習は大成功裡に五時終了した

救護隊は時を移さず現場に出動し、救護隊防護團に毒ガスの消毒、負傷者の救出收容、應急手當等頗る機敏なる活動を示す、一時十五分終了したが

右作業の眞最中市西方から飛來したフオッカー型敵機二機は更に關東廳襲擊を企てたに對し、綠軍練兵場から飛び出した海軍戰鬪機二機はこれに對し痛烈な攻擊を加へ地上機關銃部隊の呼應と共に勇壯な空中戰を展開し敵機を擊退する更に引續き同一時四十分迎橋袂八島座跡、公學堂校庭において同樣摸擬火災消防隊活躍の見學演習を行ひ、同二時十分乃木町派出所前において港務部の防毒演習が實施され、三時頃一先づ休憩に入つたが

[illegible]校原司令官は久保田參謀長以下幕僚を隨へこれ等各所の演習における防護團の活躍振りを終始見學するところあつた

火災頻發　旅順の防空陣

警戒管制のまゝ警戒の手をゆるめず夜に入つた旅順では各監視所とも注意中、同八時三十分敵機來襲を探知し直に全市とも非常管制を布き敵機の襲擊を防いだが、わが防護網を巧にくゞりぬけた敵機は同四十分旅順上空に到り、忽ち各所に八個の燒夷彈その他爆彈多數を投下し飛び去つた

市內十年町、鯖江町、高崎町、旅順驛等隨所に火災を生じ防護團消防隊は非常管制の暗黑裡に於て大活躍を開始したが、十年町、鯖江町の火事は最も甚しく他分團の應援を求めるなど被害甚大である

同九時二十分消火し同時に非常管制をといたが

間もなく再び敵機現はれ襲擊を試みたが、驅逐艦の探照燈の應援を得て各所の機關銃隊、高射砲等の猛烈なる射擊に僅か一個の爆彈を投下したのみで東方に飛び去つた、併しなほ警戒管制を續け徹宵警戒につとめてゐる

父の訃音にも歸國を肯ぜず　加賀乘組員の美談

旅順に派遣された航空母艦加賀乘組の二等整備兵曹戶田近三君は目下旅順綠軍練兵場に滯在中の戰鬪機の地上勤務に當つてゐるが、十八日朝加賀艦長を通じ鄕里長崎縣北松浦郡生月村にある父親が病篤しの電報に接し更に二十日午後父親の死亡を追報して來たにも拘はらず依然として歸國を肯ぜず勤務を續け歸國するのは演習終了後でも遲くないと涙を包んでゐるが

この生一本な軍人氣質の戶田君の[illegible]

間空襲を迎へての全防護團員必死の防空並びに燈火管制演習を行ひ十一時十五分成功裡に終了、明日の擴接戰に入ることゝなつた

小川團長視察

行爲には航空隊將士初め要港部幕僚も齊しく賞讚してゐる所である

早朝來の巡視による疲勞をものともせず小川防護團長は菱刈長官を案內し午後一時埠頭ビルに煙幕演習參觀、次いで滿洲報屋上並びに沙河口眞金町にて各種防空作業、早苗小學校附近にて照明燈を巡視し長官と別れ本部へ歸還

小憩後ヤマトホテルルーフより大廣場の煙幕を、次いで文化臺附近防護團第三地區員の演習振りを視察し、午後六時より菱刈長官のヤマトホテルにベルギー特使の招宴に臨み八時四十分よりは菱刈長官を案內觀測所にて燈火管制を視察、同十時五十五分より十一時二十分まで市內の燈火管制振りを巡視した

旅順防毒演習

十時二十分旅順ヤマトホテル前廣場に毒瓦斯彈が投下されとの想定の下に要港部港務部員による防毒演習は校原司令官以下幕僚並びに菱刈長官、日下、大場兩局長その他學生等が見學して行はれたが、ガス彈の投下と共に數名の負傷者を生じヤマトホテルは猛火に見舞はれ急報に防毒隊は消防隊と共に出動し、防毒衣ガスマスクに身を包んだ防毒隊は先づ毒ガスの性質の檢查をなし「イペリツトガス」と檢出されるや忽ちに消毒用晒粉を撒布し消毒する一方、窒息者、負傷者には人工呼吸手當を施し、病院に收容し又消防隊は忽ちにして數本のホースを以つて防火に努めるなど頗る迅速に統制ある活躍振りを示し見學者に多大の教訓を與へ同四十分終了した

工大出身澁谷氏朝陽鎭で慘殺

案內者は辛じて逃走

【奉天特電二十日發】來る七月頃新鑛業法が施行されるといふので愈々鑛物資源の開發が出來る事となり山から山に資源を求めて跋涉する鑛山技師が最近多くなり之等は地方匪賊の出沒にも氣を留めず勇敢に活躍し黃金の扉を開く可く努力して居るが、去る十九日午後六時頃輝南縣から朝陽鎭に向つた大滿洲採金公司奉天出張所員澁谷慶六(二六)氏は綠川某の案內にて某農村に到るや匪首不明の百數十名の匪賊に襲擊され綠川は賊團の隙を見て危地を脫走したが澁谷氏は賊のために人質として拉致されたので、その後賊の行動について調查中であつたが、本朝に至り輝南縣郊外において賊のために慘殺されてゐるのを發見されたと、なほ澁谷氏は旅順工大出身である

友人岡野氏談

【奉天特電二十日發】市內彌生町四十一番地の大滿蒙採金公司に夫人を訪れると、夫人は悲報に接し極度に昂奮して居りますからと、澁谷氏の親友岡野備香氏は代つて語る

澁谷君は十三日出發以來一度も消息をくれなかつたので、この悲報の模樣はよく分りませんが昭和五年三月旅順工大採鑛冶金科を卒業し一時横濱に居りましたが、滿洲事變勃發と同時に滿洲に舞ひ戾つて來て本公司創立と同時に入社し非常に活動し殊に盤石で匪賊に襲擊された時縣內に立て籠つて奮戰した人で工大の劍道部を一人で背負つて立ち三段の腕前を持つてゐた實に惜しいことです、なほ同氏は

夫人との間に子供はありません

讀書標語募集　關東廳圖書館で

關東廳圖書館では今回日滿人の讀書力を昂り圖書館への關心を促すべく讀書宣傳標語を募集することゝなつたが

▲用紙官製ハガキ▲締切りは七月十日▲發表は九月一日▲賞金は一等二十圓（一人）二等十圓（二人）三等五圓（三人）

順天號の人質に日英共に抗議

俄然國際問題化す

【南京二十日發國通】英商太沽公司汽船順天號遭難事件は拉致された人質の內に邦人一名、英人海軍將校二名、外三名を含み居るため果然國際問題化した、即ち日本側は取敢ず昨日軍艦天龍を現場に急航せしめると共に天津總領事より河北省主席于學忠氏に對し嚴重な態度で拉致された山本の救出を請求し、英國側は國民政府及び山東省主席韓復榘に對し警戒の怠慢を責め速かに救出を求むる旨の强硬なる抗議を提出し、犧牲者の運命憂慮さるゝと共に事態は重大化し來つた

因に拉致された外人は塘山中國堂山本富一、宏利人壽保險會社上海支店長グレームデイ・ニコル、英國潛水艦オスワルド乘組ビー・エル・フイールド、同じくオシリス乘組ゼー・ルース中尉、順天號乘組員ジョージ・レイバア・プランド、同ヘンリー・マクドワル・ワトソンの六名である

山崎領事　に對し取調べ

なほわが外務當局は

【天津二十日發國通】北平駐劄英國公使館は順天號乘組員拉致事件を重大視し、副領事及び通譯將校各一名を十九日朝北平發濟南へ急行せしめ、山東省主席韓復榘に對し救出方を交渉させた一方南京政府に對しても嚴重抗議を提出した

び拉致邦人の保護を支那側へ嚴重要求する筈である

別府では無錢遊興　取調後大連へ

【別府特電十九日發】別府は毎日多いときは一萬人、少いときで三四千人の浴客が各地から入込み、從つてあらゆる犯罪者の隱れ場所ともなり數萬圓の泥棒など捕はれ

陸軍軍帽改正　今秋迄に全部

【東京二十日發國通】陸軍では滿洲、上海事變の經驗に鑑み今迄の赤鉢卷の軍帽を今秋九月から運動帽式戰帽と變更することゝなつた、日露戰役以來馴染深い赤の軍帽は儀式外出の時に用ひらるゝ豫定である、此の戰帽は滿貨生糸で製作したもので今秋群馬縣下陸軍特別大演習には全部此の新戰帽で參加する筈

籠拔犯人受取　大連署員出發

去る十二日大分縣別府警察署の手に捕へられた滿鐵の籠拔け犯人井出田武夫(二七)の身柄に就ては大連署から別府署に交渉中のところいよいよ身柄引取りに決定大連署司法係小川部長、船曳刑事は來る二十二日出帆のたこま丸で別府へ急行することゝなつた

また怪盜　遼東ホテルに

依然跳梁する遼東ホテルの怪盜―二十四日午後六時二十分前後、市內遼東ホテル二階二一三號室に投宿中の遼陽滿洲セメント會社員田中德五郎氏が入浴中何者か室內に侵入金側懷中、時計及び現金三十餘圓在中の財布を窃取した事件あり大連署では頻々たる盜難發生に鑑み手を燒きホテルに對し嚴重に注意

大連運動場のプール開く

カッパのシーズン來て早くも大連運動場プールでは十九日夜より注水、廿日午前中に滿水、同日午後より開場したが「待つてました」とばかりに大小の河童が押し寄せて一年振りに水煙を立てた、尚會員券は左の如く同プール事務所で發賣の由

◇期間券　一般會員券二圓、學生會員券一圓、小學生會員券五十錢、一回券は五錢

馬券の取締一層峻嚴化か

大連競馬開催期迫り

大連競馬俱樂部の本年第二回競馬の開催期も愈々近く先頃大連始め各地の競馬俱樂部役員は關東廳當局を訪問

景品付入場券の發賣に關する取締りの緩和方につき陳情するところあつたが關東廳警務當局方針は飽くまで景品付入場券を以て富籤類似のものであり、明かに刑法に違反するものとし、その發賣は漸次制限を嚴にして遂にはこれを全く禁止する方針を嚴守して居り、從つて第一回競馬開催に當り急激なる變革をさけ且つ大連その他の特殊事情を考慮して發賣を許可されたる福引形式の極めて小額に限定された入場券に對しても

更に一層制限が加へられる模樣で競馬開催期の切迫と共に再び景品付入場券に絡む問題は表面化されるであらう

ところもあるので自稱內野藤につ いても大した犯人とはみてゐなかつたさうで、本紙の記事をみて初めて大膽な敵な奴と思つたとのことである、犯人の身柄は兎に角拘留期間二十五日間（十一日拘留狀を發して居るから七月五日まで）經過後大連署へ引渡すといふことに決定したが別府でも無錢遊興などもあるからなほ取調べる必要もあり期間滿了後陸送護送とするかどうか大連から受取りに來るか、それはまだ決定してゐない、高砂屋旅館では洋服を着てプラチナ時計など見せ風采も相當なので會社員の出張ついでの入湯位に思ひ別に怪しみもしなかつたさうで、事情をきいて吃驚して「私の方は宿料も貰つてゐません」とこぼしてゐた

對全鐵道柔道　會員券賣出し

全鐵道省軍對全滿洲軍の一大對抗柔道戰は愈々來る二十四日中央公園テニスコート內假道場に於いて開催するが、當日の臨時會員券左の如し

一般臨時會員券　一圓二十錢
學生會員券　七十錢
小學生會員券（學校に於いて取りまとめ申込みのこと會費二十錢）

尙會員券は目下體育堂山本兩運動具店及び滿鐵體育係內柔道有段者會（電話四九六五番）に於いて發賣中であるが、普通會員券二圓、學生會員券一圓である

大倉陶園作品展

來る二十二日より七日間三越に於て東京大倉陶園作品の展覽會が開催される、一般の來觀を希望すると、尙會期中は東京より社員出張種々顧客の希望に應ずると

滿人漂流死體

二十日午前十時頃西埠頭沖合に三十六、七位の支那人の漂流死體あり眞榮平醫師檢視の結果死後約十四、五日經過、水上署では身元不明のため宏濟善堂に引渡した

けふのメモ

▲村田省藏氏歡迎會　正午ヤマトホテル、午後七時西園亭

忠靈塔建設　基金寄附者芳名（本社計）（六月二十日夕迄の分）

▲金二百圓也　滿洲棉花株式會社
▲金十圓也　鐵嶺電燈局員一同
▲金九圓七十錢也　大連汽船燒臺丸日本人一同
計金貳百拾九圓七拾錢也
累計金壹萬六千二百三拾六圓九拾九錢也

四大忠靈塔建設基金募集

要項
一、寄附金額　隨意
一、受付期日　六月末日限り
一、受付箇所　本社事業部、各支社支局
一、寄附者芳名　本紙上に發表
一、處理方法　財團法人忠靈顯彰會に一任

後援　滿洲日報社

安樂椅子

燈火管制の目的は「內は明るく作業を續け外に一切光を洩さざること」とある、所が一般市民は勿論、防護團員のうちにすら「內外共に眞ッ暗に消燈せねば燈火管制でない」と心得る者が尠くない、そこから生れた管制當夜のナンセンス。

……◇……

眞暗な街を煙草すひながら歩くモボを見つけた防護團員ツカツカと駈け寄つて「君、君煙草を消し給へ非國民だゾ……」と怒鳴つたのでモボ蒼くなり狼狽てて火を消した。

……◇……

又或る十字路でヘッドライトに紫色の布を覆ひ燈火を遮蔽して徐行してゐる自動車に片端から停車を命じ「君、なぜヘッドライトを消さぬかッ」ときめつけたのが某分團の交通班員、運轉手が「光を遮蔽してゐるではないか」と頻りに辯解したが「消燈せよ」の一點張りで脅かす到頭自動車立往生。

……◇……

糸の樣なローソクをともして夕食中の家庭に向つて「火を消さぬかッ」とどなり込む青年があつた「これ位の光は空から見えぬよ」と辯解してもこれまた非國民呼はりされた揚句遂々ながらローソクの火を消した。

……◇……

たゞし、警察自動車の內には充分の遮光を怠り平氣で市中を驅け廻るものが多かつた、これなどは防空演習の意義を解せぬ不心得者だ、注意すべきであらう

スポーツ記事　九面にもあり

南蠻彩船 (165)

鈴木氏亨作　布施長春畫

快　望（六）

笑聲は戸外の怪音を消して、依然として變らぬ賑やかさであつた

パチャン！

今度は池の中に、大きい塊が落ちたやうな音がした。

「ウフフア……」

「アハッハッハ、、、、」

屋内は笑聲と歡聲の騒音曲だ。

ピカリ！

漆黑の空が、二つに裂けたかと思はれるやうな怪音が轟き渡つて稲妻が天地を二つにした。

ピカリ！ゴロ〳〵〳〵！

依然として助左衛門の館は笑ひと悦びと、喚聲と、嬌聲の混合酒だつた。

「殿樣！々々、々々！た、、、大變でござります」

蠻助が血相變へて飛込んできた

「何事だッ！」

一同は夢からさめたやうに蠻助を見成つた。

「只今庭面にあたつて、時ならぬ物音、一度ならず、二度三度、多分お耳にも入つたでござりませうが、これ殿樣の出世を妬む、南蠻堂坤齋一味の仕業と思はれまする御注意あつて然るべしと存じまする」

「な、なんと、南蠻堂坤齋の一味が來た！ブルッ、ブルッ、ブル…彼等の如きは少しも恐るゝに足らぬ、相手にせず、放つておくがいゝ」

助左衛門は、武者震ひした。

「わたくしも、左樣に思つて居りましたが、もしや館に怪異でもありまするさ、皆樣のお命にかゝはりまするこさ故、御注意までに申し上げたので御座ります」

「御苦勞々々。それは大儀だつた。だが。今宵は祝ひだ。充分飲るがいゝ」

助左衛門は意にも掛けやうとしなかつた。

「南蠻堂坤齋！それは何者で御座るか？」

新左衛門は訝かしげに問ふた。

「曲もないこと。お耳に入れるほどのことでも御座りませぬ」

助左衛門は一笑に附さうとした

「初めて聞く名で御座りまする。お差し支へなくば、いかなる人間かお洩らし下さい」

ドーン、パチ〳〵〳〵！

太鼓を打ち鳴らしたやうな、物凄い音響がひゞき渡ると、庭一面眞紅になつて火の燃ゆるやうな色がした。

「おゝ、何事で御座るか？如何にも怪しき物音とあの火焔？」

「先刻から度々の怪音、何事でござらう」

「どうやら又南蠻堂坤齋一味が、惡戲にきたらしうございますな」

歡聲は愁聲に變つて、急に一座はひつそり囁き渡つた。

「助左衛門殿、何事もつゝまずお話し下され。わたくし、天下樣にお願ひ申し、誓つて貴公を保護いたすで御座らうから、遠慮なくお話し召され」

「さほどまでに仰せらるゝからは、お話し申上げねも反つて失禮かと存じまする。では一通りおきき下されませ」

助左衛門は徐ろに口を切つた。

ドシン！ヅドドン！

まるで地雷火が一時に爆發したやうな音だつた。館は一面怪しげな黒雲に包まれた。

滿洲日報
六月二十日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

海軍々縮會議期日は明年の五、六月ごろか
日英米間に諒解成らん

【東京二十日發國通】一九三五年の海軍會議の期日及び會議地等の手續き決定に關する豫備會商は十七日の英米會商によつて開始されたが、帝國政府は右に關し最近英國政府に對する回答において會議開催の時期は帝國議會の關係もあり四月乃至五月頃が適當と信ずる、會議地についてはパリが最も恰好の地と信ずるも强ち固執せず、ロンドンも亦第二候補地として可なり、會議參加國の都市が全部面白からざる場合は第三國たるヘーグ等も可いとの留保條件を附したが、其後齋藤駐米、松平英兩大使より外務省への情報を綜合するに英國はロンドンで六月頃、米國も六月頃(會議地については言及せず)ならば贊成する意向を漏らしてゐるので、本問題に關する限り豫備會商は意外に早く諒解成ることは殆ど決定的である

米代表、松平大使會見
愈よ個別的豫備交涉開始

【ロンドン十九日發國通】米國軍縮代表ノーマン・デヴィス氏は十九日正午官邸に松平大使を訪問し來るべき海軍會議に關する米國の立場、昨日より開始された英米會商の模樣などを說明し諒解を求めた、これに對し松平大使も十八日マクドナルド首相に述べた所と略同樣の日本の立場を說明し會見一時間にして別れた、尙駐英米國大使ビンガム氏も同道の筈であつたが氏は外に用務があつた爲同道出來なかつた、右會見は米國側より突如申込み來つたもので表面上儀禮的のものであり、且つ松平大使はこの會見について何等訓令に接してゐないので勿論具體的問題には入らず單に日本の根本主張を說明するに止めたが、兎に角之に依つて日英米三國間に二國間の海軍豫備交涉が事實上開始された譯で豫備交涉は俄然重大性を帶びるに至つた、なほ次の會見日は未定だが英米會商の模樣により隨時行はれるものと觀られる

米國代表部の見解

【ロンドン十九日發國通】十九日の松平大使、デヴィス氏との會見においては兩氏共自國の立場を說明するに止まつたが、米國代表部ではこれに依つて比率問題が豫備交涉の主張から除外された譯では決してないとの立場から左の如き見解を表明してゐる

今後引續いて行はれる海軍交涉の主題から豫かじめ除外さるべき問題は何もない筈で、只いはゞ前哨戰ともいふべき交涉開始早々餘りに多くの問題を持出す事は考へものだ

反對表明 プラット提督

【紐育十九日發國通】日英米三國間豫備交涉がロンドンにおいて開催され、海軍問題が全世界の言論界の脚光を浴びてゐる際、嘗て米國海軍作戰部長の要職にありて帝國海軍を目標とする太平洋作戰を樹立したプラット提督は米國の有力外交雜誌フォリン・アフェアーズ七月號雜誌に長文(論文)を揭げ滔々數千言、海軍力比率公開に關する帝國政府の見解に對し絕對反對を表明した、但し同提督が海軍力以外の點においては日本並に日本人が當然均等の待遇を受ける權利がある事を認め、暗に排日移民法修正の必要を示唆してゐるのは注目に値する

米露海軍の大デモ
米國大艦隊は太平洋へ回航 ロシアは浦鹽中心に大演習

我國の東西にある二大强國が殆ど時を同じうして海軍の大デモンストレーションを行つた、卽ち米國は五月中旬ニューヨーク港外に於いて其の海軍始まつて以來の大觀艦式を行つた後其の大艦隊は再び太平洋へ廻航しやうとしてゐる、又ソウエートの極東艦隊は六月七日以來浦鹽を中心に大演習を行ひ優勢なる空軍と相呼應して我國の某港を目標に猛烈な攻防演習を試みた(寫眞(上)は浦鹽港頭より後方要塞地帶を望む(下)は米國戰艦群の大行進)

米聯合艦隊 再び太平洋岸に

【ニューヨーク十八日發國通】大觀艦式擧行後前後十八日ハドソン河上に碇泊してゐた米國聯合艦隊は再びサンペトロサンチゴを中心とする太平洋岸の根據地に復歸すべく十八日愈々ニューヨークを出發した、新に合衆國海軍を動かす羅針盤の大役を承つた聯合艦隊司令長官リーブス大將は臨時旗艦ニューメキシコ號に乘込み檣頭高く司令長官旗を揭げ百餘隻の艨艟を隨へて晴れの航海に上り數萬のニューヨークつ子は拂曉からハドソン海岸に堵列河上を壓する合衆國海軍の威容に歡呼の聲をあげて見送つた、聯合艦隊はニューヨーク出發後前後四日間洋上にて戰鬪並びに操艦演習を行ひ七月四日の獨立祭までには艨艟百三十四隻相率ゐてパナマ運河へ回航を決行十二月一日までには太平洋根據地に復歸する

愛媛縣慰問團

愛媛縣學務部長瀨谷薰氏以下一行十二名の皇軍慰問團は二十日入港たこま丸で來連したが一行は新京で二班に別れ約四週間に亘り北滿各地の駐滿部隊を歷訪し、朝鮮經由歸鄉すると

滿鐵定時總會
けふ東京鐵道協會にて開催
報告、議事無事終了

【東京特電二十日發】滿鐵の第三十三回定時株主總會は二十日午後二時より東京丸の內帝國鐵道協會に於いて開會、林、八田正副總裁以下山西、竹中、大淵の各理事、片山顧問、大橋、小倉、森各監事をはじめ株主四百餘名出席、拓務省から稻垣監理官、大藏省から江口國有財產課長臨席、林總裁會長席に着き

本日第三十三回定時株主總會を開催しますに當り斯く多數株主各位の御出席を得ましたことは私の最も光榮とするところであります、例により議事に入るに先だち昭和八年度における重役の異動及び當社營業の概況を御報告申上げます、前監事馬越恭平氏は御病氣のため昨年四月二十日逝去され、原邦造氏は同年六月二十日監事に就任せられました、同年十二月四日監事の任期が滿了致しましたので十二月二十日臨時株主總會において改選を行ひましたところ原富太郎氏は退任され、大橋新太郎氏、小倉正恒氏、原邦造氏は孰れも重任され、森廣藏氏が新に就任せられました

と前提して別項の如き演說をなし引續き八田副總裁は事業報告(第四面揭載)あり、了つて議事に入り

決議事項

第一 昭和八年度事業報告書、貸借對照表、財產目錄及損益計算書承認の件

第二 昭和八年度利益金處分の件は大橋監事から承認の旨を述べ(第一配當六分、第二配當二分)

第三 社債(二億圓)募集の件

第四 退職役員(原富太郎)に對し慰勞金贈呈の件

孰れも異議なく可決された

林總裁の演說

其の後滿洲國は國內治安の狀態も着々改善され昨年二、三月の熱河討伐を最後として兵匪其の他の集團匪賊は殆ど其の跡を絕ち本年三月帝政實施を見、國民は愈々其の業に安んじて國力は益々充實しつゝある狀態である、次に一般經濟事情においても滿洲中央銀行設立以來幣制の統一に伴ひ通貨は安定し、且銀價の昂騰により財界は好況を呈して居る、滿洲產業の大宗たる農作物の收穫は前年に比し大差ないが石炭は地元消費の增加と日本內地の需要增加とにより益々活況を呈し、又貿易において、滿洲國內の各種事業の發展に伴ひ物資の需要增加著しく貿易は益々發展を見つゝある、例へば大連埠頭の取扱貨物統計に據るも昭和八年度の輸出貨物は七百四十二萬噸で前年度比較二十二萬噸、卽ち約三分の增加に對し、輸入貨物は二百三十二萬噸で前年度比較八十六萬噸卽ち約五割九分の激增を示した、斯くの如き輸入貨物激增は鐵道其の他の建設材料の需要增加、都市の發展等に原因し滿洲國內諸般の建設事業の旺盛なることを示すものである

滿洲產業開發の根幹を爲す交通機關は建國以來面目を一新し、當社は昨年三月一日滿洲國國有鐵道及其の附帶業務の委託經營を引受け奉天に鐵路總局を設置して之が經營に當り又新線建設の請負契約を結び大連に鐵道建設局を設置して着々新線の建設を實行しつゝあり又同年十月一日朝鮮總督府の委託に依り北朝鮮における一部鐵道及終端施設は當社において經營することゝなり清津に北鮮鐵道管理局を設置し業務を開始し日滿交通連絡上相當の效果を擧げつゝある

滿洲國國道の新設改良に伴ひ主要道路における自動車運輸は鐵路總局に於いて兼營することゝなり漸次發達の途上に在り、尙昭和製鋼所、滿洲化學工業會社は引續き建設が進捗して居る、其の後日滿マグネシウム、滿洲石油、滿洲炭礦、滿洲採金、同和自動車等の新設會社に對しても相當の出資した、要するに當社は滿洲に於ける新情勢に伴ひ各種事業の發展助長に努力して居る次第である

明年の會議は新協定締結が目的
我方の軍縮會議方針

【東京特電廿日發】軍縮會議に對する我國の根本方針は既報の如く軍縮の根本原則に基く公正且つ合理的の協定を望まんとするにあり、特に英米兩國の企圖したる如き明年の會議をワシントン、ロンドン會議の延長となさんとする方針には反對の意圖である、兩條約は何れも一九三六年末無効となるべき明文規定あり、一九三二年以來世界情勢は舊比率の繼續を許さず、明年の會議は三六年以後數年に亙り有效なる新協定を議すべき新會議たるべしとなし、帝國政府が今回豫備會議において明年の會議開催地をパリ又はヘーグとせんとの提案をなすは右の見解によるものである、要するに全然過去の一切に拘束される事なく我主張の貫徹を期し且つ若し英米が我國の好まざる問題に言及し且つ橫車を押すが如きことがあらば敢然脫退すべく此の精神は豫備會議に對しても又同樣であると

支那海軍大學 二ケ所に設置

【新京特電二十日發】天津來電によれば最近中國政府は國防の重要性と自國海軍の幼稚なる現狀を憂慮し有事の際に備へるため福州及び馬江に海軍大學を設立し優秀な海軍將校を養成し中國海軍の充實を期することゝなつた、海軍大學校の校長には海軍部少將陳紹寬氏が任命され、教官には外國海軍將校を招聘し來る七月一日より授業開始の豫定である

羅津の都市計畫七月から實施
水道は滿鐵で施設

【京城特電二十日發】宇垣總督の歸任により待望の朝鮮市街地計畫令は二十日制令として發布された施行細則は近く總督府令として發布され、それにより七月一日より實施されるものである、これにより羅津の都市計畫は七月一日より實行に入ることゝなつた、その要綱左の如し

一、この市街計畫は總督府に於て行ふ

一、今年より三年計畫五十萬圓の國費をもつて實行、人口五萬を包擁し得るだけの道路下水を施設す

一、その後は人口十萬目標、十年計畫五百萬圓の用意をなす

一、水道は滿鐵において百五十萬圓を投じ給水量の內四割を滿鐵地區內及び船舶給水用に充て六割を市內に給す

一、羅津港は十萬圓を起債し、水道管市內引込みその他の施設をなす

一、滿鐵地區內の道路下水は滿鐵において計畫令により施設す

一、總督府は七月一日より直ちに右により都市計畫を實行する

米國の邦品輸入制限
絹織物、綿製品に及ばんとし我商務官對策に努力

【東京特電二十日發】東京所着報によれば、米國の日本品に對する高率關稅又は輸入割當問題が續發し、いよ〳〵わが國の絹織物に飛火し重大視されてゐるが、更に日本綿製品に對しても何等かの形で輸入制限をはからんとする運動擡頭し井上商務官は目下對策に忙殺されてゐる、メリヤス製品、手袋、シャツ等の日本品の米國輸入は最近著るしく增加したが米國側はこラの脅威として日本品輸入制限を行はんとするものである

邦品排擊を條件に英蘭秘密軍事協定
蘭印の制海權を確保

【東京二十日發國通】日本の對蘭印輸出の大發展に狼狽せるオランダ側が突如提議した日蘭會商に關し會商當初において既に英國のランカシヤ紡績業者とオランダのトウエンテイ紡績業者の申合せに依つて蘭領印度における日本商品排擊に關し英蘭秘密協定が成立したとの噂が傳へられて居たが、十九日東京所着電によれば、最近新嘉坡の英國[illegible]ウイン少將のジャバ[illegible]とし、海峽植民地並びに蘭印方面においては右秘密協定を單に經濟的協定に止めず蘭印の日本品排擊を條件に英國がその東洋艦隊を以て南太平洋及び印度洋における制海權を確保し蘭印の安全保障を行はんとする軍事協定に迄擴大すべく、在新嘉坡英國官憲と在蘭印のオランダ官憲の間にしきりに交涉が進められて居るといはれて居る

日本人の勤勉を最も強く感じた
けさ來連の白國特派大使談

ベルギー新皇帝レオナルド三世陛下の御卽位をわが畏き邊りに御披露のため特派されたウイリアム・タイス大使は夫人、令孃およびド・ウーケルク伯夫妻、ド・ツリックス男、陸軍中尉チリ・ド・デュアール男らの隨員と共に、大任を終へて歸國の途にあるが、さらに奉天まで出迎へて同車したハルビン駐在總領事アルフォンス・ヴオン・クッセン氏をも加へて一行八名となり、二十日午前七時四十分着列車で來連した、驛頭にて出迎への名譽領事古澤丈作氏、御厨外事課長らと共に寫眞班のカメラに入り、大連ヤマトホテルに入つたが、午前中は滿鐵の案內で市中を見物、正午は目下投資商談で來連中の同國人パンヤン男主催の歡迎午餐會に臨んで星ケ浦の海を愛で、午後は旅大道路をドライヴして旅順見學に赴いた、これより先き、タイス特派大使は車中金州まで出迎へた記者に對し左のごとく語つた

此度わが新皇帝陛下御登極を日本の天皇陛下に御挨拶へする重任を帶びて來朝しましたが恙なく役目を終つて歸途にあることは私の光榮として深く感激して居る次第であります、殊に日本に來ましたのは最初でありますが日本の官民各位から受けた熱誠極まる歡待は、終世忘れることが出來ぬところで「日本の印象は」と尋ねられたら「一〇〇パーセント良好」と答へるばかりであります、日本の景色のよいことはかれ〴〵聞いてゐたところで、日光や奈良の美しさには感歎しましたが、最も強く感じたことは日本人が如何にも勤勉で力強い國民であることで、これあればこそ日本が短い歲月の間にかくまで進歩を遂げたのだと思ひます、滿洲にも今少しゆつくりして方々見たかつたのですが、何分時間がないので大連だけ見て歸らねばならぬのは殘念に思つてゐます、從つて滿洲の印象をお話し出來ぬのは遺憾です

なほ最初の旅程では新京に赴くことになつてゐたのを急に中止した理由をたゞすと

別に理由があつたわけでなく豫定の時日がなくなつたからです

と答へた(寫眞×印は大使)

一行の日程

タイス大使一行の二十日午後の日程は午後六時より大廣場ヤマトホテルに開かれる菱刈長官主催のお茶の會に臨み同日午後九時發列車で離連するが奉天より奉山線で北平天津に赴き上海に出てスエズ廻り歸國する筈

武部氏來滿

【東京二十日發國通】前廣島文理大學長武部欽一氏は十九日午後九時四十五分東京驛發、朝鮮經由滿洲國に赴き來る二十三日新京にて擧行される滿洲國教育會發會式に帝國教育會代表として出席した後滿洲國の教育狀況を視察の上七月はじめ歸京の豫定

志村大尉赴任

參謀本部附に榮轉したる志村大尉(關東軍第四課參謀)は來る二十二日午後四時半新京發赴任の途につき途中奉天一泊、二十四日朝大連着、二十五日出帆のばいかる丸に便乘する由

北鐵護路軍は解消

【新京十九日發國通】七月一日實施の運びになつた滿洲國軍劃期的な軍政改革によつて從來北滿鐵道沿線の警備に當つてゐた北鐵護路軍は全部第四軍管區警備軍に包括され、その名稱は解消されることになつた、この外奉天陸軍中央訓練處所屬の憲兵養成處も今回の改革と共に奉天より吉林に移轉することに決定してゐる

藏本氏內地へ

【上海二十日發國通】藏本書記生は二十日午前九時上海丸で內地へ向つた

うすりい丸

二十一日午前七時三十分大連港外着の豫定

人事

▲ウイリヤム・タイス氏(ベルギー訪日特使)二十日午前七時四十分着列車にて來連
▲灘又次郞氏(關東廳警部)同上
▲荒井綠氏(奉天市政公署技師長)同上
▲古川達四郞氏(北鮮鐵路管理局次長)二十日午前九時發はとにて歸任
▲關屋悌藏氏(奉天地方事務所長)同上
▲麥田平雄氏(滿洲航空會社重役)二十日出帆うらる丸で離連
▲瀨谷薰氏(愛媛縣學務部長)二十日入港たこま丸で皇軍慰問團一行十二名と共に來滿
▲坂本直道氏(滿鐵巴里事務所長)二十日うらる丸にて赴任(日本より米國經由の筈)

奉天省豫算
一千八百萬圓

【奉天特電二十日發】奉天全省五十八縣は滿洲國建國三年となり經濟的工作に入つてゐるが康德元年度の五十八縣の豫算は一千八百二十一萬元で昨年度の一千四百萬元に比し約四百萬元の增額を示して居る、この中警備費七百三十萬元要求されて居る、昨年度の政府補助金三百萬元を控除した一千五百萬元は地方稅收を以て之に充てられて居るが、之に國稅二千百萬元を加算すれば奉天省民一千五百萬は國稅、地方稅合せて[illegible]千六百萬元の負擔で財政的に見て未だ加重ではないといはれて居る

通車は七月實施
來る廿八日細則公布

【天津二十日發國通】十九日朝の支那紙は大公報はじめ一齊に、通車問題解決の結果、七月一日より北平、奉天間通車實施の旨を報じ

なほこれに關する細則は二十八日公布さるべく黃郛氏はそれまでに歸平すると報じてゐる

北寧鐵衛生科長
天津日界で暗殺さる

【天津特電二十日發】北寧鐵路局衛生科長は十九日夜天津日本租界において暗殺されたが、右は通車問題の影響と觀られ注視されて居る

蛇角

◇けふも續いて空襲爆擊、防衛防護、防空演習クライマックス。
◇日滿の要を守れ大空に。防空完全、日滿安全。
◇空の用心、灯の用心。赤い心で青空守れ。
◇國府の白人顧問不要說、歐米心醉の酒精分が醒めかけたかナ。
◇「政局の不安を一掃せよ」との聲が閣內に起つた。
◇と同時に首相の心が、著るしく不安になつた。
◇奉天「露天三越」の賣上高一日金五千圓也。は馬鹿に出來ぬ。
◇勝手から庭へ續くや蟻の道。

小說「七寶の柱」第三面にあり

關東州防空演習 第二日

果然今早朝から敵機不意の空襲
わが防空飛行隊との間に壯烈な攻防戰展開

關東州防空演習は第二日の二十日に入り彌が上にも灼熱してゆく、敵乙國は戰ひ利あらず頽勢を一擧に挽回せんと決死の空襲また空襲を敢行し關東州に腥風吹きすさぶ、然しわが防衛各部隊は軍規嚴正、士氣益々あがり敵機をして慴伏せしむる確信に燃えてゐる、所在の防護團も亦官民一致、祖國のため涙ぐましき奮闘を續けてゐる、かくて關東州防空演習は我國の防空史上に大なる記録を殘しつゝクライマックスに達した

防衛各部隊、防護團とも前日同様午前七時迄に部署につき嚴重警戒するうち防衛司令部に監視網より

櫛の歯 を引くが如く刻々情報あり

◇午前七時三十分敵の爆撃機二機瓦房店附近東航、高度千米、同三十八分敵爆撃機二機（同上機）貔子窩附近南下高度千米
◇同三十分三山島附近敵爆撃機一機東航、高度不明
◇同三十八分旅順附近敵爆撃機一機東航、高度千米

即ち防衛司令部においては七時二十九分非常

警報を 發し同四十五分防空飛行隊に對し左の如く下令した

防空飛行隊は主力を以て大連市北側上空において、一部を以て大連市西南側上空附近に於て待機し敵機を求めて攻撃すべし

かくて七時五十分前後、右三山島附近並に旅順附近に現れたる重爆撃機各一機が大連

上空を 爆撃せんとするや第三、第一、第二高射砲隊（四十五發）並に第一、第三機關銃隊これに猛撃を與へ友軍の戰鬪機六機も急追したので多く目的を達し得ず寸時にして遁逃した、然るに八時三十五分ごろ瓦房店方面より來襲し來つた輕爆撃機二機、次いで重爆一機も東南より大連上空に突如現れたが後者は老虎灘方面を爆撃中わが高射砲隊に撃墜（想定）され、前者は高度五百米を保ちつゝ勇敢に爆撃を開始し寺兒溝石油タンクを爆撃したるも友軍の三戰鬪機は地上の攻撃部隊と

呼應し 決死的戰鬪を展開し寺兒溝沖に追込んだので敵機は叶はじと機首を東に向け三山島に爆彈を落して鬱憤をはらしたるのち同四十七分海岸線に沿うて退却した

敵軍の攻撃はあくまでも眞劍猛烈だ、朝鮮銀行建築物並びに忠靈塔附近にも敵彈投下されたとの報告さへ來る、八時二十分大連醫院裏玄關前廣場は毒瓦斯彈投下され防毒救護作業が防毒救護班大連醫院看護婦達の手により行はれた

八時卅分敵の重爆撃機二臺は悠々防護團本部上空に飛來本部附近に爆彈を投下したので我高射機關銃にて敵機一臺を射落したが

他の 敵機は初音町方面に逃げ我輕爆撃機は之を追撃目下交戰中の情報が入り殺氣立つた中に演習は續けられて行く

なほ八時廿二分光風臺線橋橋梁が燒夷彈瓦斯彈に見舞はれ長さ五間の橋脚三本を破壞されたが本部工作班の出動により約十分にて應急處理を終り八時五十七分には小崗子分團より榮町「トンネル」附近の電線切斷の報に電氣班が出動したがこれも直ちに修復されかくて九時解警された、その後敷島廣場其他の被害續々と起つたが何れも徴少に終り午後の演習に移ることゝなつた、なほ九時卅分大連警備隊岩崎大尉よりの通報によれば現在迄治安上特筆すべき損害なしと

猛烈な空襲に防護團大活動
市內隨所に本部から出動

快晴に明けた二十日防空演習の第二日は不意打ち空襲とあつて大連市防護團は六時半頃には既に地區分團の集合配置にかゝり午前七時には

全く 警備成り好天氣を利用して大連市を襲撃せんと飛來する敵機撃破の準備に餘念がない、防護團本部も既に七時には各部班員集合各部署に就く、斯くて午前七時二十九分非常警報は發せられ敵機襲來の報が來る八時過ぎから各分團地區より被害報告が續々と本部に達する

昨十九日艦隊敗北の頽勢を空襲によつて一氣に挽回せんとする

火焰に包まれた埠頭ビル 下は觀戰中の幹部（左から鏡山統監、菱刈軍司令官、小川團長、長谷部顧問）

演習の負傷者

防空演習にからまる尊き負傷者、中央分團防火班第九分隊長市內紀伊町五七藤沼誠一郎（五一）氏は十九日午前九時半自轉車にて管區巡視中、人力車と衝突轉倒左指骨關節を脱臼裂創を負ひ三浦醫院にて治療を受けたが全治約三週間の見込である

少女の防空献金

朝日小學校五年生澤田雅子、恩田君子、島鎭江、新宅静枝、武富賴子さんの五少女は十九日夕本紙夕刊五十部をヤマトホテル、遼東ホテル前で販賣賣上げ金一圓七十錢を二十日本社を通して防空献金した

埠頭再度襲はる
うらる丸見送り人多數負傷

二日目、いよ／＼防空演習は本格的な動きを見せ水上分團もさみに活氣を呈してゐる、猛烈な敵機の來襲は午前八時まづ活潑な爆彈投下となり要所到るところに燒夷彈毒ガス彈を投下空爆の效果を收めつゝあるが大連埠頭撃滅を目的とした敵機は埠頭ビル屋上上空に

悠々と 現はれ、防禦軍また高射機關銃の猛射を浴びせて彼我の間に素晴らしい攻防戰が展開され、やがて岸壁十區に催涙彈が投下され、うらる丸に一時性ガス彈が落下されて中毒者數十名を出す、この突風的な空襲に午前七時より各部署についた水上分團各班は防毒、防火、救命、救護に

手際の 好い活躍ぶりを示す、一方防護團の猛射に堪へかねた敵機は午前九時東方に去る、午前九時四十分再度大連港は敵の空襲に遭ひ甲埠頭十號倉庫西側に燒夷彈落下、火災が起き消防隊が馳けつけ漸く消し止めたが各方面よりの情報によると敵は六號及十號倉庫方面を目標に置いて居るらしく警報班では港町第九警歩哨より二名、三埠頭より二名の應援を得て手配をなす十時十分埠頭ビル入口階段に持久性ガス彈が投下され折柄うらる丸

出帆を 見送り中の市民の中に負傷者多數を出し救護班の大活躍となつた、尚ほ各班の活動ぶりを示せば

●●配給班——埠頭事務所勤務婦人社員並びに愛國婦人會の一行により約七百名の炊事一切が行はれ白のエプロンに赤だすき姿甲斐々々しく非常時らしい活躍ぶりを見せる

●●救護班——埠頭ビル前における毒ガス、催涙ガスによる負傷二十名、待合所玄關口における催涙彈の負傷六名、持久性ガス三名埠頭ビル前避難者數十名

●●●交通整理班——折柄うらる丸出帆で見送人多數が殺到したがこの機を覗つて空襲され一時は混亂に陷つたが同班の活躍で大過なかつた

●●防火班——十號倉庫西側の火災を僅か五分で消止める

埠頭ビル猛火に包まる
菱刈長官も觀戰

大連港爆撃を目的とする敵機は執拗にも午後一時再度大連港上空に姿を現した、見る間に防護團側の猛射も效果なく巨分な燒夷彈は見事に埠頭機關の中樞をなす埠頭ビルデングに落下見る／＼うちに埠頭ビルは猛火のうちに包まれ各階の窓からは黒煙を吹き物々しい大事を惹起した一方防護團側では埠頭ビル襲撃されると

同時に 防火班の活躍となり消火につとめたが何分入口をふさがれたため埠頭ビル內は大混亂を呈し負傷者並びに死者の數は夥しく、しかも逃げ場を失つたビル勤務者は正に焦熱地獄の苦しみを受けたが救命袋、救命梯の活躍でどうやらその大多數は救助し得た、一方火災の擴大を恐れて

直ちに 本部に向け急報こゝに文字通り防空防火の大演習が行はれた

この時鏡山統監は菱刈軍司令官と共に來り玄關口において防火救命作業を終始熱心に觀戰するところあつたが、約十分にして鎭火、負傷者は救護團員の手で救護所に運ばれ實戰以上の效果を收め同時に更に敵機の來襲を防ぐ意味で海上並びに陸上に數十本の煙筒を放ち煙幕作業を行つた、さしも廣大を誇る大連港が

瞬く間 に煙のうちに包まれたが、この間菱刈司令官はすこぶる滿足氣に埠頭ビルより觀戰した

滋强飲料 セーピス

菱刈軍司令官戰線を視察

菱刈關東軍司令官は廿日午前九時旅順防空演習視察のため日下、大場兩局長、鹽原秘書官、今岡副官を帶同先づ要港部を訪問、司令官應接室に於て枝原司令官から種々說明を聽取、同四十分港務部に到り同部を視察、次いで海軍病院に於て患者の慰問をなした後、自動車で市內各所における防護團の活動の實況を視察、十時二十分旅順ヤマトホテル前に於いて港務部の防毒演習實況を視察、十一時一應官邸に歸還し同五十分發大連に於ける防空演習巡視のため赴連した

鏡山統監視察

防空演習鏡山統監は二十日午前九時防空演習滿鐵本部に姿を現し、約十五分間滿鐵の防空施設について說明を聽き更に滿鐵通信本部での情報、警報の傳達狀況を視察、それより鐵道工場分團總合演習の視察に赴いた

小川團長の視察

小川防護團長は不意打ち空襲の二十日午前七時には嶺前小學校なる第三地區分團本部を視察、同八時よりは千代田町交番附近、大連醫院郵便所附近の各班作業を視察、小崗子分團本部、沙河口工場、第一地區本部、中央分團本部等を巡視十時半本部に歸つた

あすの行事

明二十一日は未明の大空襲を六時半ごろ終りて左の如く行事あり、演習を閉ぢる筈

▲七時より八時迄　野外演習參加團體の觀兵式、大連運動場西方の廣場にて、實施者は演習統監
▲八時半より九時半迄　大連運動場前東方の廣場にて、團長の大連市防護團閱兵、大連市學校生徒の防空獻金式
▲十時より十時半迄　同上にて演習統監の防空演習講評、團長の防護團に對する訓示
▲十一時より演習統監の野宴　二中校內にて

砲聲と爆音
旅順全市を壓す
演習第二日の壯觀

防空演習第二日旅順市は前日殷賑に亘る敵機の襲撃に依り高層家屋主要建築物の爆撃、毒瓦斯の撒布にて死傷者多數を出し（假想）婦女子老人等はいづれも安全地帯へ避難させ全市は全く防護團員に依つて固められた、防護團本部並に要港部戒監部では

徹宵 警戒中午前六時五十分突如警報は防衛本部より達し五十五分早くも營城子防空監視所より「敵機見ゆ」の警報がある、間もなく友軍戰鬪機は既に旅順上空を警戒飛行中敵機影を望見するや直に戰鬪姿勢を以てこれを邀撃せんとし

彼我 の飛行機は刻々增加し七時十二分には旅順防衛の任に當る砲兵陣地、機銃陣地より一齊に猛射を浴せ砲聲殷々、銃火閃々たり、この間執拗にして勇敢なる敵重爆撃機は旅順高等女學校に爆彈を投下、引つゞき毒瓦斯彈の投下で大慘狀を現出した、これによつて本演習の第二目的たる綜合訓練中の「一ケ所の火災場に對し隣接分團共同防火防毒の演練」が行はれ第十一分團（明治町派出所）の防火防毒作業に對し應援隊派遣の

連絡 を行ひ隣接分團第十分團（千歳町派出所）は一齊に現場に馳け付け防毒防火に努めた時に九時十分、此の時敵機は既に北方に移動し友軍飛行機亦敵機を追跡しつゝ彼我の爆音を遙かに北面の青空に響かせつゝある際、一敵機は再び鯖江町上空に現れ本社旅順支局に對し爆彈、毒瓦斯彈を投下、第五分團（迎町派出所）第七分團（東洋町派出所）は防毒、防火班の應援隊と共に消火防毒に努め五分餘にして全く防遏する事を得た

遼河支流氾濫し通遼驛浸水
交通杜絶、情勢憂慮さる

通遼驛西方の遼河支流は去る五日以後漸次增水しその後一時小康を保つてゐたが十九日午後六時ごろから俄然增水甚だしく遂に通遼驛構內に浸水驛は水びたりとなり浸水六尺、しかも驛と市街との間は奔流溢れて交通全く杜絶し列車の運轉また不能に陷つた、關係員必死の防水も效少なく驛には避難民が押かけ事態憂慮すべきものがあると、なほ廿日午前十時滿鐵々道部入電によれば水はます／＼增水しつゝある

苦力頭斬らる

二十日午前零時三十分市內西町一四〇番地苦力頭明佐田（五二）方の表戸を破壞、侵入した怪漢あり、明が目醒めて誰何するや矢庭に所持の短刀で胸部外數ケ所を突き刺し逃走した

大連署司法係で取調の結果、一物も盜まれてならぬところから見て怨恨による犯行と見られ目下犯人嚴探中、尚被害者は生命に別條ないが可成り重態である

佐賀縣下炭礦爆發

【長崎十九日發國通】十九日朝九時佐賀縣東松浦郡相知村相知炭礦第二坑で瓦斯爆發し死傷數十名を出したが、詳細不明にて目下取調べ中である

英船海賊に襲はれ日英人乘客船員ら拉致
塘沽から芝罘に向つた順天號

【天津十九日發國通】英國總領事館への來電に依れば十七日午後塘沽發芝罘に向つた英國汽船順天號は途中同日午後八時海賊の襲撃を受けて占領され黄河支流河口に待受けた戎克五隻に掠奪品を積込まれると共に同船乘客山本富一並にフキルド、ルース兩英國海軍大尉、英國人保險會社員ニコルス、乘組英國船員二名の計六名及び支那人二十名は人質として戎克に乘せられ拉致された、順天號の無電急報に依り日英兩當局は山東省當局に急遽搜査方を要請した

天氣予報

二十一日
西の風晴後曇
滿潮（午前四時二〇分　午後四時二〇分）
干潮（午前一〇時四五分　午後一一時一五分）

各地溫度（二十日午前十一時）

大連	二五	奉天	二七
旅順	二七	新京	二九
營口	二六	新義州	二八

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百二十四圓六十錢

母フデ儀豫て病氣中の處藥石無効十九日午後十一時五分死去致候間此段生前辱知各位に謹告仕候
追て二十二日午前十時自宅出棺途中行列を廢し若草山東本願寺に於て告別式執行仕候
嗣子　佐野藤太郎
　　　佐野興一
親戚總代　佐野宗一郎
　　　　　脇谷常次郎
友人一同

株式會社正隆銀行公告
昭和九年七月一日ヨリ第五十三回定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換停止仕候
昭和九年六月二十日
株式會社正隆銀行

七寶の柱（33）

小島政二郎

岩田専太郎畫

二度目の初戀（二）

うつすらお化粧をしたかなるが棧橋に立つて、大勢の出迎人の中に混つて、ハンケチを振つてゐた。

速力を落しながら、悠々と近附いて來る紅丸の甲板は人で一杯だつた。その中から、かなるは、瀟洒な洋服姿の三枝の姿を逸早く發見してゐた。彼は、朝の青空を背景に、かなるに向つてパナマを振つてゐた。

「よく來て下すつたわね」

「遠いねえ」

二人は人に押されながら手を握り合つた。

彼等を乘せた自動車は、間もなく流川通りを走つてゐた。

「私には、蝶子ってお目付が附いてゐるのよ。旨く鼻藥をかつてれ」

「大丈夫かい？」

「大丈夫よ」

宿に着くまで、二人は目を見合はせては嬉しさうに笑つた。手は握り合つたままだつた。

かなるは、三枝の荷物を二階の自分の部屋へ持ち込ませた。

東京の話、途中の汽車の中での話、汽船の中での話、後から後から三枝の話は盡きなかつた。

「憎いわ、そんなに一時に聞いてしまふの。一ツ風呂浴びてらつしやいよ」

うしろへ廻つて、宿の浴衣を着せ掛けながら、かなるが云つた。

三尺を締めてゐる間に、かなるはカバンを明けてシヤボンと、手拭と、タオルとを出してゐた。

「いゝわ」

案内に女中の立たうとするのを斷つて、かなるはタオルを腕に掛け、手拭でシヤボン箱をくるんで

「こつちよ」

と、先に立つた。

「なか〳〵大きな宿だね」

「いゝでせう」

男が湯に這入つてゐる間、かなるは板の間に蹲んで、——二人はそれからそれへと會話を斷たなかつた。

「あ、あなたライカ買つて來て下すつた？」

「買つて來たとも」

「まあ嬉しい。——待つてらつしやい、今持つて來て、あなたの裸體を寫して上げるから」

バタ〳〵かなるは驅出して行つたと思ふと、間もなく寫眞器を持つて歸つて來た。

「フィルム這入つてんでせう？」

「ああ」

「あら、四と出てゐるけど——」

「途中で三枚ばかり寫して來たんだ」

立て膝の上へライカを据ゑて

「厭だわ、背中なんか寫したつて始まらないわ。何とかポーズお取んなさいよ」

三枝はわざと正面を向いて、背中を丸くして、お爺さんのやうに目をショボ〳〵して見せた。

「駄目よ、ふざけちや」

身を翻したと思ふと、パチヤンと湯船の中に飛び込むが早いか、オールバックをバラリと額に垂らして

「はい、河童」

同時に、かなるがシヤツターを切つた。

「厭だぜ」

「ホホホ」

三枝は寫眞器を奪ひに、湯船から飛び出して來た。

「ホホホ」

子供のやうな高い笑ひ聲を立てて、かなるは浴室から逃げ出して行つた。

お斷り　「七寶の柱」挿畫三十二回と三十三回の分と入れ違ひましたから訂正します

「丹下左膳」本日休載

ロイヤル・ボックス

日活を繞つて奉天映畫街騷ぐ

奉天館の直營不可能

奉天における日活映畫の上映は過去十五年間の長きに亘つて右田氏が賃貸契約を結んでなり、右田氏は最近では一月千五百圓の賃貸料を日活に支拂つて奉天館の油井氏と提携松竹映畫ー映館平安座、新興映畫上映館新富座に

對抗　奉天映畫街の一勢力となつてゐたが、過般中谷日活社長が濱田滿洲出張所長と共に奉天を視察した結果、現在奉天館があげつつある成績、並びに今後の奉天の發展より見て奉天に直營館を置く必要を感じ、濱田出張所長は中谷社長の命を受けて先月末來しば〳〵奉天館側右田、油井兩氏と會見、賃貸契約解消、奉天館の日活直營を要求したのであつた、このため日活側よりは奉天館側に對し月額三百五十圓の利益配當をする旨

條件　を持ち出したのであるが、奉天館側はこれを承諾せず遂に十七日兩者の協定成らずして喧嘩別れとなり、日活館は斷然この際新陣容を整へるため本月二十一日限り日活映畫の配給を引き上げると宣告した、かくして日活映畫は二十一日限り一時奉天より姿を消すことになつたが、十五年間の長きに亘る契約を踏みにじられた右田氏は飽く迄日活に對して屈服せず、二十一日より

他の　會社の映畫を奉天館に入れるべく十八日來連、在連映畫關係者某々二三氏と會見したが某社映畫の獲得に成功した模様で二十日奉天に引返した、一方日活側では奉天演藝館に對し館賃貸を申込んだが演藝館は奉天館の苦境に同情して一ヶ月一萬圓といふ法外な條件を持ち出したため日活側では手の出しやうなく、當分日活映畫の奉天上映は不可能と見られるに至つた

松竹下加茂作品 〝街の颱風〟

中央館上映々畫紹介

松竹蒲田の秋山耕作監督が「淺太郎赤城の山」に次いでメガホンをとつた映畫で、阪東好太郎と飯塚敏子の主演で、これにミス大阪として下加茂に迎へられた娘役の堀江清子が第一回出演してゐる、本來ならば當然呼び物として堂々と宣傳される筈のものであるが、京阪神はもとより大連までお涙映畫「地上の星座」の後篇星座篇と組んで發表されたため前寫しにされてゐる

藝者から妾へ、そして寄食暮しの足を洗つて浪人横手の妻になり子までなしたお雪は金に窮して再び藝者となり、置屋の用心棒梶雄二郎に戀をおぼえる、その上子供が死んでしまつたので邪慳な横手と別れて梶と一緒にならうとするが梶には正雪一味の殘黨風間の妹おしのといふ愛人がある、おしのが横手の惡計から曖昧屋に賣られその上横手の密告でおしのの兄風間が幕吏に捕はれやうとした時お雪は梶、おしの、風間の三人を救つて淋しく戀をあきらめる

陰慘な浪人生活——主人公梶は浪人で藝者屋の用心棒、横手は女房を藝者にして食つてゐる浪人、風間はお尋ね者の浪人、そして朗かな人生觀を持つ梶の友人社堂金太郎も浪人だ、原作脚色の柳川眞一は全ての物語りを浪人生活の種々相によつて描き出さうと努めてゐる、一つの浪人と云ふ世界にもこれだけ違つた人生があるんだ——と云ひたいのだらう、然し何となく白々しいものがある、デカ〳〵と物語を飾り立てゝゐる割に效果がないと敢て云ひたい、一體この映畫は原作者が力んでゐる割に力が入つてゐない感がある

秋山耕作の演出も、いろ〳〵と充分に用意してゐることは買へるが、原作にとらはれすぎて機械的な動きが多く生硬さが目立つ、もう少し感情に浸み込むものがほしい、阪東好太郎、飯塚敏子も大して述べ立てる程の演技は見せぬ、殊に好太郎の梶はお雪（飯塚敏子）を愛してゐるのか、おしの（堀江清子）を愛してゐるのか、性格に判然としないものがある、ミス大阪堀江清子はズブの素人といつた感じが重過ぎる、寧ろ小林重四郎の横手、山路義人の社堂を賞めたい（S）

◇◇愛刀小松五郎◇◇　國定忠次が未だ若かりし頃、代官殺しの界隈から人を斬るのは劍でなく度胸だとおしへられ、愛刀小松五郎をひつさげて島村の伊三郎方に乘り込み、鐵火の度胸で伊三郎の首をはねる、日活時代劇瀧口新太郎、大倉千代子主演映畫（日活館上映）

滿鐵會社八年度業績

情勢の變化に惠まれ

前年對實質增益二千四百萬圓

株主總會席上 八田副總裁報告

滿鐵會社は二十日東京において第三十三次株主總會を開催したが、左記は同席上同社八年度營業成績について八田副總裁の報告にかゝる全文である

本年度における總收入は二億四千八百萬圓、總支出は二億五百八萬圓、差引利益金は四千二百九十二萬圓となり、之れを前年度に比較すれば千八百三十六萬圓の收益減少であるが、併し前年度利益金六千百二十八萬圓中には滿洲國鐵道借款利息四千二百七十七萬圓を貸付金元本に振替へた收入が含まれて居るので、これを除外すれば本年度の方が二千四百四十一萬圓の增加を見ることになつて居る、八年度營業收支の事業別內譯は損益計算書記載の額であるが、今其の主要なるものを示せば鐵道業の益金は八千百六十萬圓で之を前年度に比較して千百十六萬圓の增加である、其の增收の主なる原因は乘客の增加に依り

客車收入 に於て三百九十四萬圓、貨物數量の增加に依り貨車收入に於て九百二十四萬圓、其の他の收入に於て二百六十四萬圓の增收を見、合計千五百八十三萬圓の收入增加となり、一方支出は業務量の增加に伴ひて四百六十六萬圓の增加となり、結局前述の益金增加となつた次第である、次に旅館業は十二萬圓で前年度に比し八萬六千圓の益金增加、港灣業の益金は四百三十四萬圓で前年度に比較して四萬二千圓の增加を示した、次に鑛業の益金は五百七萬圓で、之を前年度に比すれば四百九十三萬圓の增加である、增加の主なる原因は炭況の好轉に伴ふ地賣及輸出炭の需要增加等に依り千五百八十八萬圓の增收を見、又一方支出に於いて販賣數量增加に伴ふ經費增加を來した爲め結局前述の增加となつた次第である、製油業の益金は八十二萬圓で前年度に比較し二十八萬圓の增加、主なる原因は重油及副產物の販賣數量の增加並に副產物の値上りに依る、製鐵業は昭和八年五月末日昭和製鋼所に讓渡したため四、五月の二箇月の營業期間で其損失金は五十四萬圓となり前年度に比し三百卅五萬圓の損失減少となつた、地方經營に依る收支差額は九百三萬圓の損失で前年度に比し百十萬圓の損失減少、此原因は附屬地の發展に伴ひ醫院收入、水道收入其の他の收入增加があつた爲である、總務費收支差額は七百八十四萬圓の損失で前年度に比較し百四十二萬圓の損失減少、其の主なる原因は一方に於て株式募集額面超過金其の他の收入で九百六萬圓の

收入增加 を見、他方に於て所得稅、英債扇替等の臨時支出其の他で七百六十四萬圓の支出增加あつたに因る、次に利息收支は千二百十四萬圓の損失で前年度に比し三千百八十六萬圓の損失增加となるが七年度は滿洲國鐵道借款利息を收入に計上した關係あり之を除外すれば却て千九十一萬圓の損失減少となる主なる原因は預金利息、新線工事中の金利收入等の增加があり、社債利息、預り金利息其の他の利息支出に於て何れも減少を見たが爲である、次に資產償却及除却に於ては千九百十八萬圓を計上致し、之を前年度に比較して八百九十一萬圓の增加となつて居る主なるものは社債差額塡補金其の他特別償却等に依る、なほ昭和八年度中に低利借替せる社債の總額は一億一千七百十萬圓で、折柄の金融緩漫を利用し機會ある每に鋭意借替を實行した、此の低利借替に因る利息負擔輕減額は年額約百八十萬圓に及ぶ、次に八年度事業費の大要は、八年度事業費認可豫算額は千五百三十三萬圓、繰越豫算額は五百五十二萬圓、追加豫算額は二千二百五十萬圓、合計

豫算總額 四千三百三十五萬圓でこの內二千九百十七萬圓を支出した、これを前年度に比較すれば豫算總額において二千百四十五萬圓、支出額において千三百四萬圓を何れも增加して居る、事業費支出額二千九百十七萬圓の內譯は鐵道に於いては連京線及び安奉線の輸送能力增進施設、雜線の新設、瓦房店大石橋間の自動信號裝置新設、車輛の新造及び改良等其の主なるもので千廿五萬圓を支出した、旅館に於いては新京ヤマトホテル增築が其の主なるもので四十七萬圓を支出した、港灣においては鶴見埠頭施設、羅津埠頭施設等その主なるものでて三百三十三萬圓を支出し、炭礦は撫順炭礦の露天掘剝離工事並びに剝土剝岩運搬用軌條及び業線工事、電氣機關車及び電氣ショベルの新造等その主なるもので七百二十二萬圓、地方施設は奉天第六小學校新築、新京醫院傳染病棟の新築、新京及び鞍山兩市街の給水施設、大連大豆油酒精抽出工場の新設等その主なるもので五百四萬圓、その他各地社宅の增、改築、本社事務室の增築等で二百六十六萬圓を支出した、尙昭和九年度事業計畫の概要は當社は過去數年只管緊縮の方針を以て臨み、事業費の如きも極力節減して來たが、今や滿洲國は着々と進行し、諸般の施設は益々發展し、各種の事業も亦勃興の機運に向つて來た、此の時勢の進運に鑑み必要不可缺のものを愼重審議し、繼續事業費一千八百餘萬圓、建設改良補充費其の他に五千百餘萬圓、合計六千九百餘萬圓の事業費豫算を計上して居る、其の主なるものは鐵道の

複線工事 其の他の輸送能力增進施設、機關車客車、貨車等の車輛を始めとして港灣では羅津港の築港、炭礦では露天掘、坑內掘の施設、發電所施設等である、右事業費の外滿洲國鐵道新線建設費並に滿洲國鐵道既設線改良費に約一億圓を支出する見込、其の他目下建設中の昭和製鋼所設備及び滿洲化學工業の設備等關係會社に對する投資見込額も三千四百餘萬圓に達して居る、右は何れも社業の發展に伴ひ必要不可缺のものであるが、相當多額の新資金を調達致さなければならぬので、後刻議案として社債募集の件を附議し株主各位の御承認を願ひたいと存する。

特に見逃せぬ 資產償却費計上

內容の充實を如實に語る

滿鐵の昭和八年度決算は二十日の定時株主總會において可決されたが、同年度は滿洲の建設景氣と內地の好況との影響を受けて社業振ひ就中鐵道、鑛業等の純益激增したゝめ本年度の總收入は二億四千八百萬圓で前年度に比し二百六十萬圓の增收となつた、これに對する總支出は二億五百八萬圓で前年度に比し二千四十二萬圓の增加を見たため、結局前年度に比し收支差引において千八百三十六萬圓の純益減となつた、しかし前年度における滿洲國借款利息四千二百七十七萬圓および本年度における株式募集額面超過金六百二十一萬圓を除外して見た場合の營業純益金は前年度に比し千八百二十一萬圓の增となつてゐる、八年度決算中において見逃せぬ點は資產の償除却費二千九百二十五萬圓(昨年度より千八十一萬圓增)を計上した事でかゝる巨額の償除却を行ひながら八分配當を行ひ更に三百萬圓の特別積立金を行つてゐるのだから、八年度の滿鐵業績が如何に內容充實してゐるかを知ることが出來るなほ八年度事業費は原豫算は千五百十三萬圓だが社業擴張のため、追加豫算に二千二百四十九萬圓をとり、前年度繰越五十五萬二千圓と合して四千三百三十四萬圓を計上したが、この內決算額は別項の如く二千九百十七萬圓であつた、から剩餘額五十六萬圓と合して結局九年度に千三百六十一萬圓の事業費を繰越してゐる

八年度利益金處分

科目	金額
本年度利益金	四二,九二〇,五五四圓
前年度繰越金	七,三四八,七二一
計	五〇,二六九,二七五

右處分左の如し

科目	金額
法定積立金	八,〇六〇,〇〇〇
政府配當金	一〇,七六五,六九〇
政府以外株主配當金	一四,一四六,一三三
同上第二配當金	四,七一五,三七四
特別積立金	三,〇〇〇,〇〇〇
役員賞與並交際費	四〇〇,〇〇〇
翌年度繰越金	九,一八二,一五九
合計	五〇,二六九,二七五

なほ八年度營業收支決算並に事業費豫算支出額を左に揭ぐ(△印損失)

八年度營業收支決算

科目	收入	支出	損益
鐵道收支	一一九,六七六,七四二圓	四三,九一〇,三八七圓	七五,七六六,三五四圓
旅館收支	一,三三六,一三一	一,三四九,九六六	△一三,八三六
港灣收支	一三,〇三三,五九六	九,八一六,五九五	三,二一七,〇〇一
鑛業收支	七〇,九七六,〇三一	六五,九五九,六六〇	五,〇一六,三七一
製油收支	五,二七七,一〇六	四,四五一,六〇九	八二五,四九七
製鐵收支	三,〇三九,六六五	三,五八三,九四六	△五四四,二八一
地方收支	六,一〇四,五八六	一六,八五四,七四〇	△一〇,七五〇,一五四
總務收支	一〇,八六五,九八四	二九,三九六,二五二	△一八,五三〇,二六八
利息收支	一六,四二一,八九六	二八,五五七,九六七	△一二,一三六,〇七一
合計	二四八,〇〇一,七二七	二〇五,〇八一,一七三	四二,九二〇,五五四

八年度事業費豫算支出

科目	金額
鐵道	一〇,二五六,四〇九圓
旅館	四七六,九六六
港灣	三,三三九,一七九
炭礦	七,二三三,二七五
製油工場	一九〇,〇二六
製鐵所	一,二一七,一九一
地方施設	五,〇四六,一二六
雜施設	二,六六五,〇一〇
合計	二九,一七二,一七三

重要物產組合が取引條件改正要望

全國製油業聯合會に

滿洲國新鐵道の建設に伴ひ北滿產の雜穀類は著るしく情勢の變化を來し、蘇子、小麻子、胡麻等の品目を增加するは勿論、內地側との取引關係においても輸送徑路の變化をみたが、從來約定した取引條件にはこの北滿の事情が加味されてゐないので、滿洲重要物產組合では曩に日本全國製油業聯合會に對して北滿事情の變化による規定の改正方を申込むところがあつた、改正要點は

一、北滿產製油原料の銘柄を增加すること(蘇子、小麻子、胡麻)

二、積載量を變更すること

三、積出に關係する爲替日數の件

その他である、右に對し內地側では規定の改正は素より何等異議なきところで欣然承諾するが、その前提として

一、新麻袋を使用されたき事

二、挾雜物含有量を低下されたき事

を求むる回答が十八日到着したので重要物產組合では近く役員會を開き、內地側の要求する前提條件につき協議する筈である

新京煉瓦軟弱

生產過剩の爲

【新京特電二十日發】國都建設の旺盛に連れて新京に於ける窯業工場は邦商一八、滿商五一、日滿共同一五、計八十四工場にて事變前に比すれば實に四十數工場の增加であり、一箇年の製造能力も邦商一億二千餘萬個、滿商八千萬個、日滿共同二千二百餘萬個、合計二億二千二百餘萬個の多額に增加し土木、建築事業の隆盛に從つて價額も漸騰するものと觀られてゐたが、新建築も豫想程に出でないため一個一錢五厘五毛乃至一錢六厘を唱へ軟調を示してゐる

三品仕手戰で

綿糸奔騰

大阪三品市場における綿糸は當限に對する適品薄を目がけた仕手の策動により、連日強調を辿り實勢を無視した新高値を示現しつゝあるが二十日前場の如きも米棉現物二十ポイント高、先限二十三、四高、印棉一留比高、米日爲替同事と好材を入れ、當限受渡切迫を控へて玉攻めの戰法に出た仕手の進みに、賣方踏み圍きをみたもゝ如く當限は寄六圓三十錢高引け更に三圓高の二百七十三圓と新値に奔騰し、中先限も五六圓高を暴騰を演じ大連商品市場もこれにつれ期近物には滿商側の煎れ物あり、先物には大手筋マバラ筋の規買物殺到し商內活況を呈した

中國銀公司

西北分公司設置

【上海特電二十日發】愈々七月一日から正式に營業を開始する中國建設銀公司は同時に西北分公司を設立することに決定したが、該公司の事業は宋子文が最近同地方面を視察調査の上投資に關する一切を計畫準備する筈である

スラバヤ實業協會

民間交涉に反對

【バタビヤ十九日發國通】政府交涉と並行又はこれに代つて民間商議が計畫されてゐるとの情報が傳へられたので、當業者連は民間商議で不利を招くを懸念し、スラバヤ實業協會は政府交涉が進捗せぬのに、民間會商に對しては絕對反對であると決議、二十日代表者バタビヤに來り協議の筈である

特產各品共 爰許一服狀態

市場は無味閑散に推移

端境期までには尙一旬餘を餘して居るに拘らず、最近の特產取引は早くも夏枯商狀の色いよ〳〵濃厚となり、相場は釘付となつて動かず、取引も頗る振はず無味閑散裡に推移してゐる、先月三十日突如としてドイツが製油原料の輸入禁止を行つて以來ドイツからの滿洲大豆に對する買氣は全く杜絕に陷つたがイギリス、オランダ方面の買氣が弗々あるに加へ頃來北滿地方の降雨續きによる水害を懸念して賣物薄と大豆の在荷漸減を眺めて市價は却て騰勢を辿つてゐたが、遼江、第二松花江、拉林河の水量も減退したとの入報があり、自然賣物も出る有樣で相場は全く保合を呈するに至つた、然しながら歐洲方面は素より日本內地、南支、南洋各方面共買氣薄の折柄であり、在荷薄による賣惜みと相俟つて取引は必然的に閑散となつてゐる、豆粕も內地側の買氣が一服狀態の儘人氣依然として回復せず夏枯期に入る有樣であり豆油、粱も又殆ど同樣の狀態に置かれ輸出業者として無味閑散を嘆じてゐる

東拓利下內定

【京城特電二十日發】東拓會社定期預金利下率は銀行側との均衡を考慮し、二厘五毛下げの四分一厘五毛と內定した模樣である

地金相場反騰

【京城發】京城市中地金相場は地高と手持筋の賣惜しみとにより賣買共各五錢高卽ち賣値十一圓十五錢買値十一圓十五錢に引した

一月來不渡手形

大連手形交換所に於ける本年一月以降の不渡手形左の如し

月	人員	枚數	金額
一月	六	六	三、七八〇
二月	四	四	四六〇
三月	〇	〇	
四月	一	一	五〇〇
五月	三	三	四、七〇〇

北滿の河川工事と農耕地の開發(三)

滿鐵經調囑託 ウヰニアコウスキー

簡單に申せば堰堤を築造する結果、斯くの如き重要なる利益を齎すのであるからその工事を可及的速かに開始せねばならぬ事が明瞭である、左もなくば不斷に河川氾濫の危險ある國土に來て巨額の資金を投ずる事は賢明ではない、植民や工業によつて森林を伐採する爲めに、自然雨水がこれ等空疎の山地より多量に且つ非常な速度で押流されて、益々頻繁に河川の氾濫を起し、且つ災害が甚だしくなる、ここは滿洲の悲劇である、然し、堰堤を設ければ、貯水池より河川に流出する水を完全にコントロールする事が出來る、從つて安價な電力のお蔭で諸工業が發展を誘致される、同時に亞麻と小麥の栽培をすれば、之に依つて現大豆輸出不振のため被つてゐる損失を償に取戾す事が出來る。

◇

然し乍ら、此等利益の大部分はたゞ一つの主要なる條件の下に於いてのみ可能である、卽ち運賃の低廉である、而してそれは世界何處の地に於いてもたゞ水路によるのみだ、故に以上の計畫と同時に水路を發達させねばならぬ、これは鐵道と相俟つてその實現を企圖せねばならぬ、水路の重要性は、例へば大戰前のロシアに於ける前交通省の報告を見れば首肯される卽ち當時ロシアにおける鐵道の平均運賃は一キロ噸〇・八八金コペークであつたが水路によれば〇・二二——〇・二八金コペークに過ぎず、卽ち三乃至四分の一位にしか當らなかつたのである、ロシヤにおいては、貨物總噸數一億二千三百萬噸の中七〇%は鐵道輸送により、三〇%卽ち約三分の一は水運によつたのであるが、これによつて每年數百萬留を節約した、滿洲國において水運を發達させれば斯やうな割合の節約をなす事が出來る、而も現在に至るまで殆ど注目されず關心を持たなかつたまゝ推移して來た。

◇

松花江上流の河船は、旅客用船一〇三と一八八艘の漕船があつて約十萬噸の貨物と一七、七八四人の乘客を運搬して居るが、此等の河船は松花江下流より次の如く貨物をハルビンへ運搬して來る、而してこれは滿洲の發展を物語つてゐる(單位千噸)

年	千噸
一九二四年	二六八
一九二六年	四六八
一九二七年	五八〇
一九二九年	七〇四
一九三一年	七〇三
一九三三年	七三八

卽ち運送貨物は、十年間に三倍となつてゐる、若し現在交通機關缺如の爲め、人口稀薄な松花江ウスリー江間及佳木斯、富錦以北の肥沃なる大地域を考慮するならば、次の十年間にも同じ事を期待せねばならぬ、滿洲は廣大なる爲め水路のみならず幾多の鐵道を要する數年間は鐵道や水路工事が多過ぎる程あるであらう、近き將來に圖們驛より東京城迄鐵道を建設して牡丹江と羅津港を接續し、之を東京城より寧安を通過して松花江岸の富錦又は佳木斯まで北方へ延長し、依蘭へ支線を出す事が望ましいのであるが、此等の鐵道が建設されるならば左の如き距離となる

一、東京城——羅津 三四〇粁

二、同 ——依蘭 三六五粁

然して運河開鑿後右區間を牡丹江に依れば同江岸は小地なるが故に鐵道は東方へ迂回せねばならぬのであるが、これは競爭を少くして廣大な地域を開發する事となる、故に依蘭より羅津までの鐵道距離は七〇五粁となる、比較を申せばハルビン拉法——羅津までの鐵道距離は七四四粁、ハルビン——依蘭を松花江によれば三三九粁、ハルビン——浦鹽七八二粁、ハルビン——大連九四一粁となる、運賃は一九三二年東支鐵道は一粁噸一・六五金コペークで松花江河船は〇・四九であつた。

◇

近き將來に於て牡丹江運河だけでも百萬噸の貨物を取扱ひ、新鐵道の一キロ噸運賃を一金コペークとし、河船の運賃を現在の松花江河船よりも安く經營して〇・三三金コペークとなるならば、依蘭より羅津百キロ噸の運賃は次の如くである(現在貨物は依蘭よりハルビンまで水路で運搬されるが、將來は東京城迄運ぶ)

依蘭——東京城鐵道運賃
1,000,000噸×1金コペーク×365粁=3,600,000金留

依蘭——東京城水路運賃
1,000,000噸×0.33金コペーク×365粁=1,072,500金留

卽ち約二百五十萬金留の節約となるのである。(つゞく)

黃塵

◇…特產市場近ごろ相場は釘付、取引は閑散、當業者は何れも閑散を喞る、原因は品薄からの賣惜しみと買氣薄、これぢや市場も閑な筈だ、それにしても時期が早過ぎる。

◇…米國がドイツのモラトリアムに正式抗議をなすべく駐獨大使に訓令した、債權國としては然るべきことだがそんなことで抗議を受けるほど生優しくないナチスだ、この角力どうも勝負に勝味がない。

滿洲日報

夕刊共十二頁

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

『日本の比率更改要求 論理的根據を缺如す』

米プラット提督の僻論

夕刊所報——元米國海軍作戰部長たりしプラット提督は日本海軍の絶對要求たる比率更改に對し絶對反對の意見を有するものたることを明かにした論文を米國の有力なる外交雜誌フォレン・アフエアーズ七月號に寄せた

【ニューヨーク十九日發國通】プラット提督の論文要領は次の如くである

世界の 海軍問題を仔細に檢討すれば日本政府が英米兩國に對する現行海軍力比率の更改を主張しその引き上げを考慮する論理的根據が全然存在しない事が分る日本政府が海軍力を實質的に增力する事を要求するのは決して國際間の不和を促進せず、且均等權要求並に安全保障の原則だけでは到底比率更改の充分な論據とならない、然し乍ら日本は他の

諸點に 付いて各國と均等の待遇を受けるのは當然の權利を有して居り此の權利が正當に認められざる限り太平洋上の緊迫した空氣は解消しないであらう、日米兩國が互に相手國の權利を尊重し條約上の義務を遵守し且通商戰を始めぬ限り日米兩國間の親善關係が維持できぬと

いふ理由は更に無い 技術的政治的考慮は別としても現在の經濟的情勢が一九三五年の海軍々縮の會議に重大影響を及ぼす事は確かだ

現實の 情勢如何乃至その論理的團結如何よりも懸案處理に當る者並に當業者相互間の態度如何がより以上交渉の結果を支配する事とならう

ナチスの內訌 呆氣なく幕となる

パーペン副總理淡白に讓歩

【ベルリン十九日發國通】ヒットラー內閣の副總理フォン・パーペン氏の演説を巡りナチス政權は重大危機に直面したが十九日ヒットラー首相がパーペン氏を招致特に水入らずで胸襟を開いて會見を遂げた結果問題の演説は特別な個人的團體を相手にしたもので新聞紙上に公表するに適しないと云ふ事に意見一致結局パーペン氏の讓歩で事件は落着した、斯くしてナチス內閣の內訌はゲッペルス宣傳相の勝利で呆氣なく幕となつた

特別大演習の日程

【前橋十七日發國通】十一月群馬縣下に擧行の陸軍特別大演習に關し調査に來た參謀本部庶務課長牟田口中佐、大金侍從は群馬縣廳で參謀本部、宮內省聯合發表として左の公表を爲した

十一月四日 參加部隊集合完了
同十一日 演習第一日目
同十四日 觀兵式
同十五日 解散

尚十四日有資格者に御賜餐あり大本營は群馬縣廳、統監部は前橋市、賜餐觀兵式場は高崎砲兵第十五聯隊、大演習後地方行幸の御豫定であると承はる

演習統監——與金町附近にて鏡山統監

延命工作の翰長と法相の意見對立

閣內の不統一を增大

【東京特電二十日發】大藏省疑獄事件に關し閣僚中にはいはゆる中間報告の遷延が政局不安の原因なりとし、また政府の進退に關しても最早遷延時を移すべきにあらずとの意見を藏してゐるに拘らず、一度閣議の席となるや一樣に口を緘して同問題にふれるのを避けてゐることは異樣の感を與へてゐる、殊に政府の延命工作を代表してゐる堀切書記官長の見解と、小山法相の見解とは全く對立し最近は感情的にも益々背馳の傾向にあり、堀切氏が法相引退の後釜を狙ふ意圖ありとも傳へ閣內不統一を益々增大するので政局を更に危機に導くものとされてゐる

政局不安を急速に一掃せよ

大藏事件取調とは別個に 閣僚間に意見擡頭

【東京二十日發國通】大藏省事件に對する檢察當局の取調べは今後何時になつたら眞相が明白になるか見透しつかず一方齋藤首相は事件の眞相判明まで靜觀すると申合せてゐるので現狀を繼續せねばならぬ事情の下にあるが、何時までも政變氣構への不安狀態に政局を曝しておくことは國家としても不利益この上もないので政府として事件の取調べとは別個に時局の不安を一掃する必要があるとの意見が多數閣僚間に有力化しつゝあるので事件の眞相判明まで靜觀を申合せた齋藤首相の當惑は甚だし

海軍豫備會商は結局三强の議決

伊佛參加は單なる形式

【ロンドン十九日發國通】海軍豫備交渉は米國側專門家も出揃つて居る關係もあり差當り英米を中心に行はれるがその結果は常に日本並にイタリー大使館へ通告される事になつて居る、然しイタリーは受諾の回答を寄せたとはいへフランスとは共に稍事情を異にして居るため交渉は差し當つて日、英、米三國の多邊的交渉の形をとるものと見られる、なほ英國の豫備交渉提案に對するフランスの回答は近一週間以內に來るものと期待されて居る

英との親善關係

ソ聯飽まで確保に熱心

【ハルビン二十日發國通】情報によればソ聯側では期限五ケ年間の英ソ通商條約締結は兩國の關係を著るしく好轉せしめ英國におけるソ聯商品に對する需要が增大すればそれだけ英國の對ソ輸出も增加するわけでソ聯としては各國が軍備の充實を企圖し戰爭勃發の危機に直面すればそれだけ英ソの親善關係を確保することは刻下の急務だとしてゐると

音波で親善交通を

米ソ間ラヂオ

【ハルビン二十日發國通】ソ聯は米ソ修交以來盛んに兩國の親交を深めることに鋭意し近來に至つて俄に「米ソの親善はラヂオを通して」となし機會毎に米國に向つてソ聯の音樂その他催起となつて放送してゐる

ドイツ語の代りに英語

ソ聯の反獨熱

【ハルビン二十日發國通】ソ聯學校では從來佛、獨語は必須課目として來たが今秋よりドイツ語の代りに英語を必須課目とすることゝなつた、右はファシスト嫌ひのソ聯がドイツに對する反抗心の發露から一種の抗議の意味でドイツ語を廢することゝなつたものと見られ、かくてソ、獨關係は微細な點まで睨み合ひの形となつたがソ聯文部當局は修學兒童の增加と文盲者撲滅のため近く二千五百の學校を新設すると

滿洲移住露人

一月以來百餘名

【吉林二十日發國通】某方面の調査によれば今年一月より四月まで吉林省東北各縣(饒河、虎林、密山、綏遠)より密かに國境を越え移住せる蘇聯人は一月十名、二月十六名、三月三十三名、四五十月五名、合計百十四名となつてをりハルビンその他へ行くものもあるが全部蘇聯政府に反感を持つ滿洲國への憧憬者で滿洲國永住を希つてゐる

ウットベン氏

【新京特電二十日發】英國前印度主務大臣ウエデイ・ウットベン氏は曩に東洋視察の爲め數ケ月日本に滯在中であつたが、今回滿洲視察のため北支より奉天經由にて十七日午後七時三十分着にて來京ヤマトホテルに滯在目下各方面歷訪中であるが、歸途はシベリア經由にて歸國する筈である

朝鮮の滿洲移民

十年計畫、年に十萬人

【京城廿日發國通】宇垣總督の最大事業たる朝鮮からの滿洲移民は拓務、外務、大藏省主査と上京中に打合せを終へたので今井田政務總監が具體案作成を開始した、十ケ年繼續事業として一年に二萬戶十萬名づゝ移住せしめんとするものである

外人顧問敬遠

支那政府部內に有力

【南京二十日發國通】久しきに亘り支那政權のバックにあつて凡ゆる施政方針に對し有力な發言權を持つてゐた外國人顧問の信用は最近著るしく減退し外人顧問排斥論が擡頭してゐる、その

理由は 彼等の所謂意見なるものが歐米の同情を基礎とする見解であつて支那に對する認識を缺く結果、實際に適しない場合多く、一方支那自身の覺醒も手傳ひ益々それが鼻につくやうになつた爲めである、例へば幣制改革に就き南京政府は曩にケメラー博士を招聘し巨費を投じて調査研究せしめたがその報告書の如きは大部分が支那の基礎的調査に貫し結論としては支那各地の通貨を先づ大洋に統一した後

金本位 を採用すべきことを明かにせるのみでそこに何等の新味も見出されず、又最近米國から來たロジャース博士の如きも銀引上げが支那の爲めに利益であるやうに考へ大いに奔走したものであるが銀本位國たる支那にとつて銀價の騰貴は支那自身の購買力を增加し支那及び對支輸出の利益なる如く考へた博士の議論は全くの素人論であつて元來支那は農業國で銀產國ではなく銀價の引上げは農產物の價格騰貴を招來し延いてはその輸出を萎縮せしめ結局は國內購買力を減退せしむるのであるから支那政府と雖も頭から該案を問題にしなかつた程である、斯くの如く外人顧問の認識不足論は幾多の實例を生み益々その

權威を 失墜しつゝある爲め最近支那政府部內には外人顧問の減少を圖ると共に新顧問の招聘は絶對中止すべしとの意見有力となり既に實業部は之を實行した

西鄕侯新京へ

【ハルビン二十日發國通】北滿駐屯日本軍慰問のため來哈中の西鄕侯爵、井上男は二十日午前九時三十分發新京へ向つた

奉天省元年豫算

昨年に比し三割增額

【奉天特電二十日發】奉天省の康德元年度豫算は來る二十七日頃決定する筈であるが本年度は昨年に比し豫算は三割增額と觀られて居る、滿洲國も平和境となり教育廳の豫算が第一位を占め其の次が民政廳、警務廳の順序で教育の普及徹底により五十八縣の就學兒童の就學率は六十%四十五萬であるが康德元年度には七十%乃至七十五%五十萬人の增加を目標に學級增加をなし二十餘校の小學校を新設する方針である

總務司長會議

各部の豫算分配協議

【新京特電二十日發】過般國務院に提出の滿洲國康德元年度各部豫算は先月末を以て編成を終つたので、二十日午前十時より總務廳において各部總務司長會議を開催、各部豫算の分配に關し協議を行つた、康德元年度豫算は大體既報の如く歲出の歲入を超過する事九千五百萬元の巨額に上り總務司長會議において之を如何に調節するか一般の注目して居る處であるが、公債募集、增稅は施政方針に反するを以て結局各部交渉の上妥協によつて歲出額を削減する事になるものと觀られて居る、然し各部においても重要なる關係を有するので豫算の獲得に躍起となつて居るので總務司長會議にて最後的決定をなす事は困難で最後的決定をなすには尙數回の折衝を行ふ必要あるべく、國務院豫算審査會議は或は半月位延長されるものと觀られて居る

期末金融は順調を辿らん

土方日銀總裁の談

【東京二十日發國通】昨日午後二時日銀定例參與會席上土方總裁語る

銀行預金增加は依然繼續し金融緩慢で地方銀行は逐次利下げを斷行し預金口數との引下げに努め乙種銀行の利下げが注目される、春繭資金の地方流出も五千萬圓は困難だらう、全國資金潤澤なる故平穩に經過する、日銀のマーケット・オペレーションは公債米券等年初來賣却額五億七千萬圓に上り之も金融緩慢情勢と同樣繼續豫想され期末金融は平穩順調である

何健主席南下

反蔣聯盟醞釀

【南京十九日發國通】湖南省主席何健は十八日蔣介石が廣東省境に急造中の飛行場及び砲壘工事見廻り旁廣東に趣り陳濟棠、李宗仁、白崇禧等と會見する旨打電、十九日長沙發衡州經由南下した、何健は從來反蔣系として蔣より警戒されて居り且つ目下西南には暗々裡に反蔣聯盟が醞釀し南京西南間の政治的對立關係が進行中の折柄とて何健の西南行は當然各方面から重大視されてゐる

いものがある

總局貨物科長會議々題

【奉天十九日發國通】鐵路總局に於ては來る二十六日より二十八日まで三日間各鐵路局貨物科長、鐵路事處運輸長等を集合し左記諸事項につき協議することゝなつた

▲諮問事項

一、新に實施したる鐵路運送規定貨物運賃料金規則、貨物運送取扱手續、貨物輸送手續その他諸規定に對し現場方面の實情報告の件
一、現狀從事員特に滿洲國人に對し各鐵路局が實施してゐる指導教育方法
一、現場從事員充實に關する現狀報告の件
一、專用線に關する根本方針綱要案に關する件
一、各鐵路局貨物課及び各鐵路局管內主要驛に調査專門の係員常置の件
一、貨物取扱及び輸送關係設備にして緊急施設の要あるものを調査報告の件
一、業務改善及び事故防止週間施行の件
一、現業員教育指導委員會設置の件
一、總局員服裝統一方促進の件
一、貨物積込線增設の件
一、木材積込用クレーン設置の件

右會議は總局職制改革後最初の貨物科長會議である

國際運輸會社

三十日株主總會 配當は八朱据置

國際運輸會社では來る三十日同社において定時總會を開催、昭和八年度(八年四月より九年三月に至る)の決算を附議、株主配當年八分の承認を求むる筈だが、收支決算案は目下滿鐵を經て拓務省に認可申請中である、しかして當期の業績は既報の如く滿洲國經濟建設の發展に伴つて好轉し、當期の利益金四十萬三千十二圓二十九錢を計上、これに前期繰越金二萬四千七百六十九圓五十錢を合して四十二萬七千七百八十一圓七十九錢となり、前期の三十二萬九千六十九圓五十錢に比較すれば九萬八千七百十二圓二十九錢の增收を示してゐる、但し前期は防空兵器獻納のため六萬圓を控除してゐるから事實上に於ては三萬八千七百十二圓二十九錢の增收となるわけである

利益金の處分は

二萬一千圓 法定積立金
十三萬六千圓 配當(年八分)
十五萬圓 別途積立金
五萬圓 社員退職手當基金

とし殘餘が役員賞與並びに後期繰越金となる筈だが、上記の如き增收を示しながらなほ增配を行はなかつたのは社業の內容を堅實にして不況時に處するため別途積立金を多くしたものである

善隣協會設立

【東京二十日發國通】蒙古事情を研究調査し蒙古と日滿兩國との文化的提携を圖る中心機關として財團法人善隣協會の設立が計畫されてゐたが、今回一條實孝公を會長として成立し事業も着々進捗を見るに至つた、依つて披露と事業報告を兼ね來る二十六日九段の軍人會館で發會式を擧げる事となつた當日は廣田外相始め關係者多數出席の豫定

滿洲國留學生鎖夏團組織

【新京二十日發國通】日本留學中の滿洲國學生の夏季休暇を利用し協和會主催、駐日滿洲國公使館後援のもとに鎖夏團を組織し異鄕の地にある若者達を炎熱の苦惱と因つて來る怠惰から救ふべく體育、教育兩方面の左記施設をなし之等を指導することゝなつた

場所 千葉縣安房郡富浦小學校
期日 七月二十日から八月二十日まで
收容人員 五十名

物價標準會議

【ハルビン二十日發國通】哈大洋廢止、國幣本位となつて以來奸商等は物價を吊上げ漁夫の利を占めるものあるに鑑み各機關は二十日市公署に物價標準會議を開き善後處置を協議した

技術事項打合

【天津十九日發國通】本朝の大公報は奉天、北平間通車手續は既に決定、中國側の技術事項につき國際觀光局と打合せのため、目下上海にある中國旅行社總經理陳光甫(相濤)氏に至急來津するやう召電を發したと報じてゐる

朝刊本紙十二頁 第五面は日森上海特派員の「縮減された支那共產黨勢力」が今明兩日にわたつて掲載されます

社說

國民道德と敬老の美風

滿洲在住の邦人間には夙に敬老會といふのがある。大連でも既に本年度の行事を濟ませたが、これと同樣の催しが斷續して沿線各地にも行はれつゝある。一見些々たる地方的出來事のやうだが、その人心に及ぼす社會風教上の價値は尠少でない。近來何處にも流行して居る幼兒愛護並にその保健に關する運動は、社會衞生及び民族の體格向上などから有益な問題であり、各人各戶の自然愛に本づく好現象だが、敬老會の如きもそれに劣らぬ德教の一である。就中植民地は比較的壯青年が大部を占めて居る爲め、動もすれば老人が輕視される傾向を生じ易い。それは經濟生活に汲々たる世相から見て已むない點はあるが、社會道義の鼓吹上頗る面白くない結果を生ぜざるを得ぬ。

◇

老者は之を安んじ、少者は之を懷かしむとは儒學の最も力說し來つた平易な、而も人生の情味が徹底した根本倫理の一だ。我が日本の如き古來家族制度を重んじ、所謂クランの結束に由つて國體基礎が鞏固にされ、それから生れた國民精神の光輝を誇つて居るが、この本能性を益々鞏固ならしめたものは前述儒教の倫理觀念である。之を理論的に觀察しても、老人は最も知識經驗に富む分子であつて、後進者たる壯者少者は、その知識を恢弘し、その經驗を實際に擴充すべき立場にある。そこに一人一家の家族的安定が深められ國家としての進運が順序附けられる。然るに一たび個人主義が輸入されてより、動もすれば老人の尊重さるべき情味を閑却し唯だ青壯年の進取的力量のみが偏重されんとする。勿論生理的元氣の衰退した老人は、總てが保守的であり消極的であり易い。併しそれは老人を何時迄も青壯年者の當るべき責務の地に立たしめやうとするからの成行きで、直ちに老人の存在價値を沒却すべき理由とはならない。殊に健全なる青壯年者は健全なる老人から分血し、その手に哺育教導された人々だ。老人なき家庭は屢々健康なき家庭である。

◇

絕對的自由感からいへば、何人もの間に階級はない。少くとも甲乙彼此を通じてそれを主張すべき道理はない。併し唯だ後天的に人爲の如何ともすべからざる者は、男女の性を別ち、長幼の序を逼ふ自然現象だ。貧富貴賤の差別は常に轉々として一定しないが、老少は遂に最後まで之を顚倒し得ない。其處に道義の根本律を据ゑたのが、家族制度の眞諦であり、儒教の五倫觀である。敬老會はこの道德を最も普遍的に行事化したものだ。植民地にこの風潮の盛になつたことは、それだけその地の基礎が固まつた證據だ。歐洲戰後の各國に於ける社會狀態を視察した人々は、この曠古の爭鬪が如何に國家組織の上に弱點を發生させたかを看取する。就中特異な一現象は社會の中堅たる壯年者の減少だ。それが總ゆる方面に老者少者間のギャップを生ぜしめた事だ。當時の壯年者は今の老年者だが、戰時鬪場に送られた青年者の多數は、或は戰死し、或は傷病の餘痛に苦んで居る。ギャップはそれから生じ、そのギャップが事毎に老年者と青年者との意見を背馳させて居るといふ。

◇

この一例から見ても、敬老の風が盛んなのは社會の健全を意味する。老者長者の知識經驗が壯者なる中堅に依つて繼承強化され、潑剌たる元氣に滿ち、而も經驗の之を離悔するものなき青少年者を指導して、國家社會の堅實味を增進せしめる。それが國運勃興時の一大要件であり中堅たる壯年者の責任なのだ。切言すれば敬老の念なき國民は社會の結束を鞏固ならしむべき中堅なき國民だといひ得る。勿論個々の現象に就いて評すれば老者必しも賢者でない、而も人生の大勢から達觀して、經驗は知識を生み知識は更に次の經驗に進むのが順路だ。そこに老壯少の年代的不可離性があり、それに根ざす社會風教の盛衰の重視さるべき理由がある。

外國との交信者に酬いるものは"死"
贅澤を極むる赤黨員の生活
私信に讀まるゝソ聯の內情

【ハルビン二十日國通】ソ聯の食物資の缺乏、農村の疲弊は言語に絕するものあるが、この程南露の一露人からハルビンの北鐵從業員に左の如き私信を寄せたが、南露の窮狀を如實に物語つて居る

◇拜啓其の後は御無沙汰致しました、當方の其の後の一般狀況は舊態依然として何等の變りはなく、住民は所持品を徵發され、殘るものは只太陽、空氣、月、星、水、土地、草木に勞力位のものであります、食糧も缺乏を續け、一フント六十錢のパンも漸く店頭に現れたかと思ふと、最初に給與を受ける者は黨員で到底需要を滿すことが出來ず、住民の顏色は蒼白で藥にしたくても人の笑顏は見られず、寄ると觸るとパンの話で持ち切りです、ボロ衣服に五尺の身體を包んで只何時餓死するか、其の時機を待つのみの慘狀です、老若男女を問はず勞働を強ひられて働かないものは死人のみで食物の多くは豆、野菜類です、官憲が共同合宿所建築のため纔に村落の木造家屋を取り壞すため住むに家なきものも多く、從つて官憲に對する反感から木造家屋を燒き拂ふものもあり、この結果全滅せる農村も多々あります

◇ドイツのヒットラー氏は「ソ聯國內にては食糧缺乏の結果幾百萬人かの國民が餓死してゐる」と對ソ問題について自己の意見を吐露して居りますが、その幾百萬人の者が如何なる苦境、苦惱の下に餓死してゐるかを知らないし、更に外國視察團が來ソしても官憲は自動車でソシアリズム的視角より美化された點のみを案內し、時にパンを求めて列をなす群衆を眺め、その次第を質問すれば直に國民があの樣に國庫債券購買のため押し寄せてゐると說明してゐる次第です、農村振興のためと稱し當局は、牛馬の力では不足として八名の農夫を一組として牛馬同樣にこれを強制的に使役する有樣です、當局は強制的に公債を買はしめ各種の滯納稅金の代償として、住民からは枕、敷布、頭巾、牛馬、猫まで徵收する有樣であります、從つて住民は無一物で全くこの世ながらの生地獄であります、大ロシア國民は人間としての存在ではなくて愚鈍な動物と申しても過言ではないとの感を深からしめます、各種機關の實權は悉くユダヤ人の掌中にあります

◇これに反し黨員の生活は實に贅澤を極め、レモンを入れた紅茶を飲んで居ります、レモン一個の住民に對する賣價は、二ルーブル五十錢、黨員は僅か五錢で求めて居り、そのレモンもソ聯が飛行機三臺をトルコに贈呈した御禮としてトルコより多量のレモンをソ聯に贈つて來た次第であります、極度の食糧の缺乏から背に腹は替へられず、已むなく生きんがために人間を喰ひ更に餓死せるものは、昨年度は約百萬人に達するとの話も聞知致し居りまして、一言にして名狀し難い慘狀です

◇何時までこの共產制度が持續するか？何故西歐諸國は沈默を守るか？何時ソ聯邦は崩りつゝあるか？かうした感じは深く黨員を除く大部分の國民の懷くところであります、何れ後日機を見て種々御報知申上げますが當方へは絕對御手紙を差出さない樣吳々も御願申上ます、外國に住む者との交信が發見された場合は只死あるのみです、イさん及子供に吳々もよろしく御傳言下さい、なほア君もよろしく申して居りました、ではまた

君のエンケより

紀賢號に關する蘇聯の聲明一蹴
大田駐蘇大使に電命

【東京二十日發國通】紀賢號事件で十八日大田大使に手交されたソウエートの聲明書を一蹴すべき旨を談話の形式で十九日大田大使に命令を送達した

臺灣生果輸入最盛期に入る
相場も漸次低落步調

臺灣よりの生果輸入は五月來增加の一途を辿つてゐるが、六月に入つては益々多く十二日入港の大汽船天山丸にてはバナナ一萬二千七百二十四籠、青果九十八個の大量輸入を見、遂に一船にて一萬籠を突破するに至つたが、十六日入港の商船第二東洋丸では開始以來の記錄を作るに至つた（單位籠）

▲大連揚　バナナ一一、五七八、其他果實四、八三四、計一六、四一二
▲仁川揚　バナナ三、五二〇
▲青島揚　バナナ七八二
▲天津揚　バナナ四、二四二、其他一一〇、計四、三五〇、合計二〇、七一四

以上の如く二萬七百十四籠の生果が臺灣より輸入されたが次船の大華丸でもバナナ一萬一千六十二籠、青果一千百十三籠、合計一萬二千百七十五籠の輸入を見る筈である而して當業者の言によればこの大量輸入は臺灣バナナの最盛期を如實に物語るもので現在が輸入の最盛期と見られてゐるが、七月末までは相當に輸入される見込みである、從つて當市のバナナ卸賣値段も四月初めの一籠六圓臺から五月の四圓五、六十錢と低落し、最近は三圓四、五十錢の安値を見せてゐる、なほ現在奧地向バナナも增加し第二東洋丸の大連揚バナナの中二千四百籠は奉天に、三千八百籠はハルビンに輸送されるものである

六月中旬貿易
入超一千三百萬圓

【東京廿日發國通】大藏省發表＝六月中旬に於ける對外貿易は左の通り（單位千圓）

輸出	五九、七八九
輸入	七三、六八九
合計	一三四、四七八
入超	一三、九〇〇
一月以降累計入超	一五五、五八八

契約超過材に山份を增徵
木材市價奔騰豫想

【新京特電十九日發】過般來吉敦沿線の伐木業者は大擧新京に集合し、本年の契約超過材二十萬石に對しこれが山份增徵問題に關して滿洲國實業部と折衝中の處、總額二十萬石の內十五萬石を限り從來の山份に四割の增徵、殘數は倍額增徵に決定したので同業者は各事業地に引揚げたが、これによれば從來一車國幣約百五十圓の山份を徵收されたものが、今後は一車に付國幣約二百十圓を徵收されることゝなり、更に木稅一車に付國幣五十餘圓を徵收されるため合計一車に付國幣二百六十圓、金票換算約二百八十圓の納入を要し、前記十五萬石以外に屬するものは山份木稅共國幣三百五十圓、金票換算三百八十圓を徵收される、斯の如き現象は滿洲國政府の收入を增加し超過伐採を防止するために必要なる手段なりと觀察され、本年新京其の他南滿沿線に於ける木材の供給主力は吉敦沿線材たるに鑑み今後木材市價の暴騰を來し、建築界に甚大なる影響を及ぼすべく憂慮されてゐる

濡損防止週間

【奉天二十日發國通】鐵路總局においては雨季における運送荷物の濡損防止のため來る七月一日より十四日迄濡損事故防止週間となし驛における手小荷物の取扱方において

一、手小荷物の點檢
二、手小荷物の積卸し
三、手小荷物車の點檢

貨物の取扱方において

一、貨物の點檢
二、貨物の屋內外における保管方法等

に留意し極力濡損防止に全力を注ぐこととなつた

對滿政策檢討（一）
日本の要望する滿洲國對策の基調
列擧された五項目の要綱

在東京　日笠芳太郎

あれ程騷いだ滿鐵改組問題が中央へ出てから、何處でどうなつてゐるのか消息さへも不明の狀態であるから、現地當局も張合ひ拔けがすることだらう、仍て對滿政策の根本を定める急要が迫つてゐることは、苟くも現地の事態を知る者の何人と雖も痛感する所であるが日本が滿洲に臨む態度（原則）を其の方策を決定する前提として定めるために、一體日本は滿洲に對して現在將來に何を求めてゐるかを檢討することが先決問題となる、議會でも滿洲に精通せる大藏公望男が高唱した如く、日本が滿洲に要求する所のものは（一）國防線の確保（二）資源開發（三）我が市場たること（四）移民の四つの重要案件を基調として、第五に滿洲と聯關する對外的展望が擧げられるので、要點は恐らく此の五つの問題を出でないであらう、故に此の五要件を基本として其の態度を定めると、自ら原則的方策が生れて來ることになる。

◇

勿論右の五要件に政治的意識を伴ふ案件が加はると、問題は甚だ面倒になるけれども、我國は國際聯盟脫退に當りて、世界に向つて滿洲國の獨立を絕對に支持することを堂々聲明して居るので、又終始一貫最も明瞭に其の獨立性を堅持してゐる以上は此の世界的事實と聲明とを裏切るが如きことは、斷然有り得ないから、問題は政治行政以外の軍事と經濟との二つの要綱に限られる譯で、概れ右の五要件の中に各種事項を包含する、而して此の要目の內容を吟味すると（一）國防線の確保は所謂生命線としての軍事的確保であるが、滿洲國承認の日滿議定書は彼我の軍事協定を明確にし、兩國の國防を維持するために警備を共同し、防守同盟を結成してゐるから、此事に關しては最早說明を要しない、次は（二）の資源開發であるが、日滿ブロックと言ひ協同開發と言ひ、畢竟その歸結點であり又端初の條件である資源の開發が根幹であることは言ふ迄もないので、資源開發が統制經濟の基本を成し又產業統制の實體である、資源を除いて日滿間の經濟を論ずることは、畫龍點睛を缺ぐ空論たるに過ぎず殊に開發も無ければ形骸と等しく、開發も無ければ生產力を統一するブロックも無いことになるから要は資源の存在と其の開發に依存する問題に外ならぬ。

◇　◇

次は（三）市場としての滿洲觀が甚だ重要性を有し、今日三千萬民衆の購買力は未だ貧弱で、その經濟生活も低度であるけれども、今後の經濟文化は夫れを一定の經濟線に引上げて、言ふ所のブロック經濟が建成さるゝに至らば、我が商品の捌け地となること疑ひを容れない、世界の爭覇的經濟戰が極端なる商業戰であることは、貿易に日々發生してゐる尖銳なる事象に徵して明かで、問題の重心は關稅―障壁―割當（割當）等々列國間の販路を獲得するにある、が世界の市場は徒らに競爭の激化を誘ふのみで、その餘地は殆ど無い狀態である、然るに滿洲國は處女的市場とて將來に希望を繫ぎ得るのでブロック經濟の要素は資源開發と共にこの有無相通の市場關係に支配さるゝことを多しとすることは多言を要せぬ。

◇　◇

斯くして（二）と（三）と共に經濟上の密接なる聯關を利導する協同工作は、日滿ブロックを指標とする統制經濟方針となりて現はれ、又滿鐵改組を含む產業統制案として提唱され、未だ具體的方策は決定せぬけれども既にその端緖を開き今後のことは概ね望みを屬するに足るであらう、併し（四）の移民は我國の人口食糧問題を解決すべき重要案件であるに拘はらず、現在のところ甚だ心細い狀態で、特に農業移民の成否に就ては、なほ幾多の疑問を有してゐる、唯一の移民地とされた南米ブラジルが形勢一變して北米同樣の閉め出しを食ふこととなつた今日滿蒙移民は當然發展性を有たねばならぬ一條の活路であるけれども、未だ試驗移民の域を脫せず、今後の問題として殘された條件が多分に在る。

◇　◇

最後に（五）の要件として滿洲を基點とする對外的展望は、支那を指し又他の東洋諸國を視野に描かねばならぬが、先づ支那に對する經濟的展開を促すだけの基調を定むる重要性を有する、それは右の要件中我國の求むる經濟事項と滿洲國の經濟開發とが、所謂共存共榮の效果を齎すことに依りて、支那及び東亞全局に擴大し得る經濟的利益の增進普及に外ならない、此の意味において滿洲に對する日本の經濟的要求は、最も合理的のものでなくてはならぬし、經濟開發の協同工作は共通利益の增進とならなければならぬので、又その實績の顯著なることに依りて必至的に擴大性を有つ、要は滿洲における經濟發達が見本となり軌範となるその實績に求めんとする程度に達して最も有効なる提携共同の基調となり得るので當然滿洲若くは日滿間に限定するが如き狹見を許さない

八相

五十行以內中傷はさらず　投書歡迎

申譯の遮光

三木生

◇愛國生よ、燈火管制について尤もらしい理窟を並べて居るが、燈火に覆ひをなすのは外部に光線が漏れない樣にすることが目的なのである、眞似さへすればよいのでは無い。

◇外部から何故消燈せぬかと怒鳴られたといふことがお前さんの申した事は眞似事に過ぎない事實を證明して餘りがある、不平を吐く前に自から屋外に出て他家の振り合と比較して見れば直ぐ分かる事である。

◇要するにお前さんなぞ熱意が缺如して居るのである、愛國生なぞと呼稱するのは僭越であり自今大に愼むことだ。

理窟をやめよ

聖德街　笛生

◇燈火管制時に於ける心得は絕對に消燈せよとのことに非ずして屋外に灯を洩らさぬ樣にとの訓練演習にあると思ひます。

◇貴下が注意を受けたのは貴下の遮光處置が完全でなかつた爲めに受けられたことゝ思考せられます、その注意に對しては反省すべきであつて、抗議がましい理窟をいふ可きではないと思ひます。

◇非常時、非常の場合、全員一致の行動を必要とする際、其處に多少の行違ひや無理が生じたとしても成べく理窟を拔きにして行動を共にすることが最も無難であると信じます。

◇今次の防空演習は防護團のみの演習に非ずして大連全市民の訓練演習に外ならぬ、この演習を最も效果的ならしめるには防護團員と協力一致する必要と義務があることを忘れてはならない

◇眞に絕對的の場合を除き五分や十分消燈したとて何の障りがあらうぞ、一つに心掛けの問題だと思ひます、自ら愛國生と自稱する人に三考を促す。

記者より　十九日朝刊本欄「防空と消燈」と題する投書に對し尙外に數通あります、また防護團員に對する批難の投書も數通あることを附記いたします

特產
大豆軟調

後場の大豆は買氣引立たず軟調を辿り、豆粕、豆油は人氣なく不申高粱は閑散保合を呈し不振裡に大引した

▲定　期（二十日）

▲大豆（軟調）單位庫

限月	寄付	高值	安值	大引
七月末	三三〇〇	三三一〇	三三〇〇	三三一〇
八月末	三三三〇	三三三〇	三三二〇	三三三〇
九月末	三三七〇	三三七〇	三三五〇	三三六〇
十月末	三三九〇	三三九〇	三三七〇	三三七〇

出來高　七十一車

▲普通大豆出來不申
▲豆粕　出來不申
▲豆油　出來不申
▲高粱（保合）單位庫

限月	寄付	高值	安值	大引
六月末	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇

出來高　三車

▲包米　出來不申

◇現　物（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	三五一〇	三五〇〇
出來高	三十車	
普通大豆（袋込）（裸物）	三四一〇	三四一〇
出來高	五車	
豆粕	一一二〇	一一一五
出來高	八千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

日產　一三三五　一三六七　一三七〇

◇雜取引◇　商取二二五、化學工業三三八、土木企業一七三、一七一

錢鈔
保合閑散

後場材料無く前場より十錢安に引け閑散

◇定　期（單位錢）

	寄付	高值	安值	大引
期近	二三五	二三五	二三四五	二三五〇

出來高　期近三十二萬圓

◇現　物（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一三三五	一四〇一〇	一二四七
二時	一三三五	一四〇一〇	一二四六
三時	一三三五	一四〇一〇	一二四六

出來高（銀對金十一萬三千圓）（銀對洋一萬二千圓）

後場市況（二十日）

株式
新東低落

內地新東低落を入れ當市は二圓安日產は四十錢安、地場株は保合であつた

◇定　期◇（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品（寄）	二五五	二五七
五品（中）	—	—
五品（引）	—	—

◇延取引◇

銘柄	寄值	高值	安值	大引
錢鈔	一四	一四	一四	一
大新	一二七〇	一二七〇	—	—
東新	一六六	一六六	一六五	一六五

商品
綿糸期近高

綿糸　大阪三品期近二三圓高午ら先物弱保合を入れ當市は商內活況を呈した

銘柄	約定期	值段	桐數
福助	六月限	二七六四	二三〇
同	七月限	二七五四	一〇〇
同	八月限	二三二五	七〇〇
同	九月限	二二五五	三〇〇
同	十月限	二一九〇	五〇〇
同	十一月限	二一七二	三〇〇
同	十二月限	二一五四	一〇〇

出來高　二百三十梱

麻袋　出來不申

奧地市況

▲奉天奉票對金票　現物　五六二〇
▲奉天國幣對金票　現物　一〇六八三　一〇六八〇
▲奉天國幣對鈔票　現物　九三六〇　九三六〇
▲新京國幣對金票　現物　一〇五二〇　一〇五二〇
▲哈爾濱國幣對金票　現物　一〇六八五　一〇六八五
▲哈爾濱小麥　七月　八月　九月　一〇六九五　一〇六九五

市場電報

大阪株式（長期）　東京株式（長期）　大阪株式（短期）　東京株式（短期）　大阪期米　神戶期米　東京期米　大阪綿糸　橫濱生糸

[illegible]

不氣味な夜の空襲に州内の全神經網躍動
關東州防空演習第一日

【金州】午後七時二十五分防空隊本部より金州防空監視隊に對し各監視哨位置に就けとの命下る、各哨に傳達、待機の姿勢となるや七時五十分非常管制の警報來る、所定のサイレンは一般に市民に之を報ずべく一齊に鳴らさるゝ、忽ちにして全市は暗黑となり防護團各班はそれぐ任務に活動し、先づ第一回の燈火管制は一糸亂れず整然と行はれた、此時遙かに大連上空には爆撃機飛來し赤、綠、白等の爆彈投下標示吊星光の點々するを眺め全市民は特に緊張したが同八時十五分警戒解除となつた 八時四十五分第二回非常管制の警報ブーくとなるや遙か東北方より敵機我金州上空に飛來し白色標示吊星光の假想爆彈を投下して南方に飛びさる、九時十五分警報解除、同二十五分演習終了の命に接し各班は其部署を解いた

防空演習 旅順餘錄
强制的假裝患者 つひに泣き出す
本氣になつた防火

【旅順】演習第一日の十九日は折惡しく天候不良で濃霧は四邊に立ち込め物凄い爆音が頭上に唸つてゐるが機體が見えず薄氣味の惡い演習日和、コレは味方に……即ち空襲を受ける旅順のために幸ひなのか、敵機のために惡いのか?いづれにしてもパット晴れ上つて貰ひたかつた

◇各派出所の防護分團へは赤旗トビロ、繩、ホース等々武裝した防護團員がいづれも緊張して活動する頼母しさ、土屋町派出所へは船渠の交友倶樂部から、又善通寺町派出所へは料亭一力から「皆樣御苦勞樣……」と握り飯の焚出しを寄贈して來た事は誠に奇特の至り

◇滿石は規律の正しき事と感じさせた事は此の寄贈を受けた分團長情報報告と共に之れが受入れ方に就き本部の幹部へ上申して來る、本部では目の廻る大多忙の中にも此報告を受け ウム感心くそうなくちやならん、宜敷いッ頂いて宜敷いッ

◇燒夷彈の投下は十一分團一齊に目ぼしい家屋に投下される、だから一時に旅順市内十一ケ所は大火災が起きた譯だ、善通寺分團の如きは餘り緊張し遂に本氣分となつて本水を使用し盛んに屋上にぶつかけ出したので附近の者も吃驚

◇一寸困つた事は役所の給仕連と市中商店の中堅店員だ、大概靑訓の生徒だけに全部が防護團員に隨つて皆演習三日間は出動中である爲め「給仕御茶アー」が即刻實現しない、デ今更店員諸君と給仕君の貴重さを感ふデス

◇燒夷彈の投下、火災で死傷者が續出し救護班大活動をするが扨て負傷者になる者が無い、各分團ではこれが一寸困つたらしい、中でも某救護班見物の滿洲國人を突然手取り足取り無理矢理擔架に乘せ上からバントで締めつけつゝ救護所へ運搬される

◇判つてゐるボーイなんか面白がつてゐるが中には何が何んでどうなる事か「啊呀く……」と遂に泣出す假裝患者も見受けられた

◇防護團本部も刻々報じて來る諸情報の接受、命令の發送で時計と首ツ引き、最も正確に行はれるので誰云ふとなく 平素の事もコンナ工合に時間通りやれると好いがナア…… 一同その通りく

〝護れ北滿の空〟旗高らかに揚る
防空協會チチハル支部發會

【チチハル】〝護れ北滿第一線の空〟の旗幟高く揭げて誕生した滿洲防空協會チチハル支部の發會式は十五日午後二時から龍沙公園において盛大に擧行されたが、此の日午後一時頃より銀翼數機會場上空低く旋回して五色のビラを撒布し 支部役員、日滿軍民多數參列、江省軍々樂隊の日滿國歌奏樂裡に開會、支部長楊チチハル市長の挨拶の後、臧會長代理龐實業廳長、蒲[illegible]團長代理大島參謀長、内田領事、孫省長代理路秘書長、張警備司令官、高原民會長、王商務總會長ら夫々マイクロフォンを通じて祝辭を述べると共に防空施設の必要を力說し、引つゞいて各方面より寄せられた祝電を披露、最後に白石飛行隊長は四圍の情勢と防空について力強き講演をなし參列者に多大なる感動を與へ、同三時半盛況裡に閉會したが本支部は滿洲防空協會各支部中最前線に屬し、今後の活躍は注目期待されてゐると共に、空の港チチハルを一層意義あるものとするであらう

營口防空協會 發會式擧行

【營口】防空協會營口支部發會式擧行の事は既報の通りなるが愈々二十三日午前十時より營口小學校講堂に於て擧行せらるゝ事に決定した、式次第は一同着席、開會の辭支部長挨拶、役員任命來賓祝辭祝電披露閉會の辭以上にて發會式を終り續いて同講堂に於て祝宴を催す豫定であるが發會式に參列の案内狀は支部長楊肯源氏の名を以て日滿通じて約三百名に發すべしと

防空演習から

(上)旅順第十一分團で益滿分團長より狀況報告を受ける枝原統監と幕僚
(下)金州内外棉特設防護隊の煙幕演習

營口農村の完成式

【營口】營口農村は東亞勸業公司が二千五百町歩の荒地を商租し一大水田を興すべく計畫し昨八年六月起工式を擧行し爾來滿一ケ年孜々として建設に努めたる結果今日にては隔世の感ある竣成振りを示し今秋の收穫の良否は今後の天候を待つ外なきも兎に角農村として建設事業は完成の域に達したるを以て同社長向坊盛一郎氏は來る二十四日竣成式を擧行することゝし奉天、大連、營口、日滿官民三百名を招待する筈である

上村政次郎氏

【鐵嶺】新臺子電報電話局長上村政次郎氏は同地在任既に久しく新臺子が現在の如く異狀の發展を遂げた裏面には氏の盡力と功績多大なるものあり殊に居留民會長として公私の別なく盡瘁し住民からは非常に敬慕され永く其在任を希望されてゐたが今回本溪湖電報電話局長に榮轉と決定し近く赴任の由にて居住民は何れも其の離別を惜しんでゐる

御警衛美談
署長の心中に署員一同緊張
任務のみの土屋署長

【鐵嶺】秩父御名代宮殿下御來滿に際して奉迎の日滿官民中各地に美談を傳へてゐるが鐵嶺警察署長土屋警視も今回の御警衛は重大且つ光榮の任務なりとし御警衛の方針に就ては日滿官民とも充分なる聯絡を執り萬全を期しつゝあつた折柄着任以來病臥中の夫人は容體香しからず絶對安靜を要し憂慮すべき容體であつたが署長は家事を顧みる暇なく御警衛に專念し署員を督勵して今回の重大任務を遂行し得た、署員は何れも毎朝署長を見る毎に其の心中を察し一入緊張の氣に滿ちたといふ、因に夫人の容體は今も尚ほ絶對安靜の域を脱しないが署長は今回の任務を無事に遂行し得たのは全署員協力の賜なりとし去る十六日全署員の爲めに盛大な慰勞の宴を張り十九日には御警衛關係の日滿官民有力者を官邸に招き慰勞の宴を張つたと

京都の松風が撫順にて陶器工業
炭礦との交渉成立す

【撫順】撫順炭礦の廢物として棄てられてゐたオイルセールの燃燒物が陶器用原料として優秀なものであることがこのほど發見され、また高熱度を要する陶器工業において撫順はその燃料に惠まれてゐるので、撫順炭礦當局は撫順に陶器工業を興すべく計畫し、過般來京都の陶器製造元松風に交渉中であつたが 兩者の交渉はその後急速に進捗し、いよく松風は積極的に乘り出すことになり、同社の藤岡專務は去る十八日來撫し、親しくその實際を調査すると共に炭礦當局と具體的交渉を行つたがその結果大體に於て撫順の塔灣に陶器工場を設けることに決したものの如くである なほ最後的決定は藤岡專務の歸任をまつて取り決められる模樣であるが、新設される工場では主として電柱用の碍子を生產するほか一般の陶器をも製造するものである

熊岳城新舊所長

【熊岳城】今回瓦房店地方事務所長を辭して奉天興業土地株式會社入りをした越智通明氏は後任として滿鐵本社社會係主任より榮轉し來つた中根信愛氏と共に十九日轉任及び着任挨拶の爲め地方係長島瀨久一郎氏を伴ひ小島主任の案内にて熊岳城に於ける各代表機關を歷訪したが同日午後六時より溫泉ホテル廣間に地方官民の主なる人々日滿人二十餘名を招待し新舊所長の披露宴を張つたが非常な盛會であつた

日滿語講習所生 雄辯大會を開催
驚くべき出來榮え

【奉天特電十九日發】滿洲國協和會では日滿語講習所學生の滿人は日本語、内鮮人は滿洲語をもつて十八、九の兩日に亘り同所講堂に於いて雄辯大會を開催したが一ケ年に滿たぬ語學を持つていづれも十二分の意氣と、熱、氣魄をこめて雄辯に演說をしたが皆に堂々たるもので推賞された、大會の順序は永尾教師の開會の辭に伊東會長代理の挨拶、小澤本部委員の挨拶あり審査の結果所生を詮衡し州村三田村、片山諸氏の忌憚なき講評あり一等から五等、及び等外の所生に賞品を授與した

▲滿語演說 一等矢内典夫「建國意義」二等土居義一「建國意義」三等文泰和「滿洲青年的使命」四等矢口御二郎「民族協和」五等山崎正三「東亞大國」
▲日語演說 一等王幹臣「滿洲國青年の使命と責任」二等李吉才「日滿協和」三等邵德璉「日滿協和」四等曹劍申「滿洲國青年の使命と責任」五等崔世民「滿洲國青年の使命と責任」

鳳城煙草耕作組合 愈々創立總會開催
耕作資金も借入終了

【安東】滿洲で第一の葉煙草產地である鳳凰城には從來滿鐵が助成してゐた南滿葉煙組合、英米トラスト系の煙草耕作同業組合及び自由耕作の三者に分れてゐたが今春二月以來安東地方事務所勸業係と鳳城縣の宮崎參事官等の間にこれを統制して一大組合を組織する議が起り關係方面と折衝を重ねてゐたが四月末に同地の全煙草耕作者を包含する鳳城煙草耕作組合の成立を見たので本月二十四日創立總會を開催することになつた、組合長には蕭鳳城縣長、副組合長には宮崎同縣參事官、理事には佐藤榮三郎氏がそれぐ就任し耕作資金三十萬元もすでに中央銀行より借入れを了してゐる なほ本年の作付反別は約千八百天地で二、三日中に全部の植付を終り三十萬貫以上の收穫を豫想されてゐる、鳳凰城以外には得利寺、鞍山兩地でも耕作してゐるがその收穫は未だ極めて僅少である

拘禁者の家族に警官の善行
奉天署でも表彰か

【奉天】保險魔として奉天署の手により檢擧された元日本生命出張所員大町に關聯して寶輪留藏も去る五月十三日奉天署の取調を受け領事館警察に送られ鐵窓につながれてゐるが子供三人を抱へたその妻のしづえ(二七)は家に殘され、しかも病身で夫に代つて働くことも出來ず、これを知らずに喜々として遊んでゐる子供を前に置いては收入も貯へもなく殆ど喰ふか喰はずの悲境にあえぎ小さい胸をいためてゐたが附近の人々の同情により漸く糊口をしのいで來た これが管下にゐることを知つた奉天署の巡査川端秀藏(二五)氏は同情し僅かではあるが自分の貯へた金廿圓を惠與した處しづえも蘇生する思ひで喜び涙を以て感謝してゐたが、このお金で内地へでも引揚げやうと決心し「私達は一先づ内地へ引揚げやうと思ひます、川端氏の同情で旅費もあるやうですからあなたが出られたら充分お禮申上げて下さい」との意味の手紙を認め鐵窓にある夫に屆けた處端なくも川端氏の善行が判り各方面から賞讃されてゐるが奉天署でも何等かの方法でこれを表彰することになるやうである

熱河、降雨の被害大
橋梁流失、電信、國道の損壞
農作物は七割減か

【錦州】遼西一帶から熱河省にかけ客月末から降りだした雨はいまなほ歇まず兎もすれば暴風雨となり雹さへ交へて降り出すので土地の古老等は十年來の雨量だと何れも眉をひそめ只管天候の恢復を祈つてゐる、これが爲め阪凌線の朝陽、凌源間は前後三回にわたり橋梁の流失、線路の埋沒等を來し電信、電話線は離斷され、國道は損傷を受ける等各方面多大の被害を蒙つてゐるが殊に農家方面は耕作物の浸水、流失等で泣くにも泣かれぬ狀態にあり、棉作のごときは降雹のため萎縮し九割の減收と云ふ全滅に等しい慘狀である、いまの觀測では熱河全省を通して農作物は七割二分の減收を豫想されてゐるが而も天候はまだ恢復の模樣がない

凌源線再不通

【錦州】十五日漸く復舊した坂凌線は十六日夜來の豪雨で大凌河の出水甚だしくその濁流のため假橋は再び流失しほか沿線十數ケ所に線路の故障を來し朝陽、凌源間は又しても十七日から不通になつた損害莫大の見込み當分復舊の見込みなしなほ奉山バスも運轉不能に陷り熱河への交通は全く杜絶した

安東に大雨
鴨江氾濫の憂ひ

【安東】今月に入つて雨に降り罩められ通しの安東、新義州は十八日午前物凄い雷鳴を伴ふ豪雨が襲來し正午までの雨量二十六ミリ六(坪當り四斗八升强)を示した、十九日から天候は好轉し始めたが既報の如く今年は鴨綠江氾濫の憂ひがあるので安東水防協議會は近日中に全役員が會合し水禍に對する防護策を決定する筈である

八年間の忍苦 男故に空し
一寡婦の墮胎事件

【奉天】毒牙にかゝつて宿した子供を生活苦から恐るべき墮胎をなした四十女……福岡縣生れ市内青葉町居住柳瀬さよ(四〇)假名は八年前夫を失ひ四人の子供を抱へながら他に嫁しもせず自分の手で立派に育てゝやりたいと市内某病院の附添婦として日夜懸命に働き僅かに得た收入で糊口をつないでゐるが附添婦といふ職業柄殆ど自宅に歸るやうな事はないので四人とも他に預け市内の小學校に通はせてゐる 處が市内土木請負業者上田喜久治(四五)假名はさよの一身上の事をきいて同情し「それでは自分が育てゝやらう、夫婦にならう」と勝手にきめたがさよも境遇が境遇で喜久治のいふことを信じ總てを許したが彼は一時の享樂のため貞操を弄んだ事が判り氣丈なさよも今更の如く後悔した、そのうち女のあるべきものが閉止したので妊娠と知つたさよは「家庭に對してもすまぬし子供にすまぬ、それに今はわづかに糊口をしのいでゐる境遇である」と思ひつめたさよは遂に恐るべき墮胎を決意し市内某鍼灸師を訪ねこれを依賴したが一旦ことわられたのでそのまゝ歸宅したもの、何とか措置をつけなければならぬと考へたさよは再びその鍼灸師を訪れ涙ながらに依賴したところそこでも全くその境遇に同情し遂に墮胎を行つたのである この事件が發覺しさよ及び鍼灸師とも奉天署に召喚嚴重取調べを受けるといふ思ひもよらぬ立場になつたが毒牙にかゝつてこの始末となつたさよの身の上に同情せぬものはない

公傷警官救濟に地方警察後援會
奉天省各縣に組織

【奉天】奉天省警務廳管下にある各縣警察隊は事變以來國軍と協力省内の治安維持に努め各地において多大の功績を殘してゐるが、警察隊は討伐に出動又はその他職務による公傷の場合未だこれを救濟する機關なく各縣によつてそれぞれ適當なる方法を講じてゐたがなほ警務廳では今回これ等公傷による警察官の救濟方法として各縣によつて地方警察後援會を組織せしめ公傷警察官の救濟を行ふことになつた

似顔子

滿洲國實業部及興安總署の佈告——林場權者は八月二十日までに伐採認可證及林場圖を實業部大臣又は興安總署長官に提出してその林場權の審定を求められたし怠ると林場權は消滅してしまひますぞ——なほ詳細は省公署又は興安各分省について御訊ね下さい

◇營口に入港した汽船和順號から不審の一支那人乘客を引致して嚴重に調べると支那藍衣社の社員で來滿暗殺の重大密謀者であることが判明した

◇吹きすさぶ不景氣風に喘ぐ北鐵はますく緊縮を餘儀なくされまたくく馘首の噂

◇本溪湖一帶に近頃モヒ患者の死亡連日續出

◇四平街の友を頼つて來て何か仕事にありつくべく旅館に逗留中毎日阿片ばかり吸み旅費もすつかり使ひ果たしたので伴れて來た妻と妾とをたゝき賣り、それでもまだ阿片にひたつてゐる男がある、周㨗滿といふ慨態

◇新京西門外大佛寺老道觀廟附近は國都建設局計畫の水道敷設線にあたり一月前より工事にかゝりその御廟を取り壞し始めたところ神佛のお怒りに觸れ苦力二人まで變死した爲め苦力たちすつかりおぢけ怖れ工事を肯んじないので國都建設局もこれには閉口頓首、とうとう其の豫定計畫を變更するの已むなきに至つた

◇支那四川省の北部は赤匪の爲めにひどいめに遭つてゐるが南部の石溪縣一帶では近來虎豹の暴威甚だしく被害ひんぴん

◇上海で大歡迎を浴びてゐる喇嘛の活佛班禪大師は數日前明星公司のスタヂオを參觀して李萍倩監督胡蝶主演の「三姉妹」を見てから胡蝶孃の伺候を受けたところとても悦んで「ニイく」を連發したこれは讃歎おく能はざる意味の西藏語で活佛の口からはめッたに聽かれない言葉ださうな

土産物展覽會

日時 六月二十三、二十四日
場所 奉天日滿貿易協會
主催 ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー 奉天日日新聞社、滿洲日報社
後援 滿鐵鐵道部、滿鐵地方部 鐵路總局、奉天商工會議所

柏家溝附近の砂金を採取
福井氏正式願書提出

【鐵嶺】採金調査隊引揚後の當縣下柏家溝附近に埋藏されてゐる砂金採取を目的に各方面から採掘計畫をしてゐるらしいが今回個人經營の福竹採金公司が滿洲國との諒解成立して採掘權を得るものゝ如く既に願書を提出し認可を俟つのみとなつてゐて採掘工事の準備を進め經營者福竹種章氏は數日前來鐵松花ホテルに事務所を置き認可を待つてゐるが福竹氏は久しく三井鑛山會社に勤務して斯界の精通者であり三善代議士等の協同出資の下に本事業を遂行せんとするものゝ如くである、因に同公司の採掘は鐵嶺、開原兩縣下に亘つて廣汎な地區であり公司の本部は鐵嶺に置く筈であると

ピッチコークス滿洲に供給

【撫順】撫順製油工場の副產物として毎年約五千トンから生產されてゐるピッチコークスは無灰、無煙、無臭炭として家庭用に重寶がられその生產品は從來ほとんど内地に仕向けられてゐたが、かゝる優良炭を内地にのみ輸送せず地場在住人にもその恩惠に浴せしむべきであるとの見地から今度撫順炭礦では本年度よりこれを滿洲内にも供給することに決し、撫順伊東號の手によつてこれを一般に配給すると

夏の傳染病

【鞍山】追々夏期傳染病流行時に入り十九日の如き北二條高岡組平康久(三)同一丁目露口吉秋(三)北三條製鋼所員家族野澤昭後(五)は赤痢、北五條篠原洋子(五)疫痢等一時に四名の患者を出してゐるが所轄鞍山署では地方事務所と協力嚴重夏季衛生の取締を行ふ由で近日衛生委員會も開會の筈であるが此際一般家庭に於ても充分注意されたいと

奉天に赤痢

【奉天】最近氣候の不順の關係から奉天に於ける赤痢が急に猖獗し毎日の如く患者を出してゐるが奉天署衛生係では滿鐵衛生隊と協力しこれが防疫に大童となつてゐるが十八日 ▲木曾町十七八島俊司(四ツ)▲橘立町十五中山靜子(五ツ)▲松島町十四鶴原和夫(一ツ)▲淀町十五松尾理吾(三四)▲淀町十八西村弘巳(六ツ)▲紅梅町十一佐々木彥吉(二)▲稻葉町六久保德一(一七) の七名が發病、いづれも赤痢と判明各關係方面の大消毒をなすやら傳染病棟に收容するやら大騷ぎをなしたが本年に入り赤痢患者は七十名に達しその中七名は死亡して居り何ほ蔓延の傾向があり一般にも特に注意して貰ひたいと

留守中の盗難

【鞍山】市内北二條町八六ノ四昭和製鋼所社宅中野幸三郎(三〇)氏方に十八日午後八時頃家人の留守中裏扉施錠を破壞して何者か侵入、現金五圓外通帳三通預金約百五十圓外洋服三着、男女和服十數點、實印等を窃取、家人が歸宅した時は室内は取亂され靴跡が殘つてゐる丈で手掛となる證據もなく何者の仕業か事件發生と同時に鞍山署では犯人嚴探中である

會と催し

◇鞍山對大連庭球試合 二十四日午前十時より富士公園コートにおいて開催
◇鞍山都山流尺八演奏會 二十三日午後七時より富士小學校講堂において地方事務所社會係後援の下に開催入場無料
◇湯崗子溫泉郵便所 鞍山郵便局では溫泉浴客の便宜をはかるため二十一日より九月二十日まで夏期三ケ月間例年通り臨時出張所を開設貯金爲替外一般郵便事務を取扱ふ由
◇蓋平窯業股份有限公司開業式及び祝賀宴 二十六日蓋平商務會議場で
◇圖們市民大運動會 十六日より三日間圖們學校廣場で
◇滿洲國協和會奉天地方事務局第六回常務委員會 二十日午後四時半から同局會議室で、常務委員に中山一晴(瀋陽縣參事官)福山哲四郎(奉天市政公署)菊池秋四郎(奉天市商會顧問)の三氏推薦さる

沿線往來

▲境長三郎氏(京城高等法院檢事長)十九日午後二時來奉
▲張海鵬氏 十九日午後一時二十八分着奉
▲ウイリアム・タイス氏(ベルギー特派大使)十九日午後十時四十五分奉天發大連へ
▲谷田繁太郎氏(同和自動車理事長)十九日午後一時二十分着奉
▲ウイラルド・プライス氏夫妻 十九日午後三時新京へ
▲芳澤總領事夫人 同上
▲山本丞正氏(滿洲工廠社長)十九日午後二時五十四分着奉
▲小林長輔氏(同社技師長)同上
▲西永彰治大尉(新任圖們憲兵分隊長)十四日新京より着任
▲撫順炭販賣株式會社名古屋支店前田善太郎氏外三十名 十八日午後一時二十分發列車にて營口へ、各方面視察午後八時發列車にて湯崗子へ、同地に一泊鞍山遼陽、奉天、撫順、新京を視察して朝鮮經由歸國の筈
▲加納茂氏(新任チチハル局電報係長)近日鞍山發赴任の筈
▲セミヨノフ將軍 十九日午前九時二十分着列車で湯崗子に下車數日靜養の豫定
▲遼西十縣合同關東州行政視察團長新民縣李總務科長以下二十八名、約十日間の豫定で十七日錦州出發

實業部 興安總署 公告

林場權整理法ニ關スル件
林場權整理法第二條第一項ノ期間ヲ康德元年六月二十日ヨリ康德元年八月二十日迄ト指定ス
右公告ス
康德元年六月十三日
實業部大臣
興安總署長官

實業部 興安總署 佈告第六三號
一、林場權者ハ康德元年六月廿日ヨリ康德元年八月廿日迄ニ伐採許可證ニ林場圖ヲ添附シ實業部大臣又ハ興安總署長官ニ林場權ノ審定ヲ申請スヘシ
一、申請書ト共ニ提出スヘキ伐採許可證及林場圖ハ本證及原圖ニ限ル
一、林場權ノ審定申請書ハ前揭期間内ニ其ノ林場所在地ヲ管轄スル各省長又ハ興安各分省長ニ提出スヘシ
一、前揭期間内ニ林場權ノ審定申請ヲ爲サルトキハ林場權整理法第三條ニ依リ林場權ハ消滅ス
一、詳細ハ所管省公署又ハ興安分省公署ニ付問合スヘシ
康德元年六月十三日
實業部大臣 張燕卿
興安總署長官 齊默特色木丕勒

家庭

家庭人へ殘された教訓
まだまだ覺悟が足らぬ
"關東州防空演習"を終へて……
統監・鏡山少將は語る

今朝の拂曉戰を最後として廣汎な想定のもとに實施された關東州防空演習は私達家庭人に多大な教訓を殘して終了を告げましたが、統監鏡山少將は三日間の演習を顧みて左の如き感想を語られました（カットは鏡山少將）

一杯の水を用意した主婦が果してゐるか

私は 家庭人特に一家の主婦に對してお話し致したい。今回の演習で最も痛感致しました事は先づ第一に防火演習とは男に委せて置けばよい、主人のやることだけで充分であるといふ考へを持つて居て積極的にこの演習に參加しようといふ態度の少なかつた事は甚だ遺憾であつたといはねばなりません、勿論積極的に種々な作業に從事された各種婦人團體等の勞は多とせねばなりませんが私の言はうとする點は家庭の中に居つて一家の留守を守つてゐる主婦に對してゞあります。

具體 的に言ふならば若し水源地が敵彈によつて破壞されたといふやうな場合、さしあたり各家庭の臺所には一滴の水も無くなつてしまふことは當然でせう、此の場合炊事に要する水を何處から仰ぎますか、私は此の事あるを豫め承知して一杯のバケツの水を用意した主婦が果して大連市に何人あつたかをお尋ね致し度い。更に發電所が破壞され如何なる處にも送電不可能になつた時を豫知して一本のローソクを用意した家庭が果して何軒あつたでありませうか

燈火管制とはたゞ電燈を消してしまへばよいといふ程度の考へを持つてゐたものは多いでせうが、さてお産があつたり

重病 人があつたりして、どうしても燈火を必要とせねばならぬやうな場合はどうしたならよいだらうかといふやうな特殊の場合に處する態度や覺悟がまだ〳〵不充分であつた事を充分認めざるを得なかつたと思ひます。その他自分が家を外にして出て居た時、その留守に家の中まで毒ガスが入つて來て居たといふ如き場合の處置、家人の生活が空襲を受けた場合等に如何にして平常通り維持して行つたらよいかといふ事などに對してはもつと〳〵主人に頼り切らず獨自に研究し認識する態度があつて欲しい。關東大震災の際には米が無くなつて玄米をビール瓶を打ち碎いて、その底に入れ棒で搗いて白米にしたと云ふ話しは、まだ我々の耳には新しいのだが

空襲 を受けた場合などには、あの大震災の時以上の混亂を豫期せねばならぬし從つて食料品の不足など當然起る事ですが此の演習に於いて演習期間内の臺所計畫をはつきりと樹立して居た主婦は果して何人あつたであらうかと言ふ如き諸點から、一家の主婦はもつと〳〵防空に對する準備と覺悟を新たにし、決して演習を終つた本日を以つて忘れてしまふことなく更に今日より日常に於いてかゝる日に備へるの準備をなすと同時に精神的修養を怠らざることを切に希望したい。最後に一家の主婦は日常より子供、使用人等に對する防空の知識を教へることを一身に引き受け、かゝる場合自分の事を自分でやり得る態度を今より養ふことに努力して欲しいと思ひます。

奥さまの手帳

鞄の手入れ カバン類にカビが生えたらクレゾール〇・五グラムを水百にとかしてふくのが一番よろしい。また艶をだすには蜜らふとテレビン油の混合物でしめし乾いてから磨く。但し餘り繰返してはよくない。

"あなた"の爪の美容法 かうしてします

マニキユアは最初あたゝかい石鹸液を作りその中に指先を三分乃至五分間浸して皮膚をやはらかにします、次にアマ皮（爪の周圍のザラザラした皮）をうすい肉鋏でつみとり、爪の中の垢もすつかり取去ります、今度は爪鋏で、爪のズングリした人は幾分長目に、長い爪の方は

短か 目に山形に爪を切ります、ひと頃のやうに三角に尖したのは既に流行遲れで又危險ですから幾分圓味を持たせます、切つた後はザラ〳〵しないやう紙やすりで切口を輕く擦つて磨きます 今度はみがき粉を爪ブラシ（鹿のなめし皮を張つたもの）につけて爪を左右に手早く磨きますとつやが出て來ます、中年の方には寧ろこの程度のマニキユアの方が自然でお上品ですが、毎日爪磨きをするひまのない方はエナメルを

塗つ てお置きになるとずつと手數が省けます、エナメルもロシア女の塗つてゐるやうな眞赤なのは寧ろグロで、若い方でもピンク程度、中年の方ならなるべく無色のものをおすゝめいたします エナメルを塗る時は爪際の肉へつけない樣にムラにならぬやう縦に引きますが、色ものを使ふ場合は根元の三日月形の白い部分を殘して塗ると綺麗です、一層丁寧にするならば爪の先も殘して裏からネイル・ホワイトを塗ると倒引立ちます

手の お化粧は若い方なら清潔にしてさへゐれば結構ですが中年以後の方は水クリームに粉白粉少量を混ぜ、指のまたから全體に萬遍なく塗つて乾いたタオルで水分を拭きとり、目立たない色のパウダーを叩いてあとはよく擦り込んでお置きになると大變スッキリいたします、最後にお使ひのこしの口紅をごくうすく指の中心に縦に引いて全體にぼかしますと若々しいホッソリした指に見えます（内田秀子氏）

瞼が引吊る

【問】 二十三歳の女でございますが一年ほど前から左の眼が時々二重瞼になつたりヒキツツたりします。朝の十時頃までは一重瞼ですが十一時頃になると二重になり、夕方になると引吊るやうになるのです。體重は十四貫餘りのデブですが、何か手輕な療法がありましたら御教へ下さいませ（大連野津ビル女）

【答】 **一種の生理的現象** 女は二十二、三歳になつたら大抵目が凹むもので、一重瞼が二重になつたりするのも年齢による生理的現象で心配ありません、つまり疲勞が原因するのですからよく眠り、よく運動し、よく食べて全身の健康を計り、呑氣にすることが肝腎です（三根辰一）

こん夏海濱流行譜
オゾンに美しの肌も露は！ 珍無類の新型續出

今夏海濱を風靡するだらうファッションを覗いてみませう。

一 海水着 男子の方が大した變化を見ないのに反して婦人水着はオゾンと紫外線を出來るだけ吸收すると同時に、地肌の美を極度にまで發揮しようといふ目的から脚部は短く背中の「くり」が大きくなつて來た。34年好みは背中を充分深くしショルダーストラップ（肩ひも）をV字或はY字型にリングでとめた型。乳バンド式のものは最早喜ばれず、色はすべて明色となつてゐる。バニティフエアーの尖端を行くビーチドレス或はパジヤマ類は年を逐うて新型續出どう變化して行くかわからない 昨年あたりからワンピース長ズボン式のものが流行し始めたが、ツーピースのリリアン製セーター型で無地の腕に簡單な四色ほどの飾糸を配した清楚なものが喜ばれる樣だ。ケープは女學生を除いてはだんだん下火に向つてゐる。

海水帽 では矢張り三角帽がポピユラーで、ゴム製、纖防水一圓二十錢位。履物は海濱下駄といふ木製ハイヒールが三圓、ゴム靴カカト付一圓二十錢から三圓、スリッパーサンダル型も一圓位から各種である。

海のお もちや浮輪は昨年のファッショ全盛時代にはグロ味タップリのものが飛出したが今年は矢張り無邪氣なのが歡迎されるミッキーマウス、のらくろ人形などのかはり物とお定りの動物が第一位、四十錢から二圓半位で買へるが、このほか流行のゴム製ボートがある。一人乘九圓、二人乘で十八圓、坊ちやん孃ちやんにもてはやされる。

ビーチパラソルの新型にホロ式が出たが、これは日よけに效果が多いかはりに持運びに不便とされてゐる。十三圓から二十五圓、最後に手さげバックには角トランク型、ボストンバック型の合の子が發賣され出した。値段は三圓内外で、さびないファストラー留具が簡便で喜ばれる（寫眞はカロル・ロムバード孃のセンタン振り）

（24）

三つの秀美
ルーベンス作（1577—1640）

◇偶像破壞は新教徒勢力のクライマックス時代であり、宗教戰爭の激しく行はれてゐたフランドルはスペインの領土として北歐に於けるジエスイツト教派の要塞であつた、その藝術もスペインと同じく陰鬱な狂熱さ、法悦的熱情と、ヒステリカルなよく〳〵しさと、おしやれ風の、又常に宮廷的な流行とを想像するかも知れないが實はその正反對の現象であつた。

◇豪奢莊麗な寺院を持つ如く藝術も亦スペインのそれの如く禁慾主義や現世離脱の神秘主義や肉慾抑制を示さず、寧ろ官能的高調や、横溢せる活力や、現世的快樂主義を誇示してゐた、ルーベンスの濶達な頼もしい風格は作品上にも廣々とした野を走る大河の趣きがある、春日の如く朗かに、生命の爛熟と、滿花の三人美女の容姿は多面的で百千のカソリック的情熱を盛り、豐滿に、強烈に人體に烈しき力を加味してゐる。

◇彼は又社交、辯舌の才により再三大使として外交舞臺にデビウし、不偏不黨に役目を果し、同時に畫筆を以て國際の交情を温め、丁度日の出と共に生れ落日を見ぬ間に明るく、豪華に逝つて終つたと云へる、この宮廷的上流階級の畫家も騎士風にとりすました王朝藝術に飽き足らず彼の繪の筋肉描寫に見る如くむしろ平民的、プロレタリア的綜合の中から姿態藝術を派生してゐる。（河野想）

學藝
變つた銅貨の話 【二】
野本平泉

然らば何故不流通地方へ流れて行くかと申しますと、それは日に月に何千何萬と云ふ所謂苦力の群が支那内地より滿洲國へ移住や出稼に來る時、持つて來て奥地へ旅行の途中に使用するからです、勿論これは普通支那銅貨で改歴錢を指すのではありません。

さて、其の改歴錢の全總數は幾ら位現存して居るか、これは大きな問題であります、何分にも支那では正貨ですら確たる記録が無い位ですから民間で無軌道に造つた錢などに記録のあらう筈なく既に何等の文獻記録が無いとすれば現在數など全く見當がつきません、兎に角驚く可き多數であることは事實です。

地方に依り多少の相違はありませうが先づ現行支那銅貨全數の約二千乃至二千五百分の一位に相當する數があるであらうことは當らずと雖も遠からずと思ひます、それは私が去る昭和五年春より本九年春迄滿四ケ年間に支那銅貨を直接一枚づゝ手に觸れた數は約二百萬枚以上に上つて居りますが其の千分の一に當る二千枚餘りの改歴錢を撰り出しました。

調べた所は其の約九割は大連市内外で約一割の二十萬枚が州外附近及び奉天、安東方面で州外は全部錢莊で調べました、大連に於ても殆ど錢莊で一般商人や路傍で調べた數は恐らく二、三萬を出まいと思ひます。尚ほ錢莊などが多少高價に賣れる、といふ理由の下に特に撰り出して居る向もありますが私は一切買ひません。自分で撰れば右改歴錢の外に重打、片打、片面打とかその他稀少のものや、研究材料になるもの等が自然に入手する特點があり且つそれより大切なことは混入率の概算が判るからです。

今春漸く二千枚に達しましたので一先づ蒐集を打切り大體を左記の要領に區分し順次に其の變化の細い點に及ぶ可く調査研究を進めて居ります。

大別は、各省別（廣東省とか浙江省といふ如く）兩面の美醜、舊型露出、舊貨年號の鮮明のもの、新舊交錯のもの、改歴文字及龍の優劣、他省龍（表山東省で龍は福建省と云ふが如き文字の誤植及出鱈目文字）横打、異樣書體、同龍拙字亂書、三度打、片面打、兩面同打（兩面共光緒元寶とある如き）舊片面兩面打、舊日本錢、等々。

裏には浙江省の龍　同じ銅貨で表が山東省

私の所有數二、〇〇六枚の各省別は左表の如くであります。

一、光緒元寶 一、九七二枚（多數順）浙江省 一、二八八 湖北省 一九八、山東省 一七一、江南省 七五、廣東省 六五、北洋 六四、福建省 四二 戸部 二二、江蘇省 一三、浙江省三度打 七「片面二度打」五分錢龍陰陽二重打 七、日本錢浙江省 五、江西省 三、奉天省（黄銅型甲辰）二、同乙巳 二、吉林省 二、浙江省（黄銅當十）二、浙江省片面 二、日本錢北洋 一、清江 一、日本錢山東 一、

一、大清銅幣 三四枚 戸部丙午〇に東 一一、同丙午寧 一〇、同丙午 五、丁未〇に奉 二、丁未（四點）二、戸部丙午〇に皖 一、戸部浙 一 丙午〇に奉一、丙午〇に直一 合計 二、〇〇六枚

之れを要するに其の大部分は光緒元寶にして光緒元寶中の約七〇%は浙江省之れを占め大清銅幣は二千餘枚中僅かに三十四枚しか有りませんでした、併し事實は其の率に於いて、もつと澤山存在してゐると思ひます（カットは異樣龍）

新刊紹介

●我觀●（六月號）發行所東京京橋區銀座西五ノ三其社、價三十錢

●海防●（六月號）本月は航空を中心とした特輯號（發行所東京麴町區市政會館内海防義會、價廿錢）

●東邦時論●（六月號）發行所東京芝區琴平町四〇其社、價三十錢）

●戰友●（六月號）發行所東京麴町區九段一ノ五軍人會館事業部、價十錢

●大地展望●（五月二十日號）發行所東京四谷區簞笥町一二東亞之日本社、價五十錢

●ビタカ●（六月號）發行所東京本郷區本郷三丁目大藏出版會社、價十錢

●明德論壇●（六月號）發行所東京芝區愛宕町一ノ六明德會出版部、價十錢

●國際知識●（六月號）發行所東京丸の内二ノ十日本國際協會、價四十錢

●明倫●（六月號）發行所東京麴町區丸の内一ノ六其會出版部、價十錢

●中央佛教●（六月號）發行所東京牛込區矢來町一五四其社、價三十五錢

●心靈と人生●（六月號）發行所橫濱市鶴見町二三六六心靈科學研究會、價二十錢

●少年倶樂部●（七月號）いつに變らぬ豐富な内容で元氣一杯の少年たちの心を捉へてゐる、なほ今月號には漫畫遊戲ブック「ハヤブサ小探偵」の附錄サービスがある（發行所東京本郷駒込大日本雄辯會講談社、價五十錢）

●滿洲育兒雜誌●（創刊號）畏くも皇太子殿下が初のお節句を迎へさせられるに當り、また全國乳幼兒愛護週間實施に際し、滿洲育兒誌上聯盟なるものを組織し誌上を通じて乳幼兒保育に盡力する月刊機關誌として生れたが本誌である、なほ本誌には滿洲刀圭界の各權威を網羅し實際に即した懇切な指導を試ることになつてゐる、少くとも乳幼兒に關心をもつ各家庭に必備のものとして敢てこゝに推賞するものである（發行所大連初音町一滿洲育兒誌上聯盟事務局、價二十錢）

●俳句誌「土上」●（六月號）發行所、東京牛込區若松町八二、國民吟社土上發行所、價三十一錢

●短歌雜誌「青虹」●（六月號）發行所東京世田谷區下馬町三丁目六七六其社、價三十五錢

●俳句雜誌「北斗」●（六月號）發行所東京品川區東大崎三丁目二三三其社、價十七錢

縮減された支那共産軍勢力

【上】

蔣氏の第五次圍剿劃期的成功か

討伐の現狀と將來

上海特派員　日森虎雄

一、穏紮穩打主義

國民黨の共産軍討伐は回を重ねる毎にその規模も擴大され、上海停戰協定成立後非常な意氣込みで開始された第四次「圍剿」には八十一ケ師、二十九ケ旅、三十九ケ旅、總計六十三萬以上の大軍が動員されたがこの第四次圍剿も一部の地方を除いて遂に失敗に歸するや、蔣介石は從來の苦い經驗に鑑み極めて愼重なる態度を以て更に大規模なる第五次圍剿の準備に取り掛つた、この第五次圍剿こそは、國民政府の運命をも決する最後の決戰であつて蔣介石としても今度こそは言葉の上だけではなく實際に、切實に背水の陣を布かねばならなくなつたのである、そのため熱河問題落着後直に南昌に再出動はしたが急速に軍事行動は起さず、軍の配置、武器の充實、軍用品の調達

兵士の訓練等に數ケ月を費し

一方赤區の經濟封鎖を益々嚴にして、周到なる準備の下に愼重に作戰計畫を樹てたのである、故に所謂第五次圍剿は一九三三年の夏頃から開始されたのであるが同年の後半には激戰或は大部隊の衝突は全然見られなかつた、かくて國民政府の威令の及ぶところ殆ど凡ての軍隊が動員され蔣介石直系のみでも約七十萬に近い大軍が動員されたが、一方共産軍も熱河問題解決後中央軍が大擧攻擊し來ることを豫想し、福建方面へ進出して同方面の備へを固めると同時に全ソウエート區から壯丁、物資を徴發して長期抵抗の準備を整へてゐた、偶々同年末に至り李濟琛、第三黨十九路軍等の福建獨立運動が勃發したがため剿共計畫は多少頓挫したが、重大なる時期に直面してゐることを自覺せる蔣介石は遂に福建の武力討伐を決意し、一九三四年劈頭容易にこれを解決するや、三月蔣鼎文を廣東に送つて陳濟棠と協力剿匪に就て協議せしめた、その結果廣東側も從來より積極的に動くこと、なつたがこれ以來各戰線の討伐も漸次活況を帶びてきたのである、更に四月一日には南昌で剿匪軍事會議が開かれ、討伐に愈々第二期に入つて本格的となつた、かくて四月以來各戰線に於て共産軍の

重要なる根據地が續々中央軍の

手に恢復され、討伐は相當の効果を收めつゝあるが、今回の討伐に於て中央軍が採つた策略は極めて用意周到なもので、共産軍に隙を與へ、或は共産軍に乘ぜられるやうなことを極力回避した、卽ち討伐と道路構築を並行せしめて前線と後方の聯絡を確保し、又穏紮穏打主義（ぢり／＼攻擊する方針）を採つて一歩々々前進し、以て匪區を無形中に縮小し、更に共産軍に飛行機、重砲等がないのを利用して至る處に碉樓（高いとりで）堡壘を構築し防禦を鞏固にして共産軍の進擊を不可能ならしめたのである、中央側ではこれを穏紮穏打戰略、碉堡防匪交通清匪政策と呼んでゐるが、これは共産軍の策略たる「化整爲零」に對するものである、化整爲零は大部隊を瞬時にして分散し中央の虛を衝く策略の謂であるが今日まで討伐軍はこの共産軍の神出鬼沒の作戰によつて幾多の苦い經驗を嘗めてゐるので今回は石橋を叩いて渡るやうにして前進したのであるが、この穏紮穏打が今回の討伐に於いて大なる効果を齎したことは事實である、天津大公報記者は蔣介石、北路軍總指揮顧祝同及その他の要人と會見後、剿匪が勞多くして効少きは

一、官兵が剿匪に正確なる認識をもたず、從つて犠牲となるのを願はないこと、例へば熱河戰爭が起れば前線將士が紛々として北上抗日を請願した

二、官兵が動もすれば匪軍の遊擊戰爭に乘ぜられること

三、匪軍の組織嚴密なるに引換へ官軍の相互聯絡不充分なること

右の三つの原因に基くと述べてゐる、これは別に耳新しいことではないが、これらの

中央軍の弱點が今回の討伐に

於て莫大なる軍費、雲霞の如き大軍及び前述の策略によつて或る程度まで掩護されたのであらう、その結果さしも强大を誇つた江西福建の赤色區域も漸次縮小され、今後に於ける剿匪の進行は各方面注視の的となつてゐるが、今日までに於ける第五次討伐の經過を各方面に就いて略述すれば次の如くである。

二、北路軍の重壓

江西、福建の共産軍は一般の推測によれば約二十萬に達し、江西東北部の主力は方志敏部にして江西、浙江、福建三省境に據る、江西西部の主力は孔荷寵部にして江西湖南、湖北省境（大部分は江西省境にあり）により、福建方面の主力は羅炳輝、彭德懷部にして江西福建、廣東省境より福建省内にあり、江西北部の主力は朱德、毛澤東部にして江西、福建、廣東三省境の瑞金、卽ち中央ソウエート政府の所在地を中心とし、又江西西南部には李明瑞の率ゐる共産軍が蟠居してゐる、今回の討伐に於て蔣介石はこれらの共産軍を東、西、南、北の四路より包圍攻擊する計畫を樹て北路軍總司令に顧祝同、東路軍總司令に蔣鼎文、南路軍總司令に陳濟棠、西路軍總司令に何健を夫々任命し、自らは南昌行營に於て全軍に號令したが、特に北方の重要性に鑑み動員し得る限りの

直系軍の精鋭を悉く北部戰線に

集中した、從つて陳誠を前敵總指揮とする北方よりの重壓は最も强烈にして四月五日先づ紅軍の古い根據地たりし樂安南方の招攜が克服された、次いで討伐軍は南豐縣内の肅淸に移り甘坊、三溪圩、邃陂、白舍等を占領した上廣昌縣に入り、甘竹、大羅山等を占領後連日連夜共産軍と激戰を交へた、陳誠も自ら前線に出動して督戰したが共産軍側でも彭德懷が自ら第一第三軍團を率ゐてこれを邀擊し廣昌附近に於て未曾有の激戰が展開された、中央軍はその優勢なる兵力を以て長生橋、赤塌山、苦竹坑及び香爐峰一帶の險要と相前後して占領した後、四月二十九日早朝遂に廣昌縣城を奪取した、この廣昌占領は北路軍の剿匪開始以來の大勝利であるが、赤軍の俘虜の談によれば廣昌の役に於ける紅軍第三軍の死亡者は三千名以上に達しそのうち第四師の損害最も多く第三師、第六師がこれに次ぐと傳へられる、加ふるに側面より來つて第六路軍も古龍岡を占領したので共産軍は廣昌以南に陣を布くの止むなきに至つたが、廣昌を占領した中央軍は第十八軍の手によつて直に南豐、廣昌間二十華里の自動車道路を完成すると同時に廣昌の防備を益々鞏固ならしめた、また興安のソウエート政府は南方の關門筠門嶺が四月二十一日廣東軍のために占領されたので非常な脅威を感じ糧食、財物を瑞金、石城に集中し、全縣の男女十歳以下、五十歳以上のものを除きその餘は悉く瑞金に集中すべく命令したが、

中央軍はその强大なる兵力

を以て寧都、石城、興國方面へ迫るべく全般の準備を整へつゝありこれに對して朱德、毛澤東の率ゆる共産軍主力が如何に抵抗するかは各方面の注目を集めてゐるところである、中央側の消息によれば紅軍は傷病兵收容の困難と食糧品缺乏に惱みつゝあり、又戰區には至る處に避難民が充滿してゐるので江西省政府は樂平に避難民收容所を設立したと傳へられるが、蔣介石は各縣をして嚴密なる淸鄕善後策を施行せしめ、人民自衛、交通發展、農村救濟その他一切の善後策を視察、督促、指導せしめるため行營の高級職員を江西のみならず、湖南、湖北、四川、河南、福建の各地へ派遣した、また剿匪一進展と見た蔣介石は五月二十三日大要次の如き長文の「匪軍官兵に告ぐるの書」を發表しその投降を勸說した

匪軍の官兵諸君……諸君は最近中央軍に圍剿された結果諸君の主力は日に崩潰し、諸君の勢力範圍は日に縮小し、今廣昌も既に陷落し、建寧、泰寧も相次いで中央軍に克服され諸君の全部的消滅は眼前に迫つてゐる、諸君の一切の最後の擾亂は自己の墳墓を掘るに等しい、所謂查田運動は農民を分化せしめ、紅軍擴大運動は欺瞞、脅迫によつて十歳の子供をも砲火の中へ送り紅軍家族優待も徒らに孤兒と寡婦の怨恨を深めるのみである……諸君は今最後のドタン場に立つてゐる、諸君は

鐵の桶の如き國軍の包圍を

如何して脫出出來るか、如何して空軍の爆擊に抵抗し、嚴密なる封鎖を打破し、彈藥を補充し得るか、これは諸君の致命傷で魔術を以ても解決出來ないことであるが、本委員長は玉石俱に焚くを欲せず、國家の元氣を保存せんがため諸君に最後の更生の機會を與ふるを以て直ちに覺醒して投降すべくモーゼル銃一挺を携へて投降するものには三十元、銃一挺携へて來るものには二十元、機關銃一門携へて歸來するものには二百元の賞金を給すべし

三、東部方面の戰況

東部戰線も東路軍總司令蔣鼎文と南路軍の陳濟棠との打合せ終了後漸次活氣を帶び來り江西、浙江福建方面と福建中南部に於て活潑なる行動が開始された、方志敏の指揮する江西、浙江省境方面の共産軍は數萬に達するといはれ常に東路軍に對抗して玉山西方の臨江湖、秘姆由、鄭家坊一帶を荒してゐたが、同方面は浙江、江西交通の要路なるため浙江省保安處長俞濟時も玉山に出動して督戰し、漸くこれらの地方を回復したところ紅軍第十軍周建兵部隊約六千餘は樟村方面から臨江湖を擾亂し玉山縣城をも攻擊せんと企てた、こゝに於て中央軍との間に鄭家坊

台湖附近で激戰が展開された

が共産軍は遂に橫峰縣境へ向つて潰走した、その後方志敏部は倉塲夫附近に出で再び臨江湖を奪取せんとしたが果さず、浙江省境へ向はんとして紅軍第十軍は警戒中の討伐軍と龍山で交戰後虎尾一帶へ退かんとしたが討伐軍の伏兵のため大打擊を蒙り、橫峰縣の朝當及び黃藤橋に據つた、間もなく梁立桂師は橫峰屈服の命を受け數ケ師の兵力を以て上饒より進擊し、又趙旅は河口から進擊して大王渡の北方に於て紅軍第十軍と激戰し趙旅は遂に橫峰を距る僅か四華里の文筆峰に到着した、次いで方志敏の古い根據地たりし萬年、貴溪、弋陽、餘江を境とする周方、三了橋、河橋も五月中旬討伐軍の手に恢復され、五月二十二日午前には贛（江西）東北赤區の中心橫峰も遂に陷落して紅軍第十軍は葛源に向つて退却した、かくて方志敏の共産軍も根據地を失ひ各地を轉々としてゐるが、福建北部に於いても順昌、將樂、沙縣、崇安、邵武、光澤一帶の赤軍は四月始め完全に肅淸され、泰寧、明溪も相次いで克服された、四月十八日永安は共産軍の手に奪回されたが、五月十日討伐軍に恢復され盧邦の部隊が先頭に入城した、かくて福建北部の赤軍根據地は殆ど失はれ、紅軍第三、第七、第九各軍團は歸化、安遠及び長汀、連城以西に最後の防禦線を構築した、蔣介石は七月までに長汀を恢復すべく嚴命したが龍巖、長汀間の公路未完成のため總攻擊までには相當の時日を要するものと見られる、四月二十五日東路軍の前敵總指揮衛立煌は延平に至り杉口、將樂一帶の紅軍攻擊を指揮したが

沙縣の共産軍も中央軍に擊退

されて五月一日歸化の西方へ逃走した、また五月上旬討伐軍の福建西部新橋占領後、紅軍第一、三、五、九各軍團約五萬人は猛烈な勢ひで反擊を試みたが討伐軍は飛行機を繰り出して防戰し僊姑山を包圍して上杭、白沙一帶へ進出、五月二十八日第八十三師は上杭縣の舊縣を占領し、共産軍は龍巖、長汀縣境の古田、石門一帶へ逃竄するに至つた、討伐軍側の計畫は東路軍は連城、長汀、南路軍は筠門嶺、會昌、寧都、北路軍は興國、瑞金を目指して進んでゐるが、北方の興國附近とともに東方の連城附近でも連日激戰が展開され、東路軍總司令蔣鼎文は樟州に於て前線を指揮しつゝあつたところ六月二日廈門電によれば六年前共産軍に占領され、今日まで共産軍の福建赤化工作の重要地點として長汀とともに重視されてゐた連城は五月二十五日來の戰ひの結果、六月一日午後第九師李延年部のために占領されたと傳へられる、この連城の陷落は事實とすれば共産軍にとつて非常な打擊と見られてゐるが、これによつて討伐軍は上杭、連城、歸化、建寧の線に進出し福建に於ける共産軍の重要根據地は長汀、建寧を殘すに過ぎなくなつたわけである

四、南路軍の北上

從來廣東のみの安全に滿足してゐて共産軍の積極的討伐を怠つてゐた南路軍も蔣鼎文と陳濟棠の會見により中央から更に軍費の支給を受けた上協同討伐を進めることに決定し、南路軍總司令陳濟棠は四月一日遂に總攻擊の命令を下した、廣西の李宗仁も陳濟棠の要求により江西剿匪のため一箇師增派を快諾し、これを第四縱隊に編成して黃賓鉞を指揮に任じたが、廣東側の作戰計畫によつて第三軍長兼第二縱隊指揮李揚敬は東路を擔任して筠門嶺に進擊し、第一軍長兼第一縱隊長余漢謀は西路を擔任し古陂に於て督師することに決定した、筠門嶺は會昌の門戶をなす重要地點であるが、この要隘克服の命を受けた李揚敬は四月十日平遠行營に於いて黃任寰及び行營高級職員とともに筠門嶺攻擊の會議を開き作戰計畫及び萬端の準備に就いて協議した結果

戰略的必要から東路軍をして

長汀方面を攻擊せしめるため參謀長歐陽新を樟州の蔣鼎文のもとへ派遣し、筠門嶺は福建省境武平方面から左、右、中の三路に分れて攻擊することに決定し、四月十五日までに萬端の戰備を整へた上總攻擊に移り、李揚敬の部隊は福建方面から黃任寰等の應援を得て大激戰の後四月二十一日遂に筠門嶺を占領した、筠門嶺は赤區の南方の關門をなし、同地の陷落は共産軍にとつて非常な打擊であるため共産軍は死力を盡して筠門嶺奪回を企て猛烈な反擊を試みると同時に白埠、石門一帶に堅固なる防禦工事を構築し、討伐軍の前進を喰ひ止めんとしてゐる模樣である、一方李揚敬の第二縱隊は東堡、桂坑、羅塘八、盤古隘等をも占領し近く會昌の紅軍を攻擊すべく準備中であると傳へられるが、余漢謀の第一縱隊も安遠、版石、信豐、贛州の各地及び三南一帶に集結し、東龍布を衝いて會昌、雩都間の紅軍の聯絡を遮斷せんと企て贛江東岸に向つて進擊を開始して東坑、蕭屋等の赤軍根據地を占領し又第一軍直屬の教導團、謝錫珍部及び贛南警備團赴務部の兩部は南康一帶の治安維持を擔當し、諸縣の剿共團を督率して殘匪を討伐中である（つゞく）

共產軍勢力過去現在比較　黑線圈內舊勢力　斜線圈內現勢力

湖北省　安徽省　九江　鄱陽湖　南昌　樟樹　萬載　吉安　永新　瑞金　延平　福建省　廣東省

祝參拾週年　壹萬號記念

大阪支社

資本金壹阡萬圓

營業要目

一、公社債ノ引受募集
一、公社債ノ賣買
一、公社債ノ元利金支拂代理事務
一、手形金融並ニ證券擔保貸出

野村證券株式會社

大阪市東區安土町二丁目

支店　東京、名古屋、京都、神戸、岡山　廣島、門司、福岡、金澤、新潟、紐育

藤本ビルブローカー證券株式會社

大阪市東區北濱五丁目三十番地

支店　東京、名古屋、神戸、門司、横濱　京都、金澤、福島、岡山、廣島、福岡

滿洲海陸運送株式會社

本店　神戸市神戸區榮町通二丁目

支店　大連市山縣通一九九　新京特別市大馬路四九

所有船
南滿丸　九・五二一重量噸
北滿丸　九・四八三同
滿泰丸　九・〇九〇同
滿星丸　一二・一九一同

株式會社 富士洋紙店

大阪市東區備後町三丁目

出張所　神戸・大連・新京

Voigtländer

斯界最古の歴史を有す

カメラ界の最高峰

ホクトレンデル・カメラ

最新型品各種入荷

各地寫眞機店にて販賣

總代理店

小西六本店

大阪市南區長堀橋
東京市日本橋區室町

型錄進呈

REG. TRADE MARK

"VANCO"

HIGH CLASS FOUNTAIN PEN
TWO COLOR PENCIL

代表的名品

萬古

絕對信用の出來る品質と値段と商標

萬古本舗
江藤株式會社大連出張所
大連山縣通一五八

"All Kinds of Printed Matters & Tobacco Materials"

印刷・紙器　煙草材料

THE INSATSU KOSHO PRINTING CO.

大阪 印刷工廠

President: YOZO SAWADA

HEAD OFFICE:
Minami-Hommachi Nichome, Higashiku, OSAKA

BRANCH OFFICE:
Manager: YONEZO NOMURA
No. 9 Kisomachi, Moukden, MANCHOUKUO.

社長　澤田要藏

本社　大阪市東區南本町二丁目
電話　(代表)船場三〇一六番
工場　第一工場・第二工場・淀川工場

滿洲國出張所　奉天市木曾町九
電話　日電二四四五番

所長　理事　野村米藏

帳簿書籍手帳用革
鞄・袋物・靴用エナメル革
椅子張用革

防寒用　革帽・毛皮帽　革服・革手袋　製造販賣

合名會社 MM 森川商店

自家特製革座蒲團
陸海軍帽子
附屬品並ニ原料

大阪市南區長堀橋筋一丁目五
電話南四六五番
振替大阪三四九七三番

スポーツ

鐵道省柔道軍を迎へるに際し

小谷澄之

吾が滿洲軍が鐵道省軍と相見えることこゝに三回、一昨年は當地に於て第一回戰、昨年は滿洲軍の內地遠征に際して東京において第二回戰、今年は又鐵道省軍の當地遠征により來る二十四日中央公園假道場において第三回戰を決行致すことは實に斯道獎勵上有意義なことにして欣幸に堪へない次第であります。

第一回戰は不戰三名を殘して滿洲軍の勝利に歸したが第二回戰は無勝負に終り吾が軍をして心膽を寒からしめたのである、かく鐵道省軍の陣容は毎年急速度に充實を計り今年の如きは五段十四名、四段十七名、三段三名と云ふ三十名の選手に四段、五段のみを以て編成なし得る陣容は實に滿洲軍のために強敵である、鐵道省は毎年本省に於て省內對局柔道對抗試合を擧行し柔道の普及發達を計りつゝあり、今般鐵道省軍は各局よりの精銳を網羅し來滿することゝて四段以上のメンバーを三十名編成することは大いした困難でもあるまいそれに對する吾が滿洲軍のメンバーは殆ど新顏である、新顏であると同時に、二十代の青年ばかりであることが滿洲軍の非常なる強みである。

立つては東都においてその妙技を振ひし多數の新進を有し、寢技に至つては北大、東大、京大、大醫大の大將、副將級の選手をメンバーに有し本年の滿洲軍の陣容は鬪志そのものである、前半に參段級が可成り多いが滿洲參段の實力を充分に發揮し四段に對して遜色なきものと思ふ、全般を通じて多少滿洲軍が段位が低度であるかもしれぬが潑剌たる意氣はそれを償つて餘りあるものと思ふ、只鐵道省軍が十九日東京出發以來二十二日午後七時三十五分大連驛到着まで連日連夜汽車旅行をされることは實に氣の毒であるが幸ひに自重され充分に睡眠をとられつゝ御來滿を待つわけである、此度の兩軍選手の顏觸れは殆ど二十代の青年であることが試合をして一層活氣あらしめることゝ思ふ、技量は兩軍とも大體伯仲し、前半多少滿洲軍がおされ氣味ではないかとも思ふが中堅以後は堅實なる試合を見せてくれることゝ思ふ、特に固技に自信を持つ選手がうまく機會を捕へれば相當の成績が得られる、要するに此度の試合は青年同士の戰ひであつて意氣の盛んなる方が勝つ技量は兩軍とも甲乙はないやうに思ふが只遠征軍となると、どうしても身體の狀態が多少惡くなるので鐵道省軍にとりては氣の毒であるが必ずや鐵道省魂を以て奮鬪されることでありませう、幸ひに自重を祈る、遠來の友を待ちつゝ。擱筆。

スポーツ異聞

米國の國技ベースボールは今や完全に全世界を席捲するに至つた。日本人の野球熱は今更繰返していふ迄もなからう。巨人軍の強打者ルウ・ゲーリッグ選手なぞ「日本人の野球熱は正に狂氣沙汰ですよ」と讃美?してゐる、所が南北アフリカ、南米各國それに赤いお國のロシア迄野球熱に浮かされて居るのだから凄い。一九三二年七月チュニスの米國チームと試合した事があるが流石に國際的な植民地だけにチュニス・チームにはアラビヤ人、イタリー人、フランス人、トルコ人、ギリシヤ人、スペイン人、ポルトガル人等毛色の變つた所が澤山出て流石のヤンキーの度膽を拔いたさいふ。南アフリカでも蹴球やクリケットは漸く下火で野球熱が旺盛だ。ヨハネスブルグだけでも野球のチームが八つもありケープ・タウンのチームの如きトランスヴアール各地遠征に出かけるといふ有樣、南米ではヴエネズエラが第一で野球は殆ど國技となつて了つた。カラカス、マカライボ、ヴアレンシア、マチカイ等各地にも夫々チームが出來都市對抗戰などが盛に行はれて居る。メキシコやキユーバ等中米各國でも相當野球が盛んだ。歐洲でもフランス、イタリー、スペイン、ポルトガル、ルーマニア各國では近頃漸く野球熱が勃興するに至つた。モスクワでも體育學校で野球を正課とし米國人が手ほどきしてゐるさいふからその內に野球が國際オリムピック大會の種目に擧げられるのも遠い將來のことではあるまい

スポーツ用語辭典

チヤツクル（野球）守備者が球を手の中で轉々さすことを言ふ

チヤレンヂ（全般）戰を挑むことを言ふ、前年度の選手權保持者と戰ふ資格を得たものをチヤレンヂアーといふ

チユウセンウマ 抽籤馬（競馬）競馬俱樂部が一季に十頭乃至二十頭の新馬を購入しておいてこれを一定の値段で會員中の希望者へ抽籤で分讓するこれを抽籤馬と言ふ

日本棋院 春季大手合戰譜

（第七局）先相先先番　四段 島村利博　三段 宮下秀洋

制限時間各八時間（但し一分以內は切捨）

●六一れノ二（5分）　○六二たノ二
●六五そノ八　○六四そノ四
●六九りノ四　○六六ぬノ一（2分）
●七三ぬノ十一　○六八ちノ四（3分）
●七七るノ十二　○七〇りノ十一（1分）　○七二わノ九
●六三そノ二　○七四ぬノ十二　○七六わノ十二
●六七ちノ三　○七八よノ十二　○八〇つノ二
●七一をノ九
●七五るノ十一
●七九つノ五

所要時間累計（白 二時二十八分／黑 一時三十八分）

—【4】—

對局者の言葉 （黑）六十一のノビ出しは、三十七、三十九の時からの筋ですが、今がその時機と思ひましたので—（白）六十六の拔きは、六十八、七十と攻擊に移る準備ですが、畢竟七十のポーシなどは無理たるを免れません、此の邊既に非勢なのです

（黑）七十一のノゾキは、白七十が來たので惜しまず打ちました、それに（わ七）にツケ白（た七）黑（た八）とキル狙ひを含んで居るのは申すまでもありません

（白）七十四、七十六は調子ですが、黑七十七と曲られては、七十八とオサへて見ても何となく白の手薄いのを掩へません

（黑）白七十八と包圍されては、七十九と置き、白八十に次いで（そ五）と先手で二目キツて居る時期でせう

戰の跡

◇黑六十一のノビ出しから白六十四までは必然の應接、そこで黑六十五とオサへたのは、七十九の置きを見て手厚い着手である◇白六十六以下七十と攻擊に移つたが、黑七十一のノゾキが利く處なので、きびしい攻めは到底期待出來ない◇黑七十一で單に七十三にツケても白（ぬ十）とハネ出すのは、無理だが、黑が（か九）からノゾく筋のない處だからかくノゾいて了つて惜しくない許りか、白七十を打つては眞逆に黑七十二と突拔かせるはがない、若し突拔かせると、七十の石が腐つて來る◇黑七十九に對して白うつかり（そ五）にツガふものなら黑（た一）白（よ二）黑八十と下られて攻合が白負けになる

本社特選 新棋戰【其六】

平手　先 五段 塚田正夫　五段 坂口允彥

【圖は二六龍迄の局面】

△八六歩　▲七六銀　△三六銀　▲八七銀　△同玉　▲三五歩　△三七銀　▲一五龍　△三五銀　▲八五歩

△塚田氏持駒 銀歩五ツ

△七六玉　累計六十三手

土居八段講評

坂口君の七六銀打は面白い手段の如く看ゆるも、攻めが續かない、目下の狀態は自營に危險の憂れなき故急ぐ必要はない、五三銀以下此の銀を七筋へ繰り出して徐ろに攻勢を圖らば棋勢有望である、塚田君の三六銀打以下の防手は強くして面白い、坂口君の一五龍は以下逃げ場所に窮する故二二龍と退き、而して六二の銀を戰線に繰り出すことろ。

萩原七段解說

坂口氏の七六銀は、同銀なら同龍、七七銀八七銀、六八玉、七五龍と指して敵玉の形を亂す目的であるが、僅かに二八歩と打つて敵に手駒を費さす方針に出ても棋勢は絕對有利であつた。塚田氏の三六銀は、敵龍の横利きを阻止する意で、續いて三七銀は、三五同銀では七六銀と打たれて惡いので敵龍の壓迫を圖つたのである。坂口氏の八五歩は、同歩なら同飛、八六歩、七六飛と廻る含みで、塚田氏の七六玉は、七八玉では八六歩、八八歩と上つて八五歩の取込を殺し敵に七六銀と打たれて惡いので七六玉と上つて八五歩の取込を殺したのである。

ラヂオ 二十一日

大連（JQAK）（六五〇KC）

午前の部

關東州防空演習第三日

拂曉　大空襲及地上戰鬪實況＝早苗高等小學校屋上より中繼＝アナウンサー平島

六・〇〇　ラヂオ體操
六・三〇　ラヂオ體操
七・〇〇　關東州防空演習＝大連運動場前廣場より中繼＝アナウンサー平島（一）野外演習參加團體觀兵式實況（二）大連防護團閱兵及大連市學校生徒防空獻金式實況（三）關東州防空演習講評—關東州防空統監陸軍少將鏡山巖（四）大連市防護團に對する訓辭

一一・〇〇　經濟市況、公設市場値段

午後の部

〇・〇五　經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況、ニュース
五・三〇　支那語講座「テキスト第八十二課」滿鐵學務課秩父固太郎
六・〇〇　ニュース、職業紹介事項
六・三〇　（仙臺より）講演「偏に就て」東北帝大敎授工學博士池田謙三
七・〇〇　（京城より）民謠—一「栗賣りの唄」全詩鮮編曲、二「懸の南大門（邦語）全詩鮮作曲、三「機織りの唄」全詩鮮編曲、四「桔梗の唄」全詩鮮編曲（唄）姜石燕（伴奏）DK調和樂團、朝鮮雅樂—一、大笒獨奏「堯天舜日之曲」二、合樂「壽延長之曲」＝李王職雅樂部演奏所より中繼＝李王職雅樂部員、大笒獨奏金永根、指揮雅長師長咸和鎭
七・三〇　（東京より）管絃樂「交響ト短調モーツアルト作曲」日本放送交響樂團、指揮レオニード・クロイツアー
八・〇〇　（東京より）新內「千日寺名殘鐘」（三勝緣切の段）淨瑠璃、三味線富士松加賀吉、淨瑠璃富士松津賀吉、上調子富士松和佐の助
八・三〇　（東京より）時報
八・三一　ニュース、氣象通報
八・五〇　琵琶「月照と西鄉」名古屋高田旭邦

奉天（MTBY）（八九〇KC）

午後の部

〇・〇五　經濟市況
〇・三〇　ニュース
一・〇〇　演藝（滿語）
三・三〇　經濟市況
四・〇〇　官廳其他公示事項、局よりのお知らせ、ニュース（滿語）
四・三〇　ニュース、番組豫告
四・五〇　ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間
五・三〇　時事解說（滿語）
五・五五　氣象豫報、番組豫告（滿語）
六・〇〇　全國ニュース
六・二〇　滿語講座高宮盛逸
六・四〇　日語講座植松金枝
七・〇〇　（京城より）民謠（大連に同じ）
七・三〇　（東京より）管絃樂（大連に同じ）
八・〇〇　（東京より）新內（大連に同じ）
八・三〇　時報、全國ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇　演藝奉派大敎「黛玉悲秋」奉天天合茶社曲蓮玉、劉占廷

新京（MTCY）（五七〇KC）

午前の部

六・〇〇　ラヂオ體操
八・〇五　經濟市況
一〇・三〇　ニュース
一〇・四〇　經濟市況
一〇・五九　時報、滿洲レコード
一一・三〇　ニュース（滿語）
一一・四〇　ニュース、經濟市況

午後の部

〇・〇五　經濟市況
〇・三〇　演藝（滿洲レコード）
一・〇〇　演藝（滿語）艷春院雲霞
二・五〇　經濟市況、ニュース
三・二〇　ニュース（日滿語）
三・三〇　經濟市況（日滿語）
四・三〇　ニュース（滿語）
四・四〇　ニュース（鮮語）
四・五〇　ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間
五・三〇　時事解說（滿語）
五・五五　氣象豫報、プロ豫告（滿語）
六・〇〇　ニュース
六・二〇　「滿語講座」講師 高宮盛逸
六・四〇　「日語講座」講師 植松金枝
七・〇〇　（京城より）民謠（大連に同じ）
七・三〇　（東京より）管絃樂（大連に同じ）
八・〇〇　（東京より）新內（大連に同じ）
八・三〇　時報、ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、プロ豫告
九・〇〇　演藝（滿語）双王班連花

京城（JODK）（九〇〇KC）

午前の部

六・〇〇　（東京より）ラヂオ體操
六・三〇　（東京より）基礎獨語講座（三十二）橋本忠夫

午後の部

〇・〇五　喜劇「枯木に花」第一景大阪寺天王寺公園、第二景甲田輝男の宅、曾我廼家文福一座（配役）サラリーマン甲田輝男…（曾我廼家文福）その妻政子（島村玲子）會社員乙村敬一（三島六郎）その妻辰子（田中操）その他失業者A、B、C其他大勢
〇・四〇　ニュース
二・〇〇　家庭講座「人生に於ける信仰の重要性」（第二回）信仰ある人生丹羽清次郎
四・〇〇　ニュース、職業紹介事項
四・三〇　野球試合實況（京城中等學校リーグ戰）—京城グラウンドより中繼—善隣對京中
六・〇〇　（札幌より）童話劇「熊まつり」札幌子供小劇場、作さ指揮新妻清
六・二〇　（東京より）コドモの新聞關屋五十二
六・二五　（名古屋より）英語講座（五の八）若林秀三
七・〇〇　ニュース、天氣豫報
七・三〇　講演「滿蒙旅行を終へて」井上享
八・〇〇　—京城より全國中繼—民謠、朝鮮雅樂
八・三〇　（東京より）管絃樂
九・〇〇　（東京より）新內（大連と同じ）

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談　一、ラヂオに關する一切の事項
小規　一、ハガキに限る
　　　一、宛名 大連市東公園町滿洲日報社內「ラヂオ相談係」

昭和九年六月　滿洲日報社

爆彈雨飛の埠頭に防火班必死の活躍
菱刈軍司令官も督戰

廿日午前中一回空襲したる敵は午後に入り更に猛襲に次ぐ空然と空襲を敢行した、卽ち正午前後旅順港子窩、黄阱子等より敵機來襲を頻繁に報ずれば防衛司令部は防空飛行隊に下命し、午後零時五十六分非常警報を發令、滿を持して待つうち一時十六分爆撃機二機次で民間武裝機一機の來襲あり、わが友軍戰鬪機三機はこれを邀へ撃ち高射砲、高射機關銃等も一齊に猛射したが敵機は勇敢に楓町、西廣場、濱弓町、朝日町交叉點、浪速町、關東館、小崗子昌光硝子會社等に爆彈を投下し防護各分團の作業目覺ましくつぎに埠頭に飛來して埠頭事務所に燒夷彈を投下したるも防火班の大活動により損害些少に止まり殊に埠頭内外は菱刈軍司令官の督戰裡に大煙幕を展開したため敵機は完全に欺瞞されて同二十六分機影を沒し非常警戒も同五十四分解除された

振りを示し見學者に多大の教訓を與へ同四十分終了した

防護團の人員　四千八百廿一名

防護團本部の發表によれば防空演習に參加の防護團人員は合計四千八百二十一名にして一般四、四八五名、學生一三〇名、青訓九八名婦人一〇八名であり分團別に見れば本部一五一名、中央分團一、七三六名、小崗子分團八八七名、沙河口分團一、三四九名、水上分團六九八名である

旅順の防毒演習

十時二十分旅順ヤマトホテル前廣場に毒瓦斯彈が投下されたとの想定の下に要港部港務部員による防毒演習は枝原司令官以下幕僚並びに菱刈長官、日下、大場兩局長その他學生等が見學して行はれたが、ガス彈の投下と共に數名の負傷者を生じヤマトホテルは猛火に見舞はれ急報に防毒隊は消防隊と共に出動し、防毒衣ガスマスクに身を包んだ防毒隊は先づ毒ガスの性質の檢査をなし「イペリットガス」と檢出されるや忽ちに消毒用晒粉を撒布し消毒する一方、窒息者、負傷者には人工呼吸手當を施し、病院に收容し又消防隊は忽ちにして數本のホースを以つて防火に努めるなど頗る迅速に統制ある活躍

物凄い空襲下に一糸亂れぬ防護
水上分團各班の活動

白雲の樣なガスの流れの間から蒼空が覗き、十九日午後に至つて水上分團はいよ〳〵戰時氣分が高潮する、午後一時防護團本部より右共少將、岡野市助役、大内市會議長、滿鐵より村上理事、吉富港灣課長等が最も樞要な地域を擔當する水上分團に來り防空防護演習ぶりを視察する、中村指導官の指揮下に水上分團各班は一糸亂れぬ統制ぶり夫々配備をゆるがせにせずスワ、と何時でも動ける樣に

待機姿勢をとる、午後一時三十分、非常管制警報が發せられ再び埠頭一帶は交戰狀態を呈す

午後一時半甲埠頭附近に持久性ガス投下されこゝに猛烈な毒瓦斯の襲ふところとなりこのうちを防毒人命救助の演習が行はれる、赤十字自動車がくる、タンカが運ばれてバタ〳〵斃れた負傷者、中毒者を巧な熟練ぶりで救護班に運ぶ、かくて一息する間もなく一時五十

演習第二日（上）大連埠頭の摸擬火災（下左）本社ルーフに於ける大連防空隊作戰本部の緊張―向つて右より加藤少佐、松尾少佐（大連防空隊長）、原大尉、北島中佐（審判官）

二回に亘つて夜襲
燈火管制を行つて防護

午後七時三十分大膽不敵なる敵重爆二機は、進路を北東にとりつゝわが大連市上空を襲はんとした、暮色漸く迫つて未だ西空はあかねに染まつてゐる頃全市は大事をとつて直に燈火管制を行つたが敵機は高度二千米を保ちつゝその魔のやうな黑影を現し上弦の月をさへぎりつつ悠々大連市を爆撃せんとし、五ケ所の照空隊は直にこれに猛烈なる光を浴びせ、高射砲隊は全能力をあげてこれを邀へうつ敵機は巧にわが防空隊の彈と光をさけつつ旺んに燒夷彈（赤吊星）瓦斯彈（青吊星）を投下したが、遂に交戰十分餘にして西方に擊退一時燈火管制を解くを得たのであつた、然るに旅順を襲擊した敵海軍の攻擊機三機は餘力を以て八時四十五分突然大連市を襲擊して來た、四度目の空襲だ、市民は再び緊張裡に燈火管制を行つて敵に備へたので流石の敵機も數發の燒夷彈を投下したのみで西方に逃れ去り午後九時十五分警報解除

六分燒夷彈が十號倉庫附近に投下され火焰は見る〳〵うちに擴大してこの一彈はまさに大事を惹き起すのではないかと憂慮されたが、急報によつて

消防隊が駈けつけ二時八分漸く消止めた、同火災演習は特に模造家屋を燃やしただけに實感がこもり手に汗を握らせる、この時更に執拗な敵機は再び上空に現れて東濠附近に爆彈五發を投下、しかも悠々と旋回してゐたが、沈默を守つてゐた高射機關銃隊が打ち頃とダダダ……と猛射を浴びせる、敵機は戰ひ利あらずと見てか引揚げたが二時二十五分東港口附近海上航行の防空丸が海上火災を惹き起し、鳳鳴、南島、北島各船が急航これを消止め南島丸にて負傷者多數を救助し何處でも見られない海上演習が華々しく幕を閉ぢた、この問題根分團長、江原、杉本兩副分團長はとくに分團各班の

活躍狀況を視察するところあり、本部より巡回中の岩井少將等一行もすこぶる滿足して大連防護團本部に引揚げた

海軍機大連へ

旅順防護の任務を帶び殺軍練兵場に居つた海軍戰鬪機三機は二十一日早朝旅順を襲擊した海軍機二機を邀擊しこれを擊退した後廿一日午前六時殺軍練兵場上空において種々高等飛行を行ひ大連に向つて歸還する筈である

再び埠頭に

午後三時五十分再度非常管制警報が發せられ、同五十五分敵機は埠頭ビル上空に現れ各班員一同の努力により夫々善處し敵機また猛射に堪へかねて逃げ午後五時十分一まづ警戒を解いた

防空部隊活躍
見事に敵機を擊墜

市内各所の防空部隊は午後一時過ぎより愈々緊張して空襲に備へた忠靈塔、大連運動場、北崗子、ロシア町機關庫前、碧山莊の五ケ所にある聽音機分隊は敵機の爆音を搜索し、連鎖街前廣場に在る第二高射砲隊は樞要な地位にあるだけ隊長竹本中尉指揮の下に一時五十分連鎖街東北方に敵機を發見猛射を浴びせ約十四分にして午後二時十分つひに敵機を擊墜、第二高射砲隊は凱歌をあげて射擊を中止した、次いで三時三十七分敵の輕爆二機が上空に機影を現すや壯烈なる砲火を集中したがこの時既に敵機は友軍の戰鬪機のために空中において擊墜されたので四時四分射擊を中止して愈々敵の夜襲に備へた、連鎖街高射砲隊は中心地帶だけに市民の見學多く日滿人は壯烈な高射砲の砲火に執も驚異の眼をみはつてゐた

少年團も出動し救護に助力
中央分團の活動ぶり

中央分團午後の防護演習は第一地區、日本橋橋畔において火蓋が切られた――午後一時五百メートルの高度を保ちつゝ魔の如き敵機が姿を現ぜば、大連郵便本局屋上の機關銃は一齊に亂擊を加へたが、敵機は橋梁破壞を目的に爆彈を投下、續いて毒ガス、催淚ガスを地下に投げつけ雲間に機影を沒して了つた、地上の防護各班は大活動を開始した、中にも負傷者收容に日本橋少年團が出動、可憐な姿を大人と混じつて立ち働いてゐたのには、いかにも非常時風景であつた、かくて午後二時三十分警報解除の命令が下つた、續いて午後一時三十分から二時三十分まで第二地區分團は東廣場を中心に防毒演習、土佐町から東廣場にかけて救護及び防火演習を、更に第三地區分團は青雲臺一帶にかけて防毒、櫻花臺から青雲臺に亘り救護並に避難所管理、防火等の大演習を成功裡に敢行した、續いて午後四時から五時までの演習は第一地區分團敷島廣場、聖愛醫院附近一帶にかけて、第二地區分團千代田町消防屯所附近、久方町を中心として第三地區分團文化臺、若狹町一帶にかけて防毒、救護、避難所管理防火等の實習を行つた

演習第二日のスナップ

◇…午前八時四十五分大連大廣場民政署の上空において彼我兩軍の飛行機遭遇、猛烈な空中戰を演じた、敵機目がけて打ち出す連鎖街前空地の高射砲殷々として朝空に響き渡り早くも演習氣分を濃厚に織り出したが、この空中戰をきつかけとして地上の防護團は頓に緊張、それ〴〵活動を開始した

◇…本日の演習は豫定時間なく不意打ちの戰法に出られた爲め各分團では飛報到る毎に一寸狼狽したが、それでも前日來の訓練で忽ち一糸亂れぬ統制下に行動を起し指導官の面上にも滿足してゐた

◇…なほ中央分團午後の主なる演習豫定は三時から四時まで、常盤橋天滿屋ホテルを中心に最も大規模な演習あり、菱刈軍司令官、鏡山統監の臨場あり四時三十分から五時三十分まで大廣場を煙幕で掩ひ隱し爆彈投下の標的を晦まさんとする珍しい演習が行はれる筈

工大出身澁谷氏朝陽鎭で慘殺
案内者は辛じて逃走

【奉天特電二十日發】來る七月頃新鑛業法が施行されるといふので愈々鑛物資源の開發が出來る事となり山から山に資源を求めて跋渉する鑛山技師が最近多くなり之等は地方匪賊の出沒にも氣を留めず勇敢に活躍し黃金の扉を開く可く努力して居るが、去る十九日午後六時頃輝南縣から朝陽鎭に向つた大滿洲採金公司奉天出張所員澁谷慶治（三〇）氏は綠川某の案内にて某農村に到るや匪首不明の百數十名の匪賊に襲擊され綠川は賊團の隙を見て危地を脫走したが澁谷氏は賊のために人質として拉致されたので、その後賊の行動について調査中であつたが、本朝に至り輝南縣郊外において賊のために慘殺されてゐるのを發見されたと、なほ澁谷氏は旅順工大出身である

匪團に對抗し協和會の活動

【新京特電二十日發】新綠の樹陰に神出鬼沒の匪團の活動愈々活潑となり、交通不便の山岳地帶においては頻々として暴虐な行爲を惹起しつゝあるので、この機會において滿洲國協和會では建國精神の向上と匪賊の宣撫工作のため警察隊、軍隊、縣公署と協力一丸となつて宣撫工作を行ふ事となり既に長春縣、農安縣、伊通縣、李樹縣、懷德縣等の各縣に宣撫員を派遣し宣撫工作に當つてゐるが、各地の農民達は何れも宣撫員を歡迎して居る、なほ右宣撫工作の完了後新京に協和會地方事務局を設置して永久的に地方の協和運動に邁進する筈である

馬鞍山で匪團擊退

十九日午後十時すぎ拉濱線馬鞍山驛西南方の高地に約百五十名の匪賊團現はれ、闇に乘じて同驛社宅を包圍攻擊せんとし、我守備隊は逸早くこれを發見彼我交戰の末これを擊退した、而して賊は午前二時三十分再び逆襲して來たが我兵は徹底的にこれを追擊、我軍には何等の被害なし

馬券の取締一層峻嚴化か
大連競馬開催期迫り

大連競馬倶樂部の本年第二回競馬の開催期も愈々近く先頃大連始め各地の競馬倶樂部役員は關東廳當局を

訪問　景品付入場券の發賣に關する取締りの緩和方につき陳情するところあつたが關東廳警務當局方針は飽くまで景品付入場券を以て富籤類似のものであり、明かに刑法に違反するものとし、その發賣は漸次制限を嚴にして遂にはこれを全く禁止する方針を嚴守して居り、從つて第一回競馬開催に當り急激なる變革をさけ且つ大連その他の特殊事情を考慮して發賣を許可されたる福引形式の極めて小額に限定された入場券に對しても

更に　一層制限が加へられる模樣で競馬開催期の切迫と共に再び景品付入場券に絡む問題は表面化されるであらう

全滿中等校柔道爭覇戰
出場選士氏名

滿洲柔道有段者會では來る七月一日奉天滿鐵道場に於いて全滿中等學校柔道優勝旗爭奪戰を開催するが州内側より滿鐵育成學校、州外側より過般奉天に於いて催した州外中等學校大會の優勝校新京商業及び撫順中學校並びに撫順工業實習所の三校計四校が參加することゝなつた、尚州内各中等學校は二日より試驗開始のため出場不可能となつたもので過般より論議されて居る育成問題のための不出場にあらざる由である、各校の出場選士名左の如し

新京商業　北山喜男（初段）藤本裕次、森田勇、藤井侃、石田富福、松並弘、坂根廣

撫順中學　牧野幸生、朴英學本宮要、内藤一男、角田薫、田中龍教、井手信明

滿鐵育成　河野通幸、植木薫赤堀芳松、佐藤政明、大迫末男村上學、岩永力二

撫順工業實習所　佐々木永次郎、鮎川袈裟次、丸岡正市、三好正義、佐々木正敎、山下林寺田精一

一流料亭で豪遊
手荷物無く怪しまる
籠拔犯人逮捕まで

【別府特電十九日發】滿鐵籠拔け犯人自稱内野薫（二七）の身柄は目下別府署で拘留處分に附した儘で取調べを中止し、大連署より被害目録の送達されるのを待つてゐる、それが來てから更に調べるとのことで

犯人逮捕　の模樣を聞くと十回盜まれたと屆け出たので内偵中、六日夕方投宿した東京目黑會社員山口薫（二七）が何等手荷物もないのにダイヤの指輪をはめプラチナの時計を持ち六日夜以來一流の料亭錦水園で流連、豪遊して居るが宿の女中にプラチナ時計を質に入れたいといふたとの事を聞込んだ加藤刑事部長が八日午前一時過ぎ薫が宿へ歸つた所を擧動不審として逮捕した、この時薫は懷中には一圓五十錢ばかりの現金しか持たないのに指環、時計など

六百圓程　の物を持つて居るので調べると、大連から三日しあさる丸で内地に歸る時神戸行き職人の物を盜んだと供述したので拘留に處し、神戸署と大連署に書面照會を發した所、十八日午後二時大連から籠拔け犯人らしいとの電報が來たので更に峻烈に調べると一切を自白した

別府では無錢遊興
取調後大連へ

【別府特電十九日發】別府は毎日多いときは一萬人、少いときで三四千人の浴客が各地から入込み、從つてあらゆる犯罪者の隱れ場所ともなり數萬圓の泥棒など捕はることもあるので自稱内野薫についても大した犯人とはみてゐなかつたさうで、本紙の記事をみて初めて大膽不敵な奴と思つたとのことである、犯人の身柄は兎に角拘留期間二十五日間（十一日拘留狀を發して居るから七月五日まで）經過後大連署へ引渡すといふことに決定したが別府でも無錢遊興などもあるからなほ取調べる必要もあり期間滿了後傳遞護送とするか大連から受取りに來るか、それはまだ決定してゐない、高砂屋旅館では洋服を着てプラチナ時計など見せ風采も相當なので會社員の出張ついでの入湯位に思ひ別に怪しみもしなかつたさうで、事情をきいて吃驚して「私の方は宿料も貰つてゐません」とこぼしてゐた

上野博士歸連

北滿虹退治の下調べに出張してゐた京大上野博士は十八日歸連したので滿鐵々道建設局では土建協會地質調査所、衞生研究所、經濟調査會、地方部衞生課等の關係者約八十名を招き上野博士を中心にしての座談會を開いた、なほ同博士は一應歸國のうへ種々の文獻によつて調査を完成することゝなり、二十日出帆のうらる丸で内地に向つた

菊五郎の鏡獅子
トーキーに

【東京二十日發國通】國際文化振興會は昨日理事會で菊五郎の鏡獅子をトーキーにする事に決定した菊五郎も國家事業故無報酬出演を快諾し二十五日迄に撮影の筈

蚤の媒介研究
滿鮮大會に發表

【ハルビン特電二十日發】蚤の媒介によるマラリヤ傳染の新研究を完成した東北防疫所長星崎博士及びハルビン市衞生課員大人學士は本月二十三、四日奉天で開かれる滿鮮醫學大會において新研究を發表する事となり、二十一日發同地に赴く事となつた

對全鐵道柔道
會員券賣出し

全鐵道省軍對全滿洲軍の一大對抗柔道戰は愈々來る二十四日中央公園テニスコート内假道場に於いて開催するが、當日の臨時會員券左の如し

一般臨時會員券　一圓二十錢
學生會員券　七十錢
小學生會員券（學校に於いて取りまとめ申込みのこと會費二十錢）

何會員券は目下體育堂山本兩運動具店及び滿鐵體育係内柔道有段者會（電話四九六五番）に於いて發賣中であるが、普通會員券一圓、學生會員券一圓である

忠靈塔建設基金
寄附者芳名（本社寄託）（六月二十日夕迄の分）

▲金二百圓也　滿洲棉花株式會社
▲金十圓也　鐵嶺電燈局員一同
▲金九圓七十錢也　大連汽船煙臺丸日本人一同
計金貳百拾九圓七拾錢也
累計金壹萬六千二百三拾六圓九拾九錢也

今度の防空演習で演習と本物が時々ガッチンコをして思ひがけない悲喜劇を演じてゐる、これは水上分團での、怒つて好いのか笑つて好いのか解らないゴシップ種。

◇

十九日午後、防護團本部のお歷々が「わしが行かんと初まらんわい」とばかり埠頭に押かけて來て、いよいよ甲埠頭の架設小屋に火が點ぜられんとする緊張の一歩前、けたゝましい警笛を鳴らして消防自動車が驀進してくる、「火事の前に消防が來るなんて、そんなのあるか」と係員一同大狼狽、赤い旗を振り廻して「歸れ歸れ」と叫ぶ。

◇

どうしたわけかと仔細を聞けば同時刻第四埠頭繫留の千山丸で本物の火事、一方模擬火災はまだかと手具脛ひいて待つてゐた消防隊、火事の報知に、それ行けやれ行けと飛んで來たもの、まあ〳〵一面から見れば水上分團各班の緊張ぶりの一證左である。

スポーツ記事　九面にもあり

四大忠靈塔建設基金募集

要項
一、寄附金額　隨意
一、受付期日　六月末日限り
一、受付箇所　本社事業部、各支社支局
一、寄附者芳名　本紙上に發表
一、處理方法　本社關係取扱分は本紙上に財團法人忠靈顯彰會に一任

後援　滿洲日報社

南蠻彩船 (165)

鈴木氏亨作　布施長春畫

快望(六)

笑聲は戶外の怪音を消して、依然として變らぬ賑やかさであつた

バチヤン！

今度は池の中に、大きい塊が落ちたやうな音がした。

「ウフフフア……」

「アハツハツハ、、、、」

屋內は笑聲と歡聲の騷音曲だ。

ピカリ！

漆黑の空が、二つに裂けたかと思はれるやうな怪音が轟き渡つて稻妻が天地を二つにした。

ピカリ！ゴロ〳〵〳〵！

依然として助左衞門の館は笑ひと悅びさ、喚聲さ、嬌聲の混合酒だつた。

「殿樣！々々、々々！た、、、大變でござります」

鬘助が血相變へて飛込んできた

「何事だツ！」

一同は夢からさめたやうに鬘助

かお洩らし下さい」

ドン、バチ〳〵〳〵！

太鼓を打ち鳴らしたやうな、物凄い音響がひゞき渡ると、庭一面眞紅になつて火の燃ゆるやうな色がした。

「おゝ、何事で御座るか？如何にも怪しき物音とあの火焰？」

「先刻から度々の怪音、何事でござらう」

「どうやら又南蠻堂坤齋一味が、惡戲にきたらしうございますな」

歡聲は愁聲に變つて、急に一座はひつそり囁き渡つた。

「助左衞門殿、何事もつゝまずお話し下され。わたくし、天下樣にお願ひ申し、誓つて貴公を保護いたすで御座らうから、遠慮なくお話し召され」

「さほどまでに仰せらるゝからはお話し申上げねも反つて失禮かと存じまする。では一通りおきき下されませ」

助左衞門は徐ろに口を切つた。

ドシン！ヅドドン！

まるで地雷火が一時に爆發したやうな音だつた。館は一面怪しげな黑雲に包まれた。

を見戍つた。

「只今庭面にあたつて、時ならぬ物音、一度ならず、二度三度、多分お耳にも入つたでござりませうが、これ殿樣の出世を妬む、南蠻堂坤齋一味の仕業と思はれまするる御注意あつて然るべしと存じまする」

「な、なんと、南蠻堂坤齋の一味が來た！ブルツ、ブルツ、ブル…：彼等の如きは少しも恐るゝに足らぬ、相手にせず、放つておくがいゝ」

助左衞門は、武者震ひした。

「わたくしも、左樣に思つて居りましたが、もしや館に怪異でもありまするさ、皆樣のお命にかゝはりまする事故、御注意までに申し上げたので御座ります」

「御苦勞々々。それは大儀だつた。だが。今宵は御祝ひだ。充分飮るがいゝ」

助左衞門は意にも掛けやうとしなかつた。

「南蠻堂坤齋！それは何者で御座るか？」

新左衞門は訝かしげに問ふた。

「曲もないこと。お耳に入れるほどのことでも御座りませぬ」

助左衞門は一笑に附さうとした

「初めて聞く名で御座りまする。お差し支へなくば、いかなる人間